

全学共通科目

履修案内

平成31年度
(2019年度)

鳥取大学

【鳥取大学教育グランドデザイン】

鳥取大学では、基本理念「知と実践の融合」のもと、学則で教育の目標を定め、これを「教育グランドデザイン」として以下のように具現化しています。

**鳥取大学では、その時代に必要な現代的教養と人間力を根底におく教育により、
地域社会の課題解決や国際社会の理解を志向し、
社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成に取り組みます。**

本学が掲げる「現代的教養」とは以下のとおりです。

- (1)文化、社会、自然に関する幅広い知識
- (2)特定の専門分野に関する理解
- (3)論理的な課題探求と解決力
- (4)創造性に富む思考力

本学が掲げる「人間力」とは以下のとおりです。

- (1)自立性にもとづく実行力
- (2)多様な環境下での協働力
- (3)高い倫理観と市民としての社会性

【鳥取大学の学士課程教育に関する三つの基本方針】

鳥取大学が定める「教育グランドデザイン」では、現代的教養と人間力を根底においた教育を展開することによって、社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成を目指すことを宣言しています。

「教育グランドデザイン」で宣言する人材の育成を実現するため、学士課程における三つの基本方針、「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学者受入れの方針」を定めていますが、ここでは、これから鳥取大学の授業に臨む学生に本学の「教育課程編成・実施の方針」を示します。

【教育課程編成・実施の方針】

鳥取大学は、卒業認定・学位授与の方針で示す能力を学生が身につけることができるよう、次に掲げる方針のもと、体系的な教育課程を編成し、実施します。

1. 入学後の学修を主体的に行うことができ、かつ、学習動機を明確化できるよう、初年次教育を充実します。
2. 社会の中核となり得る教養豊かな人間育成のため、教養科目・外国語科目・健康スポーツ科目からなる全学的な共通科目と、特定分野の知識と技能を身につける専門科目との融合を図ります。
3. 課題解決能力や社会的実践力を形成するため、理論的追究と実践的探求を促し、これらを統合する科目を設け、知と実践を融合する教育課程を編成します。
4. 自律的な生涯学習力を育成するため、キャリア形成にかかわる教育を推進します。
5. 高い倫理観及び責任感をもち、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働して実践する能力を形成するために、対話型・参加型教育の展開に努めるとともに、課外活動でもこのような能力が形成されるよう多様な機会を提供し、必要な支援を積極的に行います。

3. 鳥取大学単位認定規則	43
4. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程	44
5. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程	45
6. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項	46
7. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱いについて	48
8. 試験における注意事項	49
9. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ	50
10. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり授業に出席できない場合の取扱いについて	51
III-1. 授業時間割表（鳥取地区）	
1. 平成31年度全学共通科目授業時間割表(抄)	52
(1) 地域学部	52
(2) 医学部（生命科学科）	52
医学部（保健学科）	53
(3) 工学部（機械物理系学科、電気情報系学科）	54
工学部（化学バイオ系学科、社会システム土木系学科）	55
(4) 農学部（生命環境農学科、共同獣医学科）	56
(5) 日本語・日本事情に関する科目	57
2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表	
(1) 入門科目	58
(2) 教養科目	
① 基幹科目（人文・社会分野）・主題科目・キャリア科目	61
② 基幹科目（自然分野）	67
③ 基幹科目（実験演習分野）	71
(3) 外国語科目	72
(4) 健康スポーツ科目	80
(5) 日本語・日本事情に関する科目	81
(6) 海外実践教育に関する科目	81
3. グローバル教育基礎科目群	82
4. 地域志向科目・地域創生推進科目	84
5. 科目ナンバリング一覧表（鳥取地区）	85
III-2. 授業時間割表（米子地区）	
1. 平成31年度全学共通科目授業時間割表(抄)	87
2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表	88
3. 科目ナンバリング一覧表（米子地区）	90
4. 地域志向科目（米子地区）	90
III-3. 農学部共同獣医学科	
1. 履修案内	91
2. 平成31年度一般教養科目授業時間割表(抄)	99
3. 平成31年度一般教養科目開設一覧表	100
IV. 付録	
1. キャンパス配置図	
鳥取地区	107
鳥取地区共通教育棟配置図	108
米子地区	114
2. 平成31年度学年暦七曜表	
鳥取地区	115
米子地区	116

I . 履 修 案 内

1. はじめに
 - (1) 履修手続の流れ
 - (2) 学期と学年暦
 - (3) 授業時間と単位制度
 - (4) 科目ナンバリング制度
 - (5) シラバス
2. 全学共通科目の履修計画の立て方
 - (1) 必修科目、選択必修科目、選択科目
 - (2) 教育課程表、授業時間割表、開設一覧表
3. 全学共通科目の科目区分と履修方法
 - (1) 入門科目
 - (2) 教養科目
 - A. 基幹科目（人文・社会分野、自然分野、実験演習分野）
 - B. 主題科目
 - C. キャリア科目
 - ※ 鳥取地区の教養科目の抽選制度について
 - (3) 外国語科目
 - A. 英語
 - B. 英語以外の外国語（初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語））
 - (4) 健康スポーツ科目
 - A. 1年生枠
 - B. 全学生自由選択枠
 - (5) 日本語・日本事情に関する科目
4. 履修上の注意事項
 - ① 教養科目履修登録上限単位数 ② 授業クラスの指定 ③ 二重履修の禁止
 - ④ 同一名称の授業科目 ⑤ 固有の履修条件を定めている授業科目 ⑥ 掲示
 - ⑦ 授業中のマナー
5. 授業の欠席
 - ① 授業欠席届 ② 長期欠席届 ③ 感染症による出席停止
 - ④ 教育実習履修に伴う欠席届
6. 試験
 - ① 定期試験 ② 追試験 ③ 再試験 ④ 不正行為
7. 成績
 - ① 成績の評価（成績評価基準） ② 成績評価の疑義申立制度
 - ③ GPA制度 ④ 学期の途中で休学した学生の履修歴
8. 既修得単位の認定
9. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定
10. 教育職員免許状の取得
11. グローバル教育プログラム
12. 地域志向型教育プログラム

1. はじめに

鳥取大学の教育課程は、所属する学部に関係なく全ての学生が履修する「全学共通科目」と、各学部固有の「専門科目」から成ります。このうち本冊子『平成31年度全学共通科目履修案内』は、全学共通科目の履修方法を説明したものです。本冊子は卒業まで使用しますので、紛失しないよう大切に取扱ってください。

(1) 履修手続の流れ

全学共通科目の履修手続は以下のとおりです。鳥取地区と米子地区、また前期と後期でそれぞれ異なりますので、注意してください（抽選制度については p.12 を参照してください）。

なお「集中講義」の募集・履修手続の案内は、別途掲示にて行います。

○鳥取地区（前期）

教養科目 抽選カード提出	日時：4月3日（水） 9：00～17：00（時間厳守） 場所：共通教育棟C21講義室 ※ 抽選結果は4月8日（月）の各学部オリエンテーションで確認
教養科目 追加登録	日時：4月9日（火）～4月10日（水） 各日16：30～17：30 場所：共通教育棟C21講義室 ※ 登録可能な科目について先着順で受け付けます。
履修登録・ 取消期間	4月9日（火）～4月17日（水） ※ 抽選対象外の教養科目、自然分野（工学部学生対象）、実験演習分野、各学部の専門科目を学務支援システムにログインして登録してください。期間中は、一部の科目を除き、登録されている科目の取消を各自で行うことができます。
履修取消期間	4月18日（木）～4月22日（月） 17：00（時間厳守） ※ 学務支援システムで履修登録されている科目の取消のみ可能です。履修する意思のない科目については必ず取消を行ってください。学務支援システムで取消できない全学共通科目は教育支援課④番窓口で取消を願い出てください。 <u>取り消さない場合、GPA数値が下がります。</u>
第2クォーター科目履修取消期間	6月14日（金）～6月20日（木） 17：00（時間厳守） ※ 第2クォーター科目の取消期間です。履修する意思のない科目については必ず取消を行ってください。学務支援システムで取消できない全学共通科目は教育支援課④番窓口で取消を願い出てください。 <u>取り消さない場合、GPA数値が下がります。</u>

○鳥取地区（後期）

別途掲示します。

○米子地区（前期）

初修外国語・ 教養科目抽選	日時：4月5日（金） 場所：記念講堂 ※ 抽選結果は4月8日（月）総合教育棟横の医学科掲示板に掲示します。
履修登録	4月8日（月）実施の情報リテラシで説明 ※ 履修確認は各自が学務支援システムで4月12日（金）までに行ってください。
履修取消期間	4月8日（月）～4月12日（金） ※ 履修する意思のない科目については必ず取消を行ってください。 <u>取り消さない場合、GPA数値が下がります。</u>

○米子地区（後期）

別途掲示します。

(2) 学期と学年暦

1年は前期・後期の2期に分かれ、定期試験期間を含め各期16週から成ります。前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなります。ただし、一部の授業科目では前期・後期をそれぞれ2分した8週の授業時間（第1クォーターから第4クォーター）で実施するものもあります。詳細は毎年の学年暦で決められており、平成31年度は以下のとおりです。巻末（p.115-116）に七曜表を掲載していますので、併せて確認してください。

平成31年度 学年暦（鳥取地区）

事 項	月 日
学年開始（前期開始）	4月 1日（月）
全学共通科目説明会	4月 1日（月）
入学式・全学新入生オリエンテーション	4月 6日（土）
各学部オリエンテーション	4月 8日（月）
前期・第1クォーター授業開始	4月 9日（火）
月曜日の振替授業	5月 7日（火）
鳥取大学記念日	6月 1日（土）
前期（第1クォーター）予備日	6月12日（水）， 6月13日（木）
前期（第2クォーター）授業開始	6月14日（金）
月曜日の振替授業	7月19日（金）
前期（第2クォーター）予備日	8月10日（土）， 8月11日（日）
夏季休業日	8月12日（月）～ 9月30日（月）
前期終了	9月30日（月）
後期開始	10月 1日（火）
後期・第3クォーター授業開始	10月 1日（火）
月曜日の振替授業	10月17日（木）
月曜日の振替授業	11月 6日（水）
後期（第3クォーター）予備日	11月29日（金）， 12月 2日（月）
後期（第4クォーター）授業開始	12月 3日（火）
金曜日の振替授業	12月25日（水）
冬季休業日	12月27日（金）～ 1月 5日（日）
月曜日の振替授業	1月14日（火）
金曜日の振替授業	1月16日（木）
大学入試センター試験準備による休講	1月17日（金）
後期（第4クォーター）予備日	2月 7日（金）， 2月10日（月）
卒業式	3月18日（水）
春季休業日	2月11日（火）～ 3月31日（火）
学年終了（後期終了）	3月31日（火）

*休業日においても授業等を実施することがある。

平成31年度 学年暦（米子地区医学科1年次）

事 項	月 日
学年開始（前期開始）	4月 1日（月）
米子地区オリエンテーション	4月 5日（金）
入学式	4月 6日（土）
前期授業開始	4月 8日（月）
月曜日の授業を振替実施	5月 7日（火）
鳥取大学記念日	6月 1日（土）
前期授業終了	8月 7日（水）
前期定期試験	7月31日（水）～8月7日（水）、 8月21日（水）～9月3日（火）、 9月30日（月）
夏期休業日	9月 4日（水）～9月29日（日）
前期終了	9月30日（月）
後期開始	10月 1日（火）
後期授業開始	10月 1日（火）
月曜日の授業を振替実施	11月 6日（水）
冬期休業日	12月28日（土）～1月 5日（日）
月曜日の授業を振替実施	1月16日（木）
大学入試センター試験準備による午後休講	1月17日（金）
後期授業終了	2月 3日（月）
後期定期試験	1月28日（火）～2月10日（月）、 2月12日（水）～2月28日（金）
卒業式	3月 6日（金）
春期休業日	2月29日（土）～3月31日（火）
学年終了（後期終了）	3月31日（火）

（3）授業時間と単位制度

① 授業時間

通常の授業科目は毎週1回×15週で実施されます。ただし、クォーター開講科目は毎週1回×8週、あるいは毎週2回×8週で実施されます。

また、「集中講義」は、週末や夏期・冬期休業日等を利用することによって、短期間内に集中的に実施されます。

授業は月曜日から金曜日まで行われます。1日の授業は1時限から5時限まで行われ、1時限は通常90分を基本とします。

（鳥取地区）

区 分	授 業 時 間
1 時 限	8 : 4 5 ~ 1 0 : 1 5
2 時 限	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
3 時 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
4 時 限	1 4 : 4 5 ~ 1 6 : 1 5
5 時 限	1 6 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0

（米子地区）

区 分	授 業 時 間
1 時 限	8 : 4 0 ~ 1 0 : 1 0
2 時 限	1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0
3 時 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
4 時 限	1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0
5 時 限	1 6 : 4 0 ~ 1 8 : 1 0

② 単位制度

全ての授業科目には、授業形態と学習時間に応じて、単位数が設定されています。1単位の修得には45時間の「学習時間」が必要とされ、この学習時間には、大学での「授業時間」と、それ以外の「自習時間」（予習・復習等）が含まれます。

本学では、授業の形態に応じて、1単位当たりの授業時間を以下のように定めています。

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習及び全学共通科目の実技 | 30時間 |
| (3) 実験、実習及び実技（全学共通科目の実技を除く。） | 45時間 |

授業の形態と授業回数、学習時間、単位数の関係は、次のとおりです。

授業の形態	授業回数	学習時間			単位数
		授業時間	自習時間	合計	
講義	15回 (週1回)	30時間 (週2時間)	60時間 (週4時間)	90時間 (週6時間)	2単位
演習及び全学共通科目の実技 (例：外国語科目、健康スポーツ科目)	15回 (週1回)	30時間 (週2時間)	15時間 (週1時間)	45時間 (週3時間)	1単位
実験、実習及び実技 (全学共通科目の実技を除く)	15回 (週2回)	45時間 (週3時間)	0時間 (週0時間)	45時間 (週3時間)	1単位

*1回90分の授業を、2時間の授業時間と見なします。

*クォーター開講科目のうち、毎週1回×8週のものについては、学習時間・単位数が上表の数値の半分となります。

(4) 科目ナンバリング制度

① 科目ナンバリングの目的

鳥取大学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。科目ナンバリングにより各科目の分野や対象学年（水準）等を整理し、教育課程をより体系的に理解することができます。履修科目を選択する際などに活用してください。

② 科目ナンバリングの見方

鳥取大学の科目ナンバリングは、原則、4文字のアルファベットと4桁の数字で構成されます。また、一部の科目では、ハイフン（-）以下に補足情報を付与する場合があります。

憲法学（LLAW1001-CG）を例に各アルファベット、数字等の意味を説明します。この場合、最初のLは学科等を意味します<(1)参照>。次のLAWは学問分野を意味します<LAW:法学(2)参照>、最初の数字は、学年（水準）<1:入門、初級レベル。(3)参照>、次の数字は授業形態<0:講義(4)参照>、及び二桁の通し番号<(5)参照>となっています。ハイフン（-）以下が補足情報<CG(6)参照>です。

学科	分野	学年	授業形態	通し番号	補足情報
L	LAW	1	0	01	CG

(1) 学科等（アルファベット1文字）：全学共通科目は、全てLとなります。

(2) 分野（アルファベット3文字）：全学共通科目については以下のとおりです。

人文科学		社会科学		語学	
哲学	PHL	法学	LAW	英語	ENG
倫理学	ETH	政治学	POL	ドイツ語	GER
社会思想	THU	経済学	ECN	フランス語	FRA
教育学	EDU	経営学	MAN	中国語	CHN
心理学	PSY	自然科学		韓国語	KOR
芸術学	ART	数学	MAT	スペイン語	SPA
文学	LIT	物理学	PHY	日本語	JPN
歴史	HIS	化学	CHE	その他の分野	
地理	GEG	生物学	BIG	健康スポーツ	HEA
言語学	LIN	地学	EAR	米子地区開講科目(一部)	MED
社会学	SOC	情報科学	INF	その他	OTH

(3) 水準（数字1桁）

- 1：入門及び初級レベル/1年次相当
- 2：中級レベル（専門分野の基礎科目）/2年次相当
- 3：中級～上級（専門分野の応用科目）/3年次相当
- 4：上級～（専門分野の発展科目）/4年次相当

(4) 授業形態 (数字 1 桁)

0 : 講義 1 : 演習 2 : 実験 3 : 講義+演習 4 : 講義+実験

(5) 通し番号 (数字 2 桁)

(6) 補足情報 (ハイフン以下のアルファベット文字)

C : 地域志向科目又は地域創生推進科目、 G : グローバル教育基礎科目群及び関連科目

CG : 上記 C 及び G 双方に指定されている科目

(7) その他

科目名が同じで連続する科目の場合、通し番号に続けてアルファベット 1 文字が付与される科目があります。

<例> 総合英語 I (LENG2100A)

総合英語 II (LENG2100B)

(5) シラバス

「シラバス」(syllabus) とは開設科目に関する授業計画のことで、担当教員の情報や、「授業科目の目的・概要」、「達成目標」、「授業のレベル」、「授業の形式」、「教科書・参考書」、「成績評価の方法・基準」といった基本事項、授業実施回数分の「授業内容」、「予習・復習内容」などを示したものです。履修科目を選択する時や、授業科目を受講する前に、必ず確認するようにしてください。また、授業開始後も、各回の授業内容や、予習・復習事項を確認するため、積極的に活用してください。

シラバスは「鳥取大学ホームページ」→「在学生の方へ」→「シラバス」→「シラバス検索画面へ」で確認できます。

http://syllabus.adm.tottori-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

2. 全学共通科目の履修計画の立て方

(1) 必修科目、選択必修科目、選択科目

- ① 必修科目 必ず修得しなければならない科目です。
- ② 選択必修科目 該当する科目区分について、指定された科目群のなかから履修科目を選択し、必要単位を修得します。
- ③ 選択科目 該当する科目区分について、全ての開設科目のなかから履修科目を選択し、必要単位を修得します。

(2) 教育課程表、授業時間割表、開設一覧表

① 教育課程表

どの学年・学期にどの科目区分からどの授業科目を履修するか、また卒業までにどの科目区分から何単位を履修するかは、「全学共通科目に関する細則」の「全学共通科目教育課程表」(p. 32-42) に示されています。学部・学科・入学年度によって異なりますので注意してください。

また、特定の学年・学期に履修するよう定められている科目をその通り履修しなかった場合、その後の履修計画に支障をきたし、所定の年限で卒業できなくなることもありますので注意してください。

② 授業時間割表

どの曜日・時限にどの科目区分の授業科目を履修するかは、「全学共通科目授業時間割表」(p. 52-57) に示されています。学部・学科・入学年度によって異なりますので注意してください。

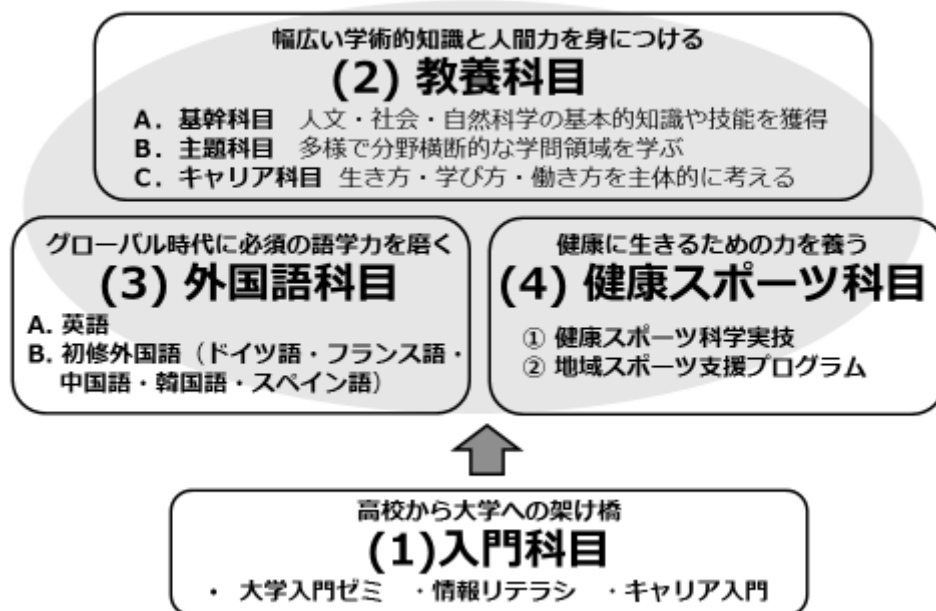
③ 開設一覧表

どの曜日・時限にどの授業科目を選択できるか、あるいはどの指定クラスで履修するかは、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58-81) に示されています。なお、本冊子に掲載されているものは平成 31 年度のもので、年度によって開設科目の種類・担当教員が異なることがありますので注意してください。

3. 全学共通科目の科目区分と履修方法

全学共通科目は「入門科目」、「教養科目」、「外国語科目」、「健康スポーツ科目」の4つに区分されます。4つの科目区分の関係は、以下のイメージのとおりです。

全学共通科目のイメージ



※ 図中の数字・アルファベットは、以下の説明の見出しに対応しています。

(1) 入門科目

入門科目は、自ら課題を発見し、探求するという大学教育に必要な学習態度・能力を養うとともに、高校教育から大学教育への円滑な移行を促すことを目的としています。

入門科目は、「大学入門ゼミ」、「情報リテラシ」、「キャリア入門」の三つに区分されます。

いずれも指定クラスで履修します（鳥取地区は p. 58、米子地区は p. 88 参照）

大学入門ゼミ

大学入門ゼミでは、課題の発見・探求に必要な基礎知識・技法を学ぶことによって、自主的・継続的な学習能力を養うとともに、教員と触れあい、学生が互いに学びあうことによって、大学生活を営む上で必要なコミュニケーション能力・チームワークを培います。

情報リテラシ

情報リテラシでは、情報通信ネットワークの発達した現代社会で必要となっている情報倫理・セキュリティを養いながら、パソコンの基本的な構造と機能、及びワープロ、電子メール、インターネット、表計算システム、データベース、プレゼンテーションなど基本ソフトの利用方法について、講義・テキストによって理論的な知識を学ぶと共に、ノート型パソコンを用いた演習によって実践的な技術を修得します。

キャリア入門

自律的・能動的な学生生活を送ることは、今後の人生＝「キャリア」を形づくる基盤的な能力や態度を育みます。そこで、「キャリア」という概念を手がかりに、生きること・学ぶこと・働くことについて理解を深め、大学卒業後の進路選択（進学・就職）を視野に入れた、充実した学生生活への動機づけを行います。

(2) 教養科目

教養科目は、人間・社会・自然に関する基本的・学際的な学問領域について、広く深い学術的な知識・技能を修得するとともに、柔軟で総合的な理解力・判断力を養うことによって、特定の専門分野に偏らない豊かな教養と人間性を身につけた、現代社会の中核となりうる人材の育成を目的としています。

教養科目は、**A「基幹科目」**、**B「主題科目」**、**C「キャリア科目」**の三つに区分されます（開設一覧表は p.61-66、医学科は p.88 参照）。

教養科目の履修登録は抽選制度によって決定します（p.12 参照）。また学年・学期あたり履修登録できる単位数には上限が設けられています（p.21 参照）。

なお教養科目には、週末や夏期・冬期休業日等を利用して、授業を短期間に集中的に実施する「**集中講義**」として開設されるものがあります（開設一覧表は p.63,66 参照）。集中講義の募集・履修手続の案内は別途掲示にて行います。また集中講義は履修登録単位数の上限には含まれません。

A 基幹科目

基幹科目では、人文・社会・自然科学に関する確立された基本的な学問領域について、体系的・基礎的な知識・技能を修得するとともに、論理的・科学的な発想方法・思考能力、及び芸術・文化に対する深い理解・感性を養うことによって、物事を幅広い視野から総合的・客観的に理解・判断する能力を育成します。

基幹科目は「**人文・社会分野**」、「**自然分野**」、「**実験演習分野**」に区分されます。

① 人文・社会分野

客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、人文・社会科学的な発想方法・思考能力を養います。

このうち、本学の学生であるなら所属学部に関係なく学んでおきたい基礎的な科目については**選択必修**（対象学部・学科：地域学部、医学部生命科学科・保健学科、工学部、農学部生命環境農学科）、それ以外の発展的な科目については**選択科目**となります。

人文・社会分野の学問領域と、選択必修の対象となる授業科目の関係は、次のとおりです。

	学問領域	授業科目	備考
人文系	哲学・倫理学	哲学・倫理学	2科目4単位を修得
	心理学	心理学	
	芸術学	芸術入門	
	文学	文学	
社会系	法学	憲法学	2科目4単位を修得
	政治学	政治学	
	経済学	経済学	
	歴史学	歴史学	

*科目名称が類似していても上記以外の授業科目は選択必修ではないので注意してください。

（例：発達心理学、法律学、考古学など）

*平成31年度前期において、「哲学・倫理学」と「心理学」は集中講義として開講します。（p.63 参照）。

② 自然分野

客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、自然科学的な発想方法・思考能力を養います。
自然分野の履修方法は以下のとおりです。学部・学科によって異なりますので注意してください。

◎ **地域学部**の学生は、下記の授業科目から2単位以上（1科目以上）を概ね1年次から3年次までに修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 p. 69-70 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	数学Ⅰを高校で履修した者を前提。
		解析入門Ⅱ	後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
	後期	データ科学の基礎	
		代数学入門	
物理学	後期	物理学入門Ⅰ	
		物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	

◎ **医学部 生命科学科**の学生は、下記の授業科目から6単位以上（3科目以上）を1年次に修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 p. 69-70 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数学	前期	解析学教程Ⅰ	数学Ⅱを高校で履修した者を前提。
		解析学教程Ⅱ	後期「解析学教程Ⅱ」は前期「解析学教程Ⅰ」を履修した者を前提。
	後期	データ科学の基礎	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学ⅠA	
	後期	生物学ⅡA	

◎ **医学部 保健学科 看護学専攻**の学生は、下記の授業科目を1年次に履修することができます。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 p. 69-70 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目	備 考
物理学	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	後期	化学C	前期「化学ⅠAまたは化学ⅠB」を履修しなくても履修できます。

◎ **医学部 保健学科 検査技術科学専攻**の学生は、下記の授業科目から4単位以上（2科目以上）を1年次に修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。上記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 p.69-70 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	数学Ⅰを高校で履修した者を前提。
	後期	解析入門Ⅱ	後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
	前期	解析学教程Ⅰ	数学Ⅱを高校で履修した者を前提。
	後期	解析学教程Ⅱ データ科学の基礎	後期「解析学教程Ⅱ」は前期「解析学教程Ⅰ」を履修した者を前提。
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	後期	化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	
	後期	生物学概論Ⅱ	

◎ **工学部 機械物理系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目	備 考
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれます。 「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・地学）」から8単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
数学	前期	微分積分学Ⅰ	これらの授業科目は全て必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。 履修登録科目は教養科目登録上限単位数に含まれません。 履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。
		線形代数Ⅰ	
	後期	微分積分学Ⅱ	
		線形代数Ⅱ	
物理学	前期	基礎物理学Ⅰ	「数学」「物理学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれません。
	後期	基礎物理学Ⅱ	
実験演習分野	前期	物理学実験演習	
化学	前期	化学概論	この授業科目は選択科目で、教養科目履修登録上限単位数に含まれません。履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。「化学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれません。

◎ **工学部 電気情報系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目	備 考
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学C	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	上記の「生物学」、「化学」、「地学」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれます。 「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・化学・地学）」から8単位以上を修得します。 基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
数学	前期	微分積分学Ⅰ及び演習	これらの授業科目は全て必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。 履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれません。 履修登録は各自が履修登録期間に手続きを行います。
		線形代数及び演習	
	後期	微分積分学Ⅱ及び演習	
物理学	後期	力学基礎	「数学」「物理学」について、左記以外の授業科目は卒業に必要な単位には含まれません。
		力学基礎演習	
実験演習分野	後期	物理学実験演習	

◎ **工学部 化学バイオ系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目	備 考
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	履修登録科目は教養科目履修登録上限単位数に含まれます。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・地学）」から12単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を履修すること。			
数学	前期	基礎数学Ⅰ	これらの授業科目は選択科目で、1年次に指定クラスを履修します。（教養科目履修登録上限単位数に含まれません。） 履修登録は各自が履修登録期間に手続を行います。
	後期	基礎数学Ⅱ	
化学	前期	基礎化学Ⅰ	これらの授業科目は必修科目です。必ず1年次に指定クラスを履修します。（教養科目履修登録上限単位数に含まれません。）
	後期	基礎化学Ⅱ	
実験演習分野	前期	化学実験演習	各自が履修登録期間に手続を行います。
	後期	物理学実験演習	この授業科目は選択科目で2年次に履修します。
上記の「数学」及び「化学」の授業科目から6単位以上を修得します。 「数学」「化学」について、上記以外の授業科目は卒業に必要な単位には含まれません。			

◎ **工学部 社会システム土木系学科**の学生は、下記の授業科目を備考欄のとおり履修します。

教科区分	期別	授業科目	備 考
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。
	後期	化学Ⅱ	前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
		化学Ⅲ	前期「化学Ⅰ」を履修しなくても履修できます。
生物学	前期	生物学概論Ⅰ	1年次に「地球科学（2単位）」を修得することが望ましい。
	後期	生物学概論Ⅱ	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	
上記の「生物学」「化学」「地学」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれます。			
数学	前期	微分積分学Ⅰ	これらの授業科目は必修科目で、必ず1年次に履修します。 「数学」「物理学」については、左記以外の科目は卒業に必要な単位に含まれません。
	後期	線形代数	
物理学	後期	微分積分学Ⅱ	
実験演習分野	後期	力学基礎及び演習	
実験演習分野	前期	地球科学実験演習	この授業科目は選択科目で2年次に履修します。社会経営工学プログラムにおいては、左記の科目は卒業に必要な単位には含まれません。
上記の「数学」「物理学」「実験演習分野」の授業科目は、教養科目履修登録上限単位数に含まれません。 各自が履修登録期間に手続を行います。 「主題科目」「キャリア科目」「人文・社会分野」「自然分野（生物学・化学・地学）」から8単位以上を修得します。ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。			

◎ **農学部 生命環境農学科**の学生は、下記の授業科目から6単位以上（3科目以上）を修得します。教養科目履修登録上限単位数に含まれます。下記以外の自然分野の授業科目（授業時間割表 p. 69-70 参照）を履修したい学生は、教育支援課教務企画係まで申し出てください。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数学	前期	解析入門Ⅰ	数学Ⅰを高校で履修した者を前提とするクラス、数学Ⅱを高校で履修したことを前提とするクラスの2クラスを開講します。なお、後期「解析入門Ⅱ」は前期「解析入門Ⅰ」を履修した者を前提。
		解析入門Ⅱ	
	後期	データ科学の基礎 代数学入門	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化学	前期	化学Ⅰ	高校で「化学基礎」または「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。 前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
	後期	化学Ⅱ	
生物学	前期	生物学ⅠB	前期・後期とも2クラス開設します。 （生物学ⅠA、生物学ⅡAを履修可能ですが、同期に生物学ⅠAとⅠB、生物学ⅡBとⅡAを履修することはできません。）
	後期	生物学ⅡB	
地学	前期	地球科学	
	後期	地球科学	

③ 実験演習分野

自然科学分野における基本的な実験操作及び実践的な知識・技能を修得するとともに、レポート作成を通じて実験の過程・結果に対する観察力・考察力を養います。

B 主題科目

主題科目では、人間・社会・自然の事象に関する個別的・具体的な学問領域、及び学問横断的な総合領域について、基幹科目よりもさらに先端的・発展的な知識・技能を修得するとともに、複眼的・学際的な発想方法・思考態度を身につけ、また人間社会や自然環境の多様なあり方に対する理解・知見を深めることによって、現代的・人類的な課題を主体的・批判的に発見・探求する能力を育成します。

主題科目は、「人間と文化」、「人間と科学」、「人間と環境」、「健康と生命」、「世界と地域」、「教養ゼミナール」に区分されます。

① 人間と文化

人間の存在それ自体と人間の創り出した文物及びその社会について、広く文化的・社会的・国際的な観点から学びます。

② 人間と科学

現代社会が享受している様々な科学技術の成果と今後の課題について、広く工学的・社会的・現代的な観点から学びます。

③ 人間と環境

現代社会が直面している地球・自然環境の危機と今後の課題について、広く農学的・人類的・国際的な観点から学びます。

④ 健康と生命

社会生活を営む人間の心身・健康と人類を含めた生命の不思議について、広く医学的・精神的・社会的な観点から学びます。

⑤ 世界と地域

現代社会が直面しているグローバル化の諸相や世界及び日本の地域的課題解決について、人文、社会、自然の視座から学際的に学びます。

⑥ 教養ゼミナール

さまざまな分野のテーマを、少人数のゼミナール（輪読）形式によって、教員と学生、学生同士が親密なコミュニケーションを取りながら学びます。また、自ら調べ、発表し、議論する参加型の授業を通じて、アクティブ・ラーニング（主体的学修）の習慣や大学生としての基本的教養を身につけます。なお、「教養ゼミナール（1）」から1科目を、「教養ゼミナール（2）」から1科目を、それぞれ履修登録上限単位数内で登録できます。

C キャリア科目

自らの人生について「どう生きるか」「どう学ぶか」「どう働くか」を生涯にわたって主体的・能動的に考え、かつそれらを具体化・実現化するための力を育成します。特に、卒業後の社会的・職業的自立に必要な能力のうち、専門科目だけでは十分な習得が難しい内容や領域を取り扱います。

※鳥取地区の教養科目の抽選制度について

教養科目の授業科目は定員として受入人数を設定しているため、受入人数を超過する履修希望があった場合、無作為の抽選によって受講者を決定します。ただし例外として、基幹科目のうち「工学部教育課程表自然分野の一部の授業科目」、「実験演習分野」、及び「集中講義」として開設される科目、また教養科目の一部の科目は、抽選制度が適用されません。

a. 手順

まず時間割表 (p. 52-57) にしたがって、履修を希望する曜日・時限を選択してください。選択できる曜日・時限の数は登録上限単位数内 (p. 21) です。

次に開設一覧表 (p. 58-81) にしたがって、選択した曜日・時限の開設科目一覧から、希望する授業科目を選択してください。最大で第3希望まで指定することができます。

b. 登録方法

抽選登録、抽選結果の確認は、各自が学務支援システムにログインして行います。ただし**1年生の前期**については、「抽選カード」の提出によって申込を行います。抽選結果は4月8日(月)の学部別オリエンテーションで配布する時間割で確認します。抽選カードへの記入は、HB黒鉛筆又はシャープペンシルを使用し、丁寧かつ汚損のないよう記入してください。記入ミスによりエラーが生じた場合、科目の登録ができませんので、記入には注意してください。記入ミスではありませんが、履修登録上限単位数 (p. 21) を超えた場合や希望順位を重複して記入した場合もエラーとなります。

c. 追加登録

なお、希望した科目が抽選で外れた場合、以下の方法(前期・後期で異なります)で追加登録の手続きをとってください。

前期は4月9日(火)～10日(水)(各日16時30分～17時30分)に共通教育棟C21講義室で、登録可能な科目の中から追加登録の手続きを行います。追加登録は先着順で受け付けます。

後期は別途掲示します。

平成31年度前期教養科目抽選制度日程 (p.1 参照)

4月1日(月) 全学共通科目説明会で教養科目抽選カード等を配布(地域学部、医学部、工学部、農学部)

3日(水) 抽選カード提出(9:00～17:00)(時間厳守)

提出場所 共通教育棟C21講義室

8日(月) 学部別オリエンテーションで「時間割」を配布。

この時間割には、「大学入門ゼミ」「情報リテラシ」「キャリア入門」「教養科目の抽選結果(当選科目のみ)」「コミュニケーション英語A」「コミュニケーション英語B」「初修外国語(英語以外の外国語科目)」「健康スポーツ科学実技(前期受講者のみ)」が記載されています。

※米子地区の教養科目について

教養科目の基幹科目中「人文・社会分野」と主題科目は抽選制度が適用されます。**履修登録上限単位数**

(p. 21)の**範囲内**で履修します。詳細は4月5日(金)のオリエンテーションで説明し、8日(月)に掲示で抽選結果を発表します(p. 2 参照)。

(3) 外国語科目

今日のグローバル化社会に対応し、専門科目の学修や英語コミュニケーションに必要な英語力を習得するとともに、英語以外の新たな外国語を学ぶことによって視野を広げ、国際感覚豊かな人材となることを目的としています。

外国語科目には、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」、「スペイン語」が開設されています。各学部の指定する外国語の中から、それぞれ必要な単位を修得してください。詳細は「全学共通科目に関する細則」の別表「全学共通科目教育課程表」（学部・学科別）（p. 32-42）を参照してください。

A 英語

1. 本学の英語教育の特徴

今日のグローバル化社会において、「国際語としての英語」(English as an International Language)の重要性はますます高まるばかりです。大学の英語教育においても、英語力、とりわけ英語コミュニケーション能力を身につけることが強く求められています。このような状況を踏まえ、本学では以下の点を特徴とした英語教育を行っています。

- (1) 読む、書く、聞く、話す等の全般にわたる英語の実践的運用能力を養成し、外国人と英語による円滑なコミュニケーションが図れることを目指します。鳥取地区では1年次前期に「コミュニケーション英語」、後期には「実践英語」を設け、英語の技能の円滑な習得に配慮しています。2年次では、4技能を1つの授業で行う「総合英語」を開設しています。
- (2) 英語力測定のためにTOEIC受験を義務づけています。
- (3) 英語の学習を通して世界の人々の生活、文化、思考様式等を知り、異文化に対する理解を深めます。
- (4) 履修者の興味関心（知的興味、実践的興味）を満たしながら英語力を養成します。

2. 授業の種類と履修方法

鳥取地区

学年	学期	授業科目名	単位数	備考
1年次	前期	コミュニケーション英語A	1単位	
		コミュニケーション英語B	1単位	
	後期	実践英語A	1単位	
		実践英語B	1単位	
2年次	前期	総合英語Ⅰ(地・工・農学部)	1単位	
		総合英語Ⅲ(工学部)	1単位	
	後期	総合英語Ⅱ(地・工・農学部)	1単位	
		総合英語Ⅳ(工学部)	1単位	
3年次以上		英語上級A	1単位	卒業に必要な単位に含まれない。 (地域学部を除く)
		英語上級B	1単位	
		英語上級C	1単位	
		英語上級D	1単位	

鳥取地区で開設する外国語科目（英語）の授業の内容は次のとおりです。

① コミュニケーション英語A（1年次前期）

少人数クラスで、英会話を中心とし、英語による実践的コミュニケーション能力の向上を目指します。

② コミュニケーション英語B（1年次前期）

基礎的な英文読解力を養い、また読解の方法を学びます。この授業を通して自主的に英文を読める力を養成し、語彙力や読解力を高めます。国際コミュニケーションという観点から英語を用いる能力を高めることを目指します。

③ 実践英語A（1年次後期）

オーラル・コミュニケーションの技術の向上を目指すことを中心としたクラスです。オーラル・コミュニ

ケーションをサポートするために、必要に応じてリスニング、リーディング等の活動も行います。

④ 実践英語 B (1年次後期)

リーディングの力の養成に焦点を当て、リーディング教材を補うリスニング、ライティングの課題等をこなしながら英語力をつけていきます。現代的トピックを扱った英文を読みこなす力の養成を目指します。

⑤ 総合英語 I・II・III・IV (2年次前期・後期)

1年次後期の実践英語A、実践英語Bにおいて学んだ英語の4技能を統合して『総合的な英語力』のトレーニングを行います。その際に、受講者の英語力に応じた教授法と適切な教材の使用によってトータルな英語力の養成を目指します。

総合英語のクラスは、学務支援システムによって指定クラスを確認し、受講してください。なお、TOEICのスコアが500点以上の学生は、更なる英語力の向上を目指して月曜日4限のクラスを受講することができます。各クラスは定員20名です。受講者を別途掲示にて募集しますが、希望者が多い場合は、TOEICの結果(得点)にもとづいて受講生の調整を行います。指定したクラスが履修できない場合は、教育支援課教務企画係に相談してください。

【留意事項】

1年次及び2年次に開設する外国語科目(英語)では、履修するクラスを指定します。指定クラスについては、「全学共通科目開設一覧表・授業時間割表」(p.72-76)の指定クラス欄に掲載しています。1年次前期の指定クラスは、4月8日(月)に配布する時間割に記載します。1年次後期以降に履修する英語授業科目の指定クラスは掲示又は学務支援システムで各自確認のうえ受講してください。なお、再履修する場合は教育支援課教務企画係で受講するクラスを決めた後受講してください。

⑥ 英語上級 A・B・C・D (3年次以上前期・後期)

3年以上の上級者が更なる英語力向上を目指す英語クラスで、各クラスとも定員は20名です。受講者を別途掲示にて募集しますが、希望者が多い場合は、TOEICの結果(得点)にもとづいて受講者の調整を行います。

米子地区

学年	学期	授業科目名	単位数	備考
医学科1年次	前期	コミュニケーション英語A	1単位	
	後期	コミュニケーション英語B	1単位	

少人数クラスで、英会話を中心とし、コミュニケーションのための実践的運用能力を身につけます。

3. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学等における授業科目履修及び文部科学大臣が定める学修のうち、試験資格の成績等により、本学における授業科目の履修とみなして単位を認定する制度です。申請手続、試験資格等の成績等は、取扱要項(p.46-47)を参照してください。

なお英語科目の単位として申請できる「試験資格」は、TOEFL、TOEIC、実用英語技能検定試験です。

単位認定申請書は、教育支援課教務企画係(米子地区は学務課教務係)で受け取ってください。

※ 申請期間は履修登録期間です。

4. TOEICの受験について

鳥取大学では、在学中に3回(医学部学生は2回)のTOEIC-IPの受験を義務付けています。TOEICの成績は就職時、大学院受験、学内の海外派遣制度の選抜等に利用されることがありますので、英語力の向上に向けて継続的に努力してください。

B 英語以外の外国語科目（初修外国語）

1. 履修方法

医学部以外の1年次生は、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」「スペイン語」の中から1言語を選択して前期及び後期とも同じ言語を受講します。選択にあたっては、教養科目の抽選と同様に「抽選カード」に希望順位を付して提出します。結果は、4月9日（月）に配布される「時間割」に受講科目・クラス・担当教員・講義室が記されていますので、授業時間割（p.77-79）を確認のうえ、授業に出席してください。

医学部医学科の1年次生は、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」の中から1言語を選択して前期及び後期とも同じ言語を受講します。授業時間割（p.87）を確認のうえ、授業に出席してください。

医学部生命科学科及び保健学科の1年次生は、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」の中から1言語を選択して前期及び後期とも同じ言語を受講します。選択にあたっては、教養科目の抽選と同様に「抽選カード」に希望順位を付して提出します。結果は、4月9日（月）に配布される「時間割」に受講科目・クラス・担当教員・講義室が記されていますので、授業時間割（p.77-79）を確認のうえ、授業に出席してください。

2. 授業の種類と履修方法

学年	授業の種類	主な授業内容
1年次	各言語の基礎Ⅰ・Ⅱ	初修外国語を学ぶ最初の授業科目です。導入から始まり、基礎的な文法、文章表現、会話表現を学びます。社会や文化、歴史にも触れます。
2年次	各言語の応用Ⅰ・Ⅱ	「基礎Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生が受講する科目です。「基礎Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法、文章表現、会話表現から次の段階へ学修を進め、理解を深めます。
3年次	各言語の応用Ⅲ・Ⅳ	「応用Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生が受講する科目です。「応用Ⅰ・Ⅱ」から更に進んだレベルの文法、文章表現、会話表現を学びます。検定試験に向けた準備も行います。

※1 各言語の基礎Ⅰ・Ⅱが不合格であっても各言語の応用Ⅰ・Ⅱを受講することができます。

ただし、基礎Ⅰ・Ⅱを受講せずに、応用Ⅰ・Ⅱを受講することはできません。

※2 再履修する場合は、受講する言語、科目、必要単位数を間違えないよう注意してください。（前期の未修得単位は前期に、後期の未修得単位は後期でしか再履修できません。）

※3 履修にあたっては、母語を学ぶ授業科目を履修することはできません。

また、入学以前にすでに基礎を習得した外国語を選択することもできません。

3. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学等における授業科目履修及び文部科学大臣が定める学修のうち、試験資格の成績等により、本学における授業科目の履修とみなして単位を認定する制度です。申請手続、試験資格等の成績等は、取扱要項（p.46-47）を参照してください。

単位認定申請書は、教育支援課教務企画係（米子地区は学務課教務係）で受け取ってください。

① ドイツ語

1. ドイツ語学習の意義

ドイツ語を学ぶ意義は、日本語や英語との違いを通して、ドイツ語がどのような言語であるかを知ることです。ドイツ語の単語や文を発音したり、ドイツ語会話の練習をしながら、ドイツ語圏（ドイツ、スイス、オーストリア）の日常生活を知り、また、ドイツ語の文章を読むことで、ドイツ語圏の歴史や文化に触れることは、日本や英語圏とは異なる生活習慣や文化を認識することになり、学習者の視野を広げることになるでしょう。EU(ヨーロッパ連合)内で最大の人口と国民総生産を擁し、政治・経済・文化活動の中心的役割を果たしているドイツについて知ることは、一般常識としても、大学生に必要なことでしょう。

以上のような一般的意義のほかに、次のような具体的な学習目的が考えられます。

(1) ドイツ語検定試験にチャレンジして資格を取る。(6月と12月に実施されます。受験を希望する学生は、ドイツ語授業担当教員へ申し出てください。)

(2) ドイツにあるゲーテ協会の夏期語学講座や大学の短期留学コースに参加して、現実のドイツを体験する。受講者一人一人のドイツ語学習に対する積極的な取り組みを期待しています。たとえ英語が不得手な学生でも、ドイツ語はゼロからのスタートです。自分の努力と意欲でドイツ語を「得意な外国語」にすることができます。「ドイツ語をものにする!」、これを大学生活における新しい挑戦と受け止めて、楽しく勉強してみませんか。

2. 尋ねたいとき、困ったとき

ドイツ語の履修や学習全般についての相談や疑問点がありましたら、気軽にドイツ語授業担当教員に尋ねてください。

② フランス語

1. 世界のなかのフランス語、歴史のなかのフランス語

フランス語はフランス共和国の言語ですが、フランス語を公用語とする国は、スイス、ベルギー、ルクセンブルク、モナコのヨーロッパ諸国のほか、カナダ、ハイチやアフリカ諸国(モーリタニア、セネガル、ギニア、マリ、マダガスカル、コート・ディ・ワールほか)など二十カ国以上に上ります。また、北アフリカのマグレブ諸国(モロッコ、アルジェリア、チュニジア)などでもフランス語が日常的に用いられ、中東のレバノンやシリア、イスラエル、アジアのベトナム、ラオス、カンボジアなどもフランス語圏に含まれています。また、かつて国際的な教養語や第一外交語として広く用いられたフランス語は、いまなお多くの国際機関で公用語として用いられています。国際連合やEUでの公用語であり、オリンピックの公式言語でもあります。

フランスと日本の関係も深く、明治から現代まで、フランスのさまざまな文化が移入されてきました。文学・美術・音楽をはじめ、司法・経済・政治でも日本はフランスから大きな影響を受けてきましたし、建築・製鉄・製糸・鉱山などの分野でもフランスから多くのことを学んできました。さらに映画や服飾、料理などを通じてもフランスとフランス語は身近なものとなってきました。

そしてまたフランス語は、デカルトとパスカルのことばであり、ボードレールやランボー、フローベール、プルーストのことばでもあります。新しい外国語としてフランス語を学び、新しい世界を開いてみましょう。

2. フランス語の履修その他について相談・質問がある時

フランス語担当教員にたずねてください(松本雅弘、研究室：共通教育棟2階S2060)。

③ 中国語

中国の公用語(普通話)を日本人は「中国語」と呼びます。中国語は日本に比較的近い地域で広く話されている言葉であり、同じく漢字を使う言葉でもあります。また、中学校・高等学校で漢文を学習した経験から内容も理解しやすいようにみえます。しかし、話しているのを聞くと全くわかりません。中国語は外国語だと実感する瞬間です。実は、音の響きだけでなく、漢字だから理解できると思われた文章も、単語や文法など日本語とはかなり異なっているのです。外国語らしい音の響き、歌うような抑揚に耳を傾けてみましょう。

中国語の履修その他について相談や質問があれば、中国語担当教員(崎原麗霞、研究室：共通教育棟3F、S3140)まで連絡してください。

④ 韓国語

韓国は日本にとって地理的・歴史的にも身近な隣国で、同じ東洋文化圏に属しており、ともに仏教・儒教の影響により類似した思想や文化を背景に生活を営んできました。

韓国語はアルタイ語族に属しており、動詞が目的語の前にくる英語や中国語と違って、

- ①動詞は文末にくる。
- ②修飾語は被修飾語の前にくる。
- ③文末の語尾が多様である。
- ④敬語表現が発達している。
- ⑤日本語の助詞「てにをは」に相当する語がある。

などの、日本語によく似た特徴を持っています。

また、ハングル（韓国語の文字）は仮名文字のように表音文字であり、日本語と同じ漢字語の単語も多いため、日本人にとっては理解しやすい言語です。

韓国語の履修その他について相談や質問があれば、気軽に韓国語担当教員に尋ねてください。

（ハングル能力検定試験が6月と11月に実施されます。受験を希望する学生は、担当教員まで連絡してください。）

⑤ スペイン語

現在スペイン語は中国語に次ぐ世界で二番目に多く話されている言語です。スペイン語は国際コミュニケーション言語になっており、Internetで第三位、Twitterで第二位を占め、Facebookでも8000万人以上が使用しています。さらに、2030年には世界人口の7.5%がスペイン語を話すことになり、また、米国では、スペイン語を話す人の数がメキシコの総人口を上回ると推定されています。

鳥取大学は、グローバル人材育成を目指し、ラテンアメリカの大学や研究センターと学術交流協定を結んでおり、今後も学術交流が盛んになると思われます。交換留学を考えている学生、特にメキシコ海外実践教育プログラムに興味のある学生にはスペイン語の授業を大いに勧めます。

スペイン語の授業ではアルファベットの発音から始めて、日常会話の基本表現から基本的文法を学びます。スペイン語を通じて、言語及び文化に対する理解を深め、実践的コミュニケーション能力を養います。会話・文法・読解にわたって、総合的な能力を身につけることを狙いとします。

スペイン語の履修その他について相談や質問があれば、スペイン語担当教員（クラビオト グラシエラ、研究室：2050（共通教育棟B棟2階））まで連絡してください。

(4) 健康スポーツ科目

運動・スポーツ文化に親しむ中で、健康科学に対する知見を広げると共に、身につけた技能や知識を活かして生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための能力を養う科目です。健康スポーツ科目は、運動・スポーツの実践に必要な技能や知識の養成を主とする「**健康スポーツ科学実技**」と、地域における運動・スポーツ活動の支援に必要な技能や知識の養成を主とする「**地域スポーツ支援プログラム**」から構成されます。

科目内区分	健康スポーツ科学実技		地域スポーツ支援プログラム
開講枠	1年生枠	全学生自由選択枠	全学生自由選択枠
開講種目例	サッカー、 バドミントン、 ソフトボールほか	テニス、スキー、 ニュースポーツ、 野外キャンプほか	ライフセービングの基礎、 アクアスポーツⅠ (スクーバダイビング)

- ※1. 卒業に必要な単位は、農学部共同獣医学科を除いて、健康スポーツ科目1単位です。
- ※2. 健康スポーツ科目は「**1年生枠**」及び「**全学生自由選択枠**」で開設されます。「1年生枠」は1年生のみ履修可能であり、同じ学部・学科の学生と一緒に受講できます。「全学生自由選択枠」は学年・学部を問わず全学生が履修できますが、専門科目と開設時間が重なっていて受講できない場合もあります。地域スポーツ支援プログラムは「全学生自由選択枠」でのみ開設されます。1年生枠で開設される種目の選択は、全学共通科目説明会で行います。全学生自由選択枠で開設される種目については、健康スポーツ科学掲示板（共通教育棟 C 棟 1F）で履修方法を確認してください（応募者多数の場合、抽選になる場合があります）。

A 1年生枠

1年生枠では、サッカーやバドミントン、ソフトボールなどの健康スポーツ科学実技を開設しています。個人の適性に応じたスポーツを選択し、科学的知識を生かした身体運動の実践を通して、生涯スポーツや健康づくりの基盤を身につけます。

学部	学科	学期	曜日・時限	種目、担当教員
地域学部	地域学科	前期または後期	木曜 2限	全学共通科目説明会における配付資料に記載
医学部	医学科	前期（米子キャンパス）	金曜 3限	
	生命科学科、 保健学科（検査）	前期または後期	木曜 2限	
	保健学科（看護）	前期	木曜 4限	
工学部	機械物理系学科、 電気情報系学科	前期または後期	水曜 2限	
	化学バイオ系学科、 社会システム土木系学科	前期または後期	金曜 4限	
農学部	全学科	前期または後期	火曜 4限	

B 全学生自由選択枠

全学生自由選択枠では、下記に示す「健康スポーツ科学実技」及び「地域スポーツ支援プログラム」を開設しています。全学生自由選択枠の健康スポーツ科学実技では、今まで経験したスポーツをより発展的に学習する種目や、中学や高校ではほとんど扱われていない種目を、また地域スポーツ支援プログラムでは、水上安全救助法やスクーバダイビングの技能を活かして、地域におけるスポーツ活動を支える上で必要とされる技能や知識を身につけます。

全学生自由選択枠で開設される種目は次のとおりです（詳しくはシラバスを参照してください）。

① 健康スポーツ科学実技

「ニュースポーツ」（前期・火2）

※ インディアカ、ターゲットバードゴルフ、フロアホッケー、ソフトバレー等を行います。

「ランニング」（前期・火2）

「フィットネス」（前期・水3）

「テニス」（前期・金2）

「アクアスポーツ2：カヌー・ウインドサーフィン」（前期 集中講義）（定員10名）

「野外キャンプ」(前期 集中講義) (定員 24名)

「バレーボール」(後期・水3)

「バドミントン」(後期・金2)

「ダンス」(後期・金2)

※ ジャンルを限定しないダンスを楽しみながら学びます。詳細は第1回目の授業で説明します。

「スキー1・2」(後期 集中講義)

※ スキー1: 初心者初級者コース、スキー2: 中・上級者コース、各コース共に定員25名程度

② 地域スポーツ支援プログラム

「ライフセービングの基礎」(前期 集中講義) (定員20名程度)

「アクアスポーツ1: スクーバダイビング」(前期 集中講義) (定員30名程度)

(5) 日本語・日本事情に関する科目 (医学部医学科は除く)

日本語及び日本事情科目は、外国人留学生のために開設しています。外国人留学生が、この授業科目を履修して修得した単位は、定められた範囲内で、日本語は外国語科目に、日本事情は教養科目の単位に代えることができます。(p. 44, 81 参照)

① 日本語 (1・2年次対象)

「日本語実践Ⅰ」(1単位 前期)

大学生活を円滑に送るために必要な日本語運用能力を身につけることを目標とし、情報を収集・整理する力、自らの課題を設定しそれを解決する力を、具体的な実践を通して身につけます。

「日本語実践Ⅱ」(1単位 後期)

大学生活を円滑に送るために必要なコミュニケーション能力や自己表現能力を身につけることを目標とし、伝え合うための技術や表現を学びながら、聴く力・伝える力を身につけます。

「日本語の表現技法Ⅰ」(1単位 前期)

スピーチやプレゼンテーション、ブックレポートの作成等を通して、外国人留学生が互いに協力しながら、大学で学ぶために必要なコミュニケーション力(伝える力、受けとめる力)や、情報を整理・再構成して言語化する能力を養います。

「日本語の表現技法Ⅱ」(1単位 後期)

クリティカルな視点で物事をとらえて自分の意見を論理的に述べる(口頭・レポート)ための学習を他者との学び合い(協働学習)を通して進めていきます。

「学部留学生のための日本語Ⅰ」(1単位 前期)

大学で学ぶために必要な日本語コミュニケーション力(伝える力、受けとめる力)や、情報を整理・再構成して言語化する能力を養います。

「学部留学生のための日本語Ⅱ」(1単位 後期)

レポートや論文を批判的・分析的に読み、それについて他者とのディスカッションを通じて、自分の意見を口頭で表現し、文章化することの構想から完成に至る一連の過程を学びます。

注1) 上記の日本語科目の受講は、日本語が中級後半～上級レベルの留学生に限ります。

注2) 「学部留学生のための日本語Ⅰ・Ⅱ」は、他の必修科目等の履修と重なり「日本語実践Ⅰ・Ⅱ」や「日本語の表現技法Ⅰ・Ⅱ」を受講できない学部正規生(留学生)を対象に開設します。

② 日本事情（1・2年次対象）

「日本文化事情Ⅰ」（2単位 前期）

日本の自然と生活、歴史や風習などとの関わりの中で育まれた日本文化について、特に春から夏に関係の深い日本文化を中心にわかりやすく紹介します。

「日本文化事情Ⅱ」（2単位 後期）

日本の自然と生活、歴史や風習などとの関わりの中で育まれた日本文化について、特に秋から冬に関係の深い日本文化を中心にわかりやすく紹介します。

「日本社会事情Ⅰ」（2単位 前期）

日本の歴史、文化、技術、環境などについて、オムニバス形式により、わかり易く解説します。また、授業の後半では、受講者自身が日本社会の課題のうちひとつを取り上げ、グループで調査して発表します。

「日本社会事情Ⅱ」（2単位 後期）

日本の教育、宗教、伝統文化、社会問題などについて、オムニバス形式により、わかり易く解説します。また、授業の後半では、受講者自身が日本社会の課題のうちひとつを取り上げ、グループで調査して発表します。

「日本のIT事情」（2単位 後期）

コンピュータ事情は国によってそれぞれ異なります。日本で教育・研究・生活を行う上で必要である基礎的なIT技術を学び、日本語による文章能力・データ処理能力の向上を目指します。

4. 履修上の注意事項

① 教養科目履修登録上限単位数

本学では、教養科目の抽選制度に含まれる科目について、学部、学科、学年、期別に履修登録できる単位数を設定しています。平成31年度入学生の場合、教養科目の履修登録上限単位数は以下のとおりです。

なお、抽選履修対象外科目及び「集中講義」として開設される教養科目は履修登録上限単位数に含まれません。

平成31年度教養科目履修登録上限単位数

学部・学科		年次	区分	前期	後期	計
地域学部		1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	6	8	14
			主題科目・キャリア科目			
医学部	医学科	1	基幹科目(人文・社会分野)	4	4	8
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目(自然分野)			
	生命科学科	1	基幹科目(人文・社会分野)	8	6	14
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目(自然分野)			
	保健学科 看護学専攻	1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	13	9	22
			主題科目・キャリア科目			
	保健学科 検査技術科学専攻	1	基幹科目(人文・社会分野)	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			
			基幹科目(自然分野)			
	工学部	機械物理系学科	1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	6	6
主題科目・キャリア科目						
電気情報系学科		1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	8	10	18
			主題科目・キャリア科目			
化学バイオ系学科		1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	8	12	20
			主題科目・キャリア科目			
社会システム 土木系学科		1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			
農学部	生命環境農学科	1	基幹科目(人文・社会分野、自然分野)	10	10	20
			主題科目・キャリア科目			

② 授業クラスの指定

入門科目、教養科目・基幹科目中の自然分野(工学部の指定クラス)及び実験演習分野、外国語科目、健康スポーツ科目の受講は、履修上の混乱をさけるため、指定されている授業クラス以外での受講は原則として認めません。

なお、全学共通科目開設一覧表・授業時間割表(p.58-81)によって各学部・学科別に指定された授業科目以外の科目を履修しようとするときには、その担当教員の許可を得ることになっています。手続については、所属学部の教務係(医学部生命科学科及び保健学科1年生は、教育支援課教務企画係)に確認してください。

③ 二重履修の禁止

同一曜日の同一時間に開設されている授業科目を、2科目以上(専門科目も含む。)同時に履修することはできません。

④ 同一名称の授業科目

前期・後期とも同じ名称の授業科目には、以下のとおり履修条件が異なるものがありますので、注意してください。誤って履修すると、単位を修得できなくなる場合があります。

(a) 前期・後期それぞれ単位を修得でき、いずれか一方だけでも、あるいは両方とも履修できるもの。

【例：「西洋政治史Ⅰ」、「西洋政治史Ⅱ」】

(b) 前期・後期とも同じ内容を繰り返すもので、いずれかのみ履修できるもの（科目名称は同一であるがクラス番号が異なるもの）。

【例：「憲法学01クラス」、「憲法学02クラス」】

⑤ 固有の履修条件を定めている授業科目

授業科目には固有の履修条件を定めているものがあります。固有の履修条件があるかどうかは、全学共通科目の「開設一覧表」(p. 58-81)の「備考欄」、及び各授業科目の「シラバス」であらかじめ確認してください。

<例>

「化学Ⅰ」、「化学Ⅱ」：前期・後期それぞれ単位を修得できるが、前期（化学Ⅰ）を履修しないと、後期（化学Ⅱ）を履修できない。

⑥ 掲示

全学共通科目の授業実施等に関する学生への連絡・伝達事項は学生掲示板で通知します。一日に一度は必ず見るようにしてください。連絡事項を見落とすと修学上あるいは学生生活等で不利益を被ることがありますので、十分注意してください。

なお、鳥取地区の学生掲示板の位置については、巻末の共通教育棟配置図 (p. 109) を参照してください。米子地区の学生掲示板は、総合教育棟にあります。

⑦ 授業中のマナー

授業中の次のような行為は、真面目に授業を受けている学生や、授業を行っている教員にとって大変迷惑になり、快適な学習環境を奪うことにつながります。自分だけでなく、みんなが快適で楽しいキャンパスライフを過ごすことができるよう、授業中のマナーを守りましょう。

○私語

○講義室の入退室

遅刻はしないこと。授業担当教員に断りなく途中退室はしないこと。

○携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット端末等の使用

授業担当教員の指示により、若しくは、授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合を除き、これらの機器を使用することは禁止です。また、試験の際にこれらの電子機器を見る行為は不正行為になります。授業中は電源を切るかマナーモードにすること。

○授業の撮影・録画・録音

特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。

○飲食

原則禁止としますが、授業担当教員の指示に従ってください。

5. 授業の欠席

① 授業欠席届

やむを得ない事情（病気、交通事故、災害及び忌引、課外活動等）のため授業に出席できない場合は、原則として授業実施後2週間以内に授業欠席届を授業担当教員へ提出してください。

なお課外活動は次の場合に限り（課外活動サークルとして登録され、事前に大会参加を届出ていること）。

- ・ 国際大会
- ・ 全国大会（種目別大会、コンクール、展覧会・演奏会を含む。）
- ・ 地区大会（県内大会は除く。）（種目別大会、コンクール、展覧会・演奏会を含む。）

② 長期欠席届

8日以上連続して授業に出席できない場合は、授業欠席届とは別に診断書等の証明書類を添えて、長期欠席届を所属学部長に提出してください。手続の詳細は所属学部教務係で確認してください（医学部生命科学科及び保健学科1年生は、教育支援課教務企画係）。

③ 感染症による出席停止

インフルエンザなど学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症に罹患した場合は、出席停止となり、授業には出席できません。感染が判明したら、所属学部教務係へ電話連絡のうえ、治療後、登校時に感染症届出書を提出してください。詳細は、p.51を参照してください。

④ 教育実習履修に伴う欠席届

教育実習の履修に伴い、履修登録した他の授業に出席できない場合は、教育実習履修に伴う欠席届をあらかじめ授業担当教員に提出してください。

6. 試験

試験は、前期・後期の最終週に行われます。（クォーター制で実施する授業科目については各クォーターの最終週に行われます。）しかし、授業担当教員によっては、各期中途に小テストを実施したり、レポート等を試験の代わりとする場合もあるので注意してください。

各科目の成績評価方法と基準については、シラバスに記載（学務支援システムでシラバスを参照）していますので必ず確認してください。

① 定期試験

定期試験は、通常の前期・後期の授業終了後に実施されます。所定の時期に試験期間が設けられ、その1週間前に試験時間割が発表されます。

定期試験は、履修手続をした授業科目についてのみ受験することができます。

試験開始時刻に遅刻した場合は受験は認められません。試験における注意事項をp.49に記載していますので確認ください。

② 追試験

追試験は、原則として行いませんが、本人の病気、交通事故、災害等によって受験できない場合及び忌引（2親等以内）の場合に限り、追試験願を提出することで追試験を受けることが認められます。ただし、本人の不注意によって定期試験を受けなかった場合は、追試験を受ける資格はありません。

追試験願は、各学部の単位認定規程等で定める期間内に、授業担当教員の承認を経て（農学部除く）、所属学部長へ提出してください。この期間を過ぎると追試験願は受理しませんので、追試験を受けようとする者は、期限内に遅れないよう注意してください。

なお、追試験を願い出る際には、病気の場合は診断書、その他の場合は証明できる書類等が必要です。

追試験願の用紙は、所属学部の教務係（医学部生命科学科及び保健学科の1年次は、教育支援課教務企画係）で受け取ってください。

③ 再試験

全学共通科目の再試験は、地域学部、工学部及び農学部は卒業判定時に、医学部生命科学科及び保健学科は1年終了時に、医学部医学科は1年次から4年次に、それぞれの学部で定める要件を満たした単位未修得者に対して、当該年度に受講又は受験した科目に限り行われます。

また、手続及び実施時期等は学部により異なりますので、所属学部の単位認定規程等を参照してください。

④不正行為

試験において不正行為を行った場合、鳥取大学単位認定規則第7条(p.43)に規定しているとおり当該期の受講科目すべての単位(全学共通科目及び専門科目)は認められません。

試験での不正行為により単位を認定されない学生の履修歴については、当該期の単位はすべて認定されませんが、履修歴は登録されたものとして取り扱います(したがってGPAは下がります。p.25参照)。

7. 成績

① 成績の評価(成績評価基準)

成績は100点満点で評価され、60点以上に対して単位を認定します。成績評価基準は以下のとおりです。なお、学務支援システムではアルファベットで、成績証明書では漢字表記で成績を表示します。

[成績評価基準]

評価	評点	基準	
優	A	90~100	修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。
	B	80~89	基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。
良	C	70~79	到達目標を達成し、基礎知識・技能を修得している。
可	D	60~69	到達目標を達成し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。
不可	F	0~59	到達目標を達成していない、また授業の基礎知識・技能は修得できていない。

[合否による科目]

評価	基準	
合格	S	到達目標を達成している。
不合格	F	到達目標を達成していない。

[成績の評価ができない科目]

不履修	E	履修登録は行ったが、「鳥取大学単位認定規則」で定める出席回数に達していない。 または、単位の認定試験を受験していない。(論文及びレポート等の未提出を含む)
-----	---	--

1. 個々の授業の成績評価に関してはシラバスを参照すること。
2. 不履修(E)の科目は、「ポイント=0×単位数」として、GPAに加算する。
3. 各学部における「再試験」等対象科目の有無については、各学部の「履修の手引き」等を参照。

② 成績評価の疑義申立制度

全学共通科目の成績評価に疑義がある場合は、受付窓口（鳥取地区は教育支援課、米子地区は学務課）に成績評価確認願を提出し、授業担当教員に疑義申立てすることができます。

申立て可能な期間については、成績公開後の一定期間（鳥取地区については1週間。米子地区については3日間。）に限定されています。詳細は受付窓口で確認してください。

③ GPA制度

GPA（Grade Point Average）制度とは、成績のA、B、C、D、Fランク法で、A、B、C、Dを合格点、Fを不可とし、このランクにA（90点～100点）は4.0、B（80点～89点）は3.0、C（70点～79点）は2.0、D（60点～69点）は1.0、F（59点以下）及び不履修（E）は0のそれぞれ数値（GP：Grade Point）を与え、学期ごとに、学生個々の履修科目のGPにその科目の単位数をかけ、その総和を履修登録科目の総単位数で除して算出した数値です。（合否で判定する科目は算出対象外です。）

例えば、ある学生が1年次前期で11科目18単位を履修し、その成績が以下のものであれば、GPAは次のようになります。

〔授業科目名〕	〔単位数〕	〔評価〕	〔ポイント〕
大学入門ゼミ	2	A	2×4.0＝8
情報リテラシ	2	A	2×4.0＝8
哲学入門	2	B	2×3.0＝6
社会を支える技術	2	C	2×2.0＝4
コミュニケーション英語A	1	C	1×2.0＝2
コミュニケーション英語B	1	C	1×2.0＝2
韓国語基礎I	1	F	1×0.0＝0
健康スポーツ科学実技	1	A	1×4.0＝4
微分積分学I	2	C	2×2.0＝4
基礎物理学I	2	D	2×1.0＝2
基礎化学I	2	E	2×0.0＝0
合計	18		40

(科目の単位数×その科目で得たGrade Point) の総和 40

$$\text{GPA} = \frac{\text{履修登録科目の総単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数}} = \frac{40}{18} = 2.22$$

④ 学期の途中で休学した学生の履修歴

学期の途中で休学した学生の履修歴については、該当学期の単位が認定されないため、履修歴もなかったこととして取り扱います。

ただし、休学が許可される前に成績が評価されたものについては、修得単位も認め、履修歴も認めます。

8. 既修得単位の認定

本学に入学した者のうち、大学・短期大学を卒業又は退学した者について、既に当該大学において修得した単位のうち、全学共通科目の単位について本学において修得したものとして認定されることがあります。

各学部によって取扱いが異なりますので所属学部の教務係に問い合わせてください。

単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の所定の期日までに、既修得単位認定願に成績証明書等を添えて所属学部長に提出してください。

9. 他大学の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

他大学（放送大学及び本学が学術交流協定に基づく学生の交流に関する覚書等を交わした大学）において履修した授業科目及び所定の成績を修めた語学試験（TOEIC、実用英語技能検定試験等）を本学における授業科目の履修とみなして本学が開設する授業科目の単位認定申請を行うことができます。詳しくは p.46-47 を参照するとともに、教育支援課教務企画係（④番窓口）で確認してください（米子地区は学務課教務係）。

10. 教育職員免許状の取得

教育職員免許状を取得しようとする学生は、全学共通科目の中から必ず修得しなければならない授業科目がありますので、所属学部の「履修案内」、「教育職員免許状取得の手引」等を参照して計画的に履修してください。

なお、以下のことについては、特に留意してください。

- ① 必修科目となっている「憲法学」は、「基幹科目中の人文・社会分野」で開設しています。
- ② 必修科目となっている「体育(2単位)」は学部によって履修方法が異なります。

地域学部及び農学部の学生は、健康スポーツ科目から2単位（1年生枠から1単位、全学年自由選択枠から1単位）を修得してください（p.18-19 参照）。

また、工学部の学生は、工学部の「教育職員免許状取得のための手引」を参照して修得してください。

11. グローバル教育プログラム

鳥取大学は豊かなグローバルマインドを根底として、グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力を基礎能力とするグローバルマネジメント能力とタフで健全な心身を有し、深い専門知識（理論）と高い技術力（実践力）を体系的に修得することにより、進展しつつあるグローバル社会の中核として活躍できる人材の育成を目指します。

グローバル教育に関する授業科目を「グローバル教育科目群」として体系的に位置づけ、教養教育の中では学生が基本的な国際通用性を身につけるため「グローバル教育基礎科目群」を設置します。

また、本学の特色でもある短期、中期的な海外派遣による実践的教育プログラムを「海外実践教育に関する科目」として開設しています。

① グローバル教育基礎科目群

本学は、平成25年度から教育の国際化を推進するために、グローバル教育基礎科目群を開設しています。この科目群は、海外への意識やチャレンジ精神を養成しながら、日本と世界の歴史・文化、政治・経済、自然・生態等に関するさまざまな基礎知識を習得するとともに、外国語の運用能力はもとよりプレゼンテーション・ディベートなど様々な情報の受信・発信技能を修得することで、グローバル化に対応した人材を育成することを目的としています。

グローバル教育基礎科目群は、卒業に必要な単位として含まれますので、社会の国際化を見据え積極的に履修してください。（p.82-83 参照）海外渡航を予定している学生は、渡航前に「海外安全マネジメント」を履修してください。また、「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」も履修することを強く勧めます。「鳥取大学グローバル人材育成教育プログラム」基礎力養成コースの登録学生は、「海外安全マネジメント」と「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」の履修が必須です。

② 海外実践教育に関する科目

メキシコ、台湾、ウガンダにおいて、海外の教育・研究機関等と連携した海外実践教育を実施しています。メキシコは全学部2年次以上の学生を対象に、台湾、ウガンダは全学部1年次以上の学生を対象としています。（p.81参照）

メキシコでの実践教育期間は後期の2ヶ月間とし、専門教育及び語学教育(英語とスペイン語)に関する講義及びフィールドワーク等は、現地教員と本学からの派遣教員及び協力機関からの招聘教員が担当し、専門性の高いフィールド調査及びプレゼンテーション技能の向上を目指します。(※期間・内容等については変更する可能性があります。)

台湾での英語の実践教育期間は後期の3週間とし、現地教員による語学教育に関する講義や現地学生との異文化交流を通じて、それぞれの言語の実践的な運用能力を磨きます。

ウガンダでの実践教育期間は後期の3週間とし、マケレレ大学教員による英語によるウガンダ事情の講義、JICA(国際協力機構)他の国際協力機関や開発プロジェクトの説明、国立公園、医療機関、民間企業等におけるフィールドワークを通じて開発の基礎的知識と経験を修得します。

海外実践教育の派遣学生は、TOEICの成績及びGPA等を考慮し、各10～20名程度を選考します。現地で履修し修得した単位は、各学部において全学共通科目又は専門科目の単位として認定することができます。

なお、平成31年度の派遣学生の説明会及び募集は掲示にて随時周知します。

12. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と選択科目「地域創生推進科目」

近年、我が国は急激な少子高齢化及び中山間地の過疎化の進行、地域の活力やコミュニティの衰退、経済のグローバル化による産業の空洞化など様々な課題に直面しています。また、都市と地方の格差が拡大し、地域社会を持続的に発展させていくことが極めて難しい状況になっています。

そのような状況を打開するため、大学にはこれまでに積み重ねてきた教育研究の実績をふまえ、自らの人生と社会の未来を主体的に切り開く能力を備えた人材の育成、地域課題の解決に資する教育研究の推進等を一層充実させることが求められています。

そのため、本学では、社会の未来を切り開こうとする人材の育成を目指して、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む「地域志向科目」を平成27年度から開設しています。

また、起業家精神を持ち、小さなことから始め、ことを起こしていくことができる人材の育成を目指して、建設的な思考や批判ができる力、アイデアを形にすることができる力、物事を前に進めることができる力、事業プロセスを通観することができる力を養うため、平成29年度から「地域創生推進科目」を開設しました。

① 地域志向科目 (平成29年度以降入学生の選択必修科目、p.84参照)

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修してください。この科目群は

基礎科目 地域や社会の特性や課題、日本文化などを学ぶ科目
臨地科目 実際に地域に臨み、より具体的な地域課題を学ぶ科目
実践科目 課題解決や実践に取り組む科目

から構成されます。

地域志向科目は、各学部開設される地域を志向した専門教育に接続します。選択必修として必要な1科目も含め、地域志向科目の単位は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。それについては、履修する科目の全学共通科目区分を確認の上、履修案内の全学共通科目教育課程表(p.32-42)を参照してください。

皆さんの興味・関心、今後の目標などを見据え、積極的に履修してください。

② 地域創生推進科目 (p. 85参照)

この科目群は全学部学生を対象とします。地域志向科目の中で地域創生推進科目としても相応しい科目は、地域志向科目と地域創生推進科目の双方に重複して位置づけています。地域創生推進科目の修得単位数は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。それについては、履修する科目の全学共通科目区分を確認の上、履修案内の全学共通科目教育課程表 (p. 32-42) を参照してください。

地域学部、工学部、及び農学部の学生については、地域創生推進科目を中心に別途定める科目から合計 10 単位、20 単位、30 単位以上を修得した場合に、それぞれ「地域創生推進プログラム」10 単位コース、20 単位コース、30 単位コースの修了が、また、医学部保健学科看護学専攻の学生の場合は別途定める科目から合計 20 単位以上を修得した場合に、「地域創生推進プログラム」医学部保健学科看護学専攻コースの修了が認定されます。「地域創生推進プログラム」の詳細は <http://www.coc.tottori-u.ac.jp/category/education> を参照してください。

Ⅱ．履修規則

1. 鳥取大学全学共通科目履修規則
2. 鳥取大学全学共通科目に関する細則
 - 別表第1 地域学部
 - 別表第2 医学部（医学科、生命科学科、保健学科）
 - 別表第3 工学部（機械物理系学科、電気情報系学科、化学バイオ系学科、社会システム土木系学科）
 - 別表第4 農学部（生命環境農学科）
 - 別表第5 農学部（共同獣医学科）
3. 鳥取大学単位認定規則
4. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程
5. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程
6. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項
7. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱について
8. 試験における注意事項
9. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ
10. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり授業に出席できない場合の取扱について

1. 鳥取大学全学共通科目履修規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学学則（平成16年鳥取大学規則第55号。以下「学則」という。）第24条第3項の規定に基づき、全学共通科目の授業科目、履修方法及び試験等に関し必要な事項を定めるものとする。

(全学共通科目及び一般教養科目の科目区分)

第2条 全学共通科目は、農学部共同獣医学科を除く学部及び学科を対象とし、その科目区分は、次のとおりとする。

入門科目

大学入門ゼミ

情報リテラシ

キャリア入門

教養科目

基幹科目

人文・社会分野

自然分野

実験演習分野

主題科目

人間と文化

人間と科学

人間と環境

健康と生命

世界と地域

教養ゼミナール

キャリア科目

外国語科目

健康スポーツ科目

2 一般教養科目は、農学部共同獣医学科を対象とし、その科目区分は、次のとおりとする。

大学教育導入科目群

人文・社会科学科目群

自然科学科目群

複合領域科目群

外国語科目群

(開設授業科目、単位数及び履修年次)

第3条 全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに修得すべき単位数及び履修年次等については、別に定める。

2 全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに開設する授業科目及び単位数は、鳥取大学教育支援委員会（以下「教育支援委員会」という。）において開設年度の前年度末までに決定する。なお、特に必要と認められる授業科目については、その決定後においても補充することができる。

(外国人留学生の履修及び海外実践教育科目履修の特例)

第4条 第2条に規定するもののほか、外国人留学生のために、日本語・日本事情に関する授業科目を置き、当該授業科目の履修については、鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程（平成5年鳥取大学規則第4号）で定める。

2 第2条に規定するもののほか、海外の教育研究機関と連携し、海外において教育を実施するために、

海外実践教育科目を置き、当該授業科目の履修については、鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程（平成18年鳥取大学規則第4号）で定める。

（履修手続）

第5条 学生は、毎学期所定の期日までに履修しようとする授業科目を、所定の方法により登録しなければならない。

（単位の認定）

第6条 単位の認定は、鳥取大学単位認定規則（平成5年鳥取大学規則第2号。以下「単位認定規則」という。）に基づき行う。

（試験）

第7条 定期試験は、原則として学期末に行う。ただし、レポート試験、実技試験等を行う場合には、定期試験を行わないことがある。

2 追試験は、単位認定規則第6条に該当する者について行う。

3 再試験は、当該学部の定める年次に、所定の要件を満たした者に対し、当該年度に受験した授業科目に限り行うことができる。

（既修得単位等の認定）

第8条 学則第32条の規定による本学に入学前の既修得単位（全学共通科目及び一般教養科目に相当する授業科目に限る。）の認定は、必要に応じ教育センター（以下「センター」という。）の意見を聴して、当該学部教授会の議を経て、学部長が行う。

（他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定）

第9条 学則第29条の規定により他の大学又は外国の大学において履修した授業科目についての単位の認定及び学則第30条の規定により文部科学大臣が別に定める学修を行ったときの単位の認定は、センターからの審査結果の通知に基づき、当該学部教授会の議を経て、学部長が行う。

2 前項の審査方法等については、センター長が別に定める。

（雑則）

第10条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修方法等に関し必要な事項は、教育支援委員会の議を経て、センター長が別に定める。

【参 考】

この規則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成27年3月31日に在学する者については、この規則施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2. 鳥取大学全学共通科目に関する細則

(趣旨)

第1条 この細則は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第3条第1項の規定に基づき、鳥取大学における全学共通科目及び一般教養科目の科目区分ごとに修得すべき単位数及び履修年次等を定めるものとする。

(全学共通科目教育課程表)

第2条 全学共通科目教育課程表及び一般教養科目教育課程表は、別表第1から第5のとおりとする。

【参 考】

この細則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成31年3月31日に在学する者については、この細則施行による改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

全学共通科目教育課程表（地域学部）

科目区分等			単位数・履修年次								備 考													
			1 年		2 年		3 年		4 年															
			前	後	前	後	前	後	前	後														
全学共通科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	2																				
		情報リテラシ	必修	2																				
		キャリア入門	選択	1																				
		計		5																	4単位以上			
	教養科目	主題科目	人間と文化, 人間と科学 人間と環境, 健康と生命 世界と地域, 教養ゼミナール																					
					キャリア科目																		6単位以上	
		基幹科目	人文・社会分野	選択		2	2	2	2	2	2													
						2	2	2	2	2	2	2												
						2	2	2	2	2	2	2												8単位以上
		自然分野	数学 物理学 化学 生物学 地学				2																	
	全ての教養科目の中から																						2単位以上	
	計		6	8	6	6	6	6													4単位以上			
	計				6	8	6	6	6	6												20単位以上		
	外国語科目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1																			
			コミュニケーション英語B	必修	1																			
実践英語A			必修		1																			
実践英語B			必修		1																			
総合英語Ⅰ			必修			1																		
総合英語Ⅱ			必修				1																	
ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ		選択			1	1																		
			ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	選択					1	1														
					計		3	3	2	2														1つの言語を選択し4単位以上修得すること。
					計																			
健康スポーツ科目	必修					1(前期又は後期)																		
		計		1																		1単位以上		
全ての全学共通科目の中から		選択						1																
計								1													1単位以上			
修得単位数合計																					36単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58~)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。(ただし、在籍年次以前の再履修は可能。)

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 8を参照すること。

全学共通科目教育課程表（医学部 医学科）

科目区分等			単位数・履修年次								備考											
			1年		2年		3年		4年													
			前	後	前	後	前	後	前	後												
全 学 共 通 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	0.5																		
		情報リテラン	必修	2																		
		キャリア入門	必修	1(前期又は後期)																		
		計		3.5																	3.5単位	
	教 養 基 幹 目 科	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール		2	2	2	2	2													
			(人間と文化)基礎手話	必修	2																	
		キャリア科目																				
		基	人文・社会分野																			
			心理学	必修			2															14単位以上
		幹	生命倫理学	必修			2															
			自然分野																			
			基礎生物学	必修	2																	
			基礎物理学	必修	2																	
		目	基礎化学	必修	2																	
	基礎数学		必修	2																	8単位	
	実験演習分野																					
	早期体験・ボランティア		必修	1																		
	目	ヒューマンコミュニケーションⅠ	必修	2																		
		ヒューマンコミュニケーションⅡ	必修				1														4単位	
	計			15	4	4	5	2													26単位以上	
外 国 語 科 目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1																		
		コミュニケーション英語B	必修		1																	
		医療英語Ⅰ	必修			1																
		医療英語Ⅱ	必修				1															
		応用英語Ⅰ	必修					1														
		応用英語Ⅱ	必修						1													
	計	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	選択	1	1																1つの言語を選択し2単位修得すること。	
		計		2	2	1	1	1	1												8単位以上	
	健康スポーツ科目		必修	1																	1単位	
	計			1																	1単位	
修得単位数合計																				38.5単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58~)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

全学共通科目教育課程表 (医学部 生命科学科)

科目区分等			単位数・履修年次				備考												
			1年		2年			3年		4年									
			前	後	前	後		前	後	前	後								
全 学 共 通 科 目	入 門 科 目	大学入門ゼミ	必修	1															
		情報リテラシ	必修	2															
		キャリア入門	必修	1(前期又は後期)															
		計		4														4単位	
	教 養 科 目	主 題 科 目	人間と文化	選択														2年次開設の基幹科目(人文・社会分野)から臨床心理学(2単位)及び生命倫理学(2単位)を修得すること。	
			人間と科学																
			人間と環境		2	2		2											
			健康と生命		2	2		2											
			世界と地域		2	2		1											
			教養ゼミナール		2														
		キャリア科目																	1年次開設の基幹科目(人文・社会分野)から次の科目(単位)を修得すること。
		基 幹 科 目	人文・社会分野																15単位以上
			自 然 分 野	数学	選択	}	2	2											2年次開設の基幹科目(自然分野)から保健統計学(2単位)を修得すること。
				物理学			2	2											
				化学															
生物学																			
保健統計学		必修				2											8単位以上		
実 験 演 習 分 野	物理学実験演習		選択			2											2単位以上		
	化学実験演習		選択			2													
	計			12	14	2	5											25単位以上	
外 国 語 科 目	英 語																1つの言語を選択し2単位修得すること。		
	コミュニケーション英語A		必修	1															
	コミュニケーション英語B		必修	1															
	実践英語A		必修		1														
	実践英語B		必修		1														
	総合英語Ⅰ		必修			1													
	総合英語Ⅱ		必修				1												
	医学英語Ⅰ		必修				1												
	医学英語Ⅱ		必修					1											
	(ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ)	選択			1	1													
計			3	3	2	2										10単位以上			
健康スポーツ科目		必修	1(前期又は後期)																
計			1													1単位			
修得単位数合計																	40単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 8を参照すること。

全学共通科目教育課程表（医学部 保健学科看護学専攻）

科目区分等			単位数・履修年次								備考												
			1年		2年		3年		4年														
			前	後	前	後	前	後	前	後													
全 学 共 通 科 目	入 門 科 目	大学入門ゼミ	必修	1																			
		情報リテラシ	必修	2																			
		キャリア入門	必修	1(前期又は後期)																			
		計		4																	4単位		
	教 養 科 目	主 題 科 目	人間と文化	選択																			
			人間と科学																				
			人間と環境																				
			健康と生命			2	1		1								1						
			世界と地域			1	2		2														
			教養ゼミナール			2	2																
		キャリア科目		2	2																		
		基 幹 科 目	人文・社会分野		2	2																	
			自然分野		2																		
			物理学		2																		
			化学		2																		
			保健統計学	必修			2															2単位以上	
実験演習分野																							
目	物理学実験演習	選択		2																			
	化学実験演習	選択		2																			
	科学実験演習	選択		1																1単位以上			
	計		13	14	2	3							1							18単位以上			
外 国 語 科 目	英語																						
	コミュニケーション英語A	必修	1																				
	コミュニケーション英語B	必修	1																				
	実践英語A	必修		1																			
	実践英語B	必修		1																			
	総合英語Ⅰ	必修			1																		
	総合英語Ⅱ	必修				1																	
	医療英語Ⅰ	必修					1																
	医療英語Ⅱ	必修						1															
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	選択																					
フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ			1	1																			
中国語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
計		3	3	1	1	1	1													10単位以上			
健康スポーツ科目	必修	1																					
計		1																		1単位			
修得単位数合計																				33単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 8を参照すること。

全学共通科目教育課程表 (医学部 保健学科検査技術科学専攻)

科目区分等			単位数・履修年次				備考															
			1年		2年			3年		4年												
			前	後	前	後		前	後	前	後											
全 学 共 通 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	1																		
		情報リテラシ	必修	2																		
		キャリア入門	必修	1(前期又は後期)																		
		計			4															4単位		
		主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	}																1年次開設の主題科目、基幹科目(人文・社会分野)から次の科目(単位)を修得すること。 主題科目:保健医療概論(2単位) 基幹科目:人文・社会分野のうち、「哲学・倫理学」、「心理学」、「芸術入門」及び「文学」から2科目4単位以上 「憲法学」、「政治学」、「経済学」及び「歴史学」から2科目4単位以上		
					2	2		2		1												
		2			2		2															
		2			2		1															
		2			2		1															
		キャリア科目	選択			2	2		1													
		人文・社会分野				2	2		1												2年次開設の基幹科目(人文・社会分野)の生命倫理(2単位)を修得すること。 14単位以上	
		基幹科目	自然分野 (数学 物理学 化学 生物学)	}																	1年次開設の科目から4単位以上を修得すること。	
					2	2																
					2	2																
		保健統計学	必修					2													6単位以上	
		実験演習分野	物理学実験演習	}	選択			2													1年次開設の科目から2単位以上を修得すること。 2単位以上	
	化学実験演習				選択			2														
	生物学実験演習				選択			2														
		計			16	22	2	7		1											22単位以上	
		外国語科目	英語																			
	コミュニケーション英語A		必修	1																		
	コミュニケーション英語B		必修	1																		
	実践英語A		必修		1																	
	実践英語B		必修		1																	
	総合英語Ⅰ		必修			1																
	総合英語Ⅱ		必修				1															
	医療英語Ⅰ		必修					1														
	医療英語Ⅱ		必修						1													
	(ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ)		}	選択	1	1																1つの言語を選択し2単位修得すること。
		3			3	1	1	1	1												10単位以上	
		健康スポーツ科目			必修	1(前期又は後期)																
		計					1															1単位
	修得単位数合計																			37単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 9を参照すること。

全学共通科目教育課程表（工学部 機械物理系学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考																	
			1年		2年			3年		4年														
			前	後	前	後		前	後	前	後													
全 学 共 通 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	2																				
		情報リテラシ	必修	2																				
		キャリア入門	必修	2																				
		計		6																	6単位			
	教 養 基 幹 科 目	主題科目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択	2	2																基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。		
					2	2																		
					2	2																		
			キャリア科目																					
		基 幹 科 目	自然分野	人文・社会分野																				8単位以上
				生物学																				
				地学																				
				数学																				
				微分積分学Ⅰ	必修	2																		
				微分積分学Ⅱ	必修		2																	
				線形代数Ⅰ	必修	2																		
				線形代数Ⅱ	必修		2																	
				物理学																				
	基礎物理学Ⅰ			必修	2																			
	基礎物理学Ⅱ	必修		2																				
化学																								
化学概論	選択	2																						
実験演習分野																								
物理学実験演習	必修	2																						
	計		16	12	4	4	0	0												26単位以上				
外 国 語 科 目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1																	1つの言語を選択し2単位修得すること。			
		コミュニケーション英語B	必修	1																				
		実践英語A	必修		1																			
		実践英語B	必修		1																			
		総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1																	
		総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1																	
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ																				1つ以上の言語を選択し2単位修得すること。	
			フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ																					
			中国語基礎Ⅰ・Ⅱ		1	1																		
			韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ																					
	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ	選択	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ																				1年次に履修した言語を2年次に履修可能。 ※教養科目の単位として認める。	
			フランス語応用Ⅰ・Ⅱ																					
			中国語応用Ⅰ・Ⅱ				1	1																
			韓国語応用Ⅰ・Ⅱ																					
	計		3	3	3	3														10単位以上				
	健康スポーツ科目	必修		1(前期又は後期)																	1単位以上			
	計			1																	1単位以上			
	修得単位数合計																				43単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 9を参照すること。

全学共通科目教育課程表（工学部 電気情報系学科）

科目区分等			単位数・履修年次								備考													
			1年		2年		3年		4年															
			前	後	前	後	前	後	前	後														
全 学 共 通 科 目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	2																				
		情報リテラシ	必修	2																				
		キャリア入門	必修	2																				
		計		6																		6単位		
	教 養 基 幹 目 科 目	主題科目	人間と文化	選択																				
			人間と科学																					
			人間と環境																					
			健康と生命			2	2																	
			世界と地域			2	2																	
		教養ゼミナール		2	2																			
		キャリア科目		2	2																			
		基 幹 目 科 目	人文・社会分野			2																		
			生物学																					
			化学																					
			地学																					
			物理学																					
			力学基礎	必修		2																		
			力学基礎演習	必修		1																		
	数学																							
	微積分学Ⅰ及び演習	必修	3																					
微積分学Ⅱ及び演習	必修		3																					
線形代数学及び演習	必修	3																						
実験演習分野																								
物理学実験演習	必修		2																					
計		14	18																		22単位以上			
外 国 語 目 科 目	英語																							
	コミュニケーション英語A	必修	1																					
	コミュニケーション英語B	必修	1																					
	実践英語A	必修		1																				
	実践英語B	必修		1																				
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1																		
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1																		
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1																				
	韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ																							
	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ																							
	フランス語応用Ⅰ・Ⅱ																							
中国語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1																			
韓国語応用Ⅰ・Ⅱ																								
スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ																								
計		3	3	3	3																10単位以上			
健康スポーツ科目	必修		1(前期又は後期)																					
計			1																			1単位以上		
修得単位数合計																						39単位以上		

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 9を参照すること。

全学共通科目教育課程表（工学部 化学バイオ系学科）

科目区分等			単位数・履修年次								備 考	
			1 年		2 年		3 年		4 年			
			前	後	前	後	前	後	前	後		
入 門 科 目	大学入門ゼミⅠ	必修	2									
	大学入門ゼミⅡ	必修		2								
	情報リテラシ	必修	2									
	キャリア入門	必修	2									
	計		6	2							8単位	
全 学 共 通 科 目	主 題 科 目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール	選択	2	2						主題科目、キャリア科目、基幹科目の「人文・社会分野」「生物学」「地学」より12単位以上修得する。 ただし、基幹科目（人文・社会分野）のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を履修すること。	
				2	2							
				2	2							
				2	2							
				2	2							
		キャリア科目										
	基 幹 科 目	人文・社会分野 生物学 地学 数学 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 化学 基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ 実験演習分野 化学実験演習 物理学実験演習	選択 選択 必修 必修 必修 選択	2								
				2	2							
				2	2							
2												
	計		14	16		2				20単位以上		
外 国 語 科 目	英語											
	コミュニケーション英語A	必修	1									
	コミュニケーション英語B	必修	1									
	実践英語A	必修		1								
	実践英語B	必修		1								
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修			1	1						
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修			1	1						
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ											
	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ											
	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修	1	1							1つの言語を選択し2単位修得すること。	
	韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ											
	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ											
	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ											
フランス語応用Ⅰ・Ⅱ												
中国語応用Ⅰ・Ⅱ	選択			1	1					1年次に履修した言語を2年次に履修可能。		
韓国語応用Ⅰ・Ⅱ												
スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ												
	計		3	3	3	3					10単位以上	
	健康スポーツ科目	必修		1(前期又は後期)								
	計			1							1単位以上	
	修得単位数合計										39単位以上	

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 10を参照すること。

全学共通科目教育課程表（工学部 社会システム土木系学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考														
			1年		2年			3年		4年											
			前	後	前	後		前	後	前	後										
全学 共通 科目	入門科目	大学入門ゼミ	必修	2																	
		情報リテラシ	必修	2																	
		キャリア入門	必修	2																	
	計				6													6単位			
	教養 科目	主題科目	人間と文化	選択															基幹科目(人文・社会分野)のうち、「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」「文学」から2科目4単位以上、「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史学」から2科目4単位以上を修得すること。 自然分野の地学から「地球科学(2単位)」を1年次に修得することが望ましい。		
			人間と科学		2	2															
			人間と環境		2	2															
			健康と生命		2	2															
			世界と地域		2	2															
		教養ゼミナール	2	2																	
		キャリア科目				2	2														
		基幹 科目	人文・社会分野			2	2														「物理学」「数学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれない。
			自然分野			2	2														
			生物学																		
			化学																		
地学																		8単位以上			
物理学																					
力学基礎及び演習	必修				3																
数学																					
分野 科目	微分積分学Ⅰ	必修		2														「物理学」「数学」について、左記以外の科目は卒業に必要な単位には含まれない。			
	微分積分学Ⅱ	必修		2																	
	線形代数	必修		2																	
	実験演習分野																				
地球科学実験演習			選択			2											地球科学実験演習は社会経営工学プログラムにおいては卒業に必要な単位には含まれない。				
計				14	15	2											21単位以上				
外国 語 科目	英語																	1つの言語を選択し2単位修得すること。			
	コミュニケーション英語A	必修		1																	
	コミュニケーション英語B	必修		1																	
	実践英語A	必修			1																
	実践英語B	必修			1																
	総合英語Ⅰ・Ⅱ	必修				1	1														
	総合英語Ⅲ・Ⅳ	必修				1	1														
	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ																				
	フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ																				
	中国語基礎Ⅰ・Ⅱ	必修		1	1																
	韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ																				
	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ																				
	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ																				
フランス語応用Ⅰ・Ⅱ																					
中国語応用Ⅰ・Ⅱ	選択				1	1											1年次に履修した言語を2年次に履修可能。				
韓国語応用Ⅰ・Ⅱ																					
スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ																					
計				3	3	3	3										10単位以上				
健康スポーツ科目		必修		1(前期又は後期)														1単位以上			
計				1														1単位以上			
修得単位数合計																		38単位以上			

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58~)を参照すること。
 【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。
 【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 10を参照すること。

全学共通科目教育課程表 (農学部 生命環境農学科)

科目区分等			単位数・履修年次								備考				
			1年		2年		3年		4年						
			前	後	前	後	前	後	前	後					
全 学 共 通 科 目	入 門 科 目	大学入門ゼミ	必修	2								キャリア入門ⅠA、ⅠBをあわせて2単位、 またはキャリア入門ⅡA、ⅡBをあわせて 2単位修得すること。			
		情報リテラシ	必修	2											
		キャリア入門ⅠA	選択	1											
		キャリア入門ⅠB	選択	1											
		キャリア入門ⅡA	選択		1										
		キャリア入門ⅡB	選択		1										
	計			6	2							6単位以上			
	教 養 科 目	主 題 科 目	人間と文化 人間と科学 人間と環境 健康と生命 世界と地域 教養ゼミナール										基幹科目(人文・社会分野)のうち、 「哲学・倫理学」「心理学」「芸術入門」 「文学」から2科目4単位以上、 「憲法学」「政治学」「経済学」「歴史 学」から2科目4単位以上を修得する こと。 基幹科目(自然分野)から6単位以上 を修得すること。		
				キ ャ リ ア 科 目		2	2								
					基 幹 科 目	人文・社会分野	選択	2	2						
							2	2							
							2	2							
							2	2							
		自 然 分 野 科 目	数学 物理学 化学 生物学 地学												
計			10	10							18単位以上				
外 国 語 科 目	英 語	コミュニケーション英語A	必修	1								1つの言語を選択し2単位修得すること。			
		コミュニケーション英語B	必修	1											
		実践英語A	必修		1										
		実践英語B	必修		1										
		総合英語Ⅰ	必修			1									
		総合英語Ⅱ	必修				1								
	ド イ ツ 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ フ ラ ン ス 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ 中 国 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ 韓 国 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ ス ペ イ ン 語 基 礎 Ⅰ ・ Ⅱ	選択	1	1											
		計			3	3	1	1					8単位以上		
		健 康 ス ポ ー ツ 科 目	必修	1(前期又 は後期)											
			計			1								1単位以上	
修得単位数合計											33単位以上				

*キャリア入門Ⅰを修得している場合に限り、キャリア入門Ⅱを教養科目に含めることができる。

全学共通科目の授業科目及び単位数については、「全学共通科目開設一覧表」(p. 58～)を参照すること。

【注】教養科目の単位数・履修年次の数字は、履修可能上限単位数を表している。履修案内p. 21を参照すること。

【注】基幹科目・自然分野の履修方法については、p. 10を参照すること。

一般教養科目教育課程表（農学部 共同獣医学科）

科目区分等			単位数・履修年次				備考					
			1年	2年	3年	4年						
			前	後	前	後						
一般 教 養 科 目	大学 教育 導 入 科 目 群	大学入門ゼミ	必修	2								
		大学教育導入演習Ⅰ	必修	1								
		大学教育導入演習Ⅱ	必修			1						
		教養基礎力養成演習	必修		2							
	計			3	2	1					6単位	
	人文・社会科学科目群		選択	2	2	2	2					
	計			4	4	2	2				8単位以上	
	自然科学科目群		選択	2	2	2	2					解析学教程Ⅰ(2単位)・物理学入門Ⅰ(2単位)・化学Ⅰ(2単位)・生物学Ⅰ(2単位)を修得すること。 地球科学を選択した場合、卒業に必要な単位は2単位までとする。
	計			8	4	2	2				12単位以上	
	複合領域科目群		選択	2	2	2	2					
	計			5	4	2	2				9単位以上	
	外国 語 科 目	英語	コミュニケーション英語A	必修	1							
コミュニケーション英語B			必修	1								
実践英語A			必修		1							
実践英語B			必修		1							
総合英語Ⅰ			必修			1						
総合英語Ⅱ			必修				1					
第二 外国 語		ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ	選択	1	1							1つの言語を選択し2単位修得すること。
		フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ										
		中国語基礎Ⅰ・Ⅱ										
		韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ										
計			3	3	1	1				8単位以上		
修得単位数合計										43単位以上		

3. 鳥取大学単位認定規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学学則（平成16年鳥取大学規則第55号。以下「学則」という。）第25条の規定に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(授業時間数)

第2条 学則第22条に定める開設授業科目の単位認定にあたっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、1単位の授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|----------------------------|------|
| 一 講義 | 15時間 |
| 二 演習及び全学共通科目の実技 | 30時間 |
| 三 実験、実習及び実技（全学共通科目の実技を除く。） | 45時間 |

2 前項の規定にかかわらず、1単位の授業時間について、各学部において必要と認める場合には、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第21条第2項に定めるところにより、当該学部において別に定めることができる。

3 各学部が、一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2項に定める授業の時間を考慮するものとする。

(出席時間数)

第3条 出席時間数が前条第1項及び第2項の規定の5分の4に満たない者については、単位の認定を行わない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められた者については、例外的に同項の規定の5分の3以上出席した者についても、単位の認定を行うことができる。

(単位の認定)

第4条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験（論文及びレポート等を含む。）の上、次条に規定する成績の評価に基づき、単位を認定するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文及び卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して、各学部規則の定めるところにより単位を認定するものとする。

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、100点満点で採点して60点以上を合格とする。

2 成績は、A、B、C、D、Fをもって表し、Aは90点以上、Bは80点～89点、Cは70点～79点、Dは60点～69点、Fは59点以下とする。

3 前2項の規定にかかわらず、学部で指定する科目については、合否で判定し、合はS、否はFをもって表すものとする。

(追試験)

第6条 追試験は、第3条の条件を満たした者で病気その他特別の事情により試験を受けなかった者について行う。

(受験不正行為による単位不認定)

第7条 試験（論文及びレポート等を含む。）において不正行為を行った場合は、当該期の単位はすべて認めない。

(授業料未納により除籍された者の単位不認定)

第8条 学則第80条第3項の規定により除籍された者については、授業料未納期間にかかる単位は認定しない。

【参考】

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

第3条の『ただし、特にやむを得ない事情があると認められた者』については、p. 23を参照してください。

4. 鳥取大学における外国人留学生に対する授業科目等の特例に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第4条第1項の規定に基づき、外国人留学生（以下「留学生」という。）の授業科目の取扱いについて特例を定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第2条 留学生に開設する日本語・日本事情に関する授業科目及び単位数は、次のとおりとする。

授 業 科 目	単 位 数	
	前 期	後 期
日本語実践Ⅰ	1	
日本語実践Ⅱ		1
日本語の表現技法Ⅰ	1	
日本語の表現技法Ⅱ		1
学部留学生のための日本語Ⅰ	1	
学部留学生のための日本語Ⅱ		1
日本文化事情Ⅰ	2	
日本文化事情Ⅱ		2
日本社会事情Ⅰ	2	
日本社会事情Ⅱ		2
日本のIT事情		2

(単位の認定)

第3条 留学生が前条に掲げる授業科目を履修し修得した単位は、各学部において定める修得すべき単位数のうち12単位を超えない範囲内において、次に掲げる単位として認定することができる。

- 一 教養科目（農学部共同獣医学科にあつては人文・社会科学科目群及び複合領域科目群）については、8単位までを「日本文化事情」、「日本社会事情」及び「日本のIT事情」の単位
- 二 外国語科目（農学部共同獣医学科にあつては外国語科目群）については、6単位までを「日本語実践」、「日本語の表現技法」及び「学部留学生のための日本語」の単位

(単位認定の申請)

第4条 前条に掲げる単位の認定を受けようとする留学生は、所定の様式を所属学部長へ提出するものとする。

2 前項の申請期間は、各学期の末日までとする。

【参 考】

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

5. 鳥取大学における海外実践教育科目の特例に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第4条第2項の規定に基づき、海外実践教育の授業科目の履修について、特例を定めるものとする。

(授業科目及び単位数)

第2条 海外実践教育に関する授業科目及び単位数は次のとおりとし、授業科目の名称には、教育プログラムの内容（国名、連携大学名等）を付記する。

	授 業 科 目	単 位 数
語学	海外語学学修A	1
	海外語学学修B	2
語学以外の学修	海外実践学修A	1
	海外実践学修B	2
	海外実践学修C	3
	海外実践学修D	4
	海外実践学修E	5

2 前項に掲げる授業科目及び単位数は、教育センター又は国際交流センター等において連携大学等との協議のうえ、教育支援委員会で決定する。

(履修手続き及び単位認定の申請)

第3条 前条に掲げる授業科目の履修及び次条に掲げる単位認定を希望する学生は、留学前に所定の様式を所属学部長へ提出するものとする。

(単位の認定)

第4条 学生が第2条に掲げる授業科目を履修し修得した単位は、各学部において全学共通科目又は専門科目（農学部共同獣医学科にあっては一般教養科目及び専門教育科目）の単位として認定することができる。

【参 考】

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

海外実践教育に関する授業科目はp.81を参照

6. 他大学等の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修に関する取扱要項

(趣旨)

第1 この要項は、鳥取大学全学共通科目履修規則（平成5年鳥取大学規則第3号）第9条第2項の規定に基づき、他大学等において履修した授業科目及び文部科学大臣が別に定める学修を鳥取大学（以下「本学」という。）における授業科目の履修とみなして単位を与えることについて、必要な事項を定めるものとする。

(認定科目)

第2 他大学等において履修した授業科目及び文部科学大臣が別に定める学修のうち、本学における授業科目の履修とみなして認定できる試験資格、授業科目及び単位数等は、別表のとおりとする。

(申請手続)

第3 単位認定を申請する者（以下「申請者」という。）は、次の各号に定める書類を学生部教育支援課に提出するものとする。

- 一 単位認定申請書（別紙様式第1号）
- 二 単位認定申請に係る履修大学及び単位認定を申請する試験資格の成績等を証明する書類

2 前項の申請の受付期間は、各学期の履修手続期間内とする。

(単位の認定)

第4 第3の申請があったときは、教育センター及び各学部は、次の各号に定めるところにより審査及び単位認定を行うものとする。

- 一 教育支援委員会において、当該申請に係る審査を行うものとし、教育センター長は、その審査結果を申請者の所属学部長（以下「学部長」という。）に通知するものとする。ただし、別表により認定する授業科目、認定単位数及び認定評価（評点）が規定されているものについては、審査を省略することができる。
- 二 学部長は、教育センター長からの通知に基づき、教授会の議を経て単位の認定を行うものとする。
- 三 学部長は、申請者に対し単位認定書（別紙様式第2号）を交付するとともに、認定した授業科目に替えて他の授業科目の履修に努めさせる等、学習内容の充実を図るように指導するものとする。

(雑則)

第5 この要項に定めるもののほか、本学における授業科目の履修とみなして単位を与えることについて必要な事項は、教育支援委員会の議を経て、教育センター長が別に定める。

【参 考】

この要項は、平成30年6月13日から施行する。

【別 表】

・他の大学

履修大学	履修科目	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)
放送大学	申請の都度、教育支援委員会において定める。			
鳥取県4大学間の 単位互換に関する 包括協定締結大学	教育支援委員会において定める。			

備考：（1）放送大学の授業料は、原則として個人負担とする。

（2）放送大学の授業科目を本学の単位として認定するための申請は、受講前に必ず行う。

（3）休学中に受講した科目については、認定しない。

（4）放送大学の履修については、本学では開設されていない科目等を活用して幅広い履修を可能とすることを趣旨とすることから、本学で開講されている授業科目は本学で履修することを原則とする。ただし、やむを得ない事情があると認められる場合には、当該学部からの申請により、教育支援委員会の審議に基づき、履修を認めることがある。

・外国の大学

履修大学		履修科目	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)
学術交流協定に基づく学生の交流に関する覚書等を交わした大学	ウォータールー大学	英語研修	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ	1単位	履修大学の成績に基づき教育センターが決定する。
	アーカンソー大学 (島根大学連携)				
	アストン大学				
	カリフォルニア大学 デービス校				
	マラヤ大学				
	アデレード大学				
	上記以外				

備考：奨学金が支給されるものを除き、留学にかかる費用は個人負担とする。

・資格試験

区分	認定する試験資格		成績等	認定する授業科目	認定単位数	認定評価(評点)	
英語	TOEFL	PBT	540点以上	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 平成20年度入学以前 英語Ⅰ 英語Ⅱ	2単位	A(90)	
			500～539点		1単位	B(80)	
		CBT	207点以上		2単位	A(90)	
			173～206点		1単位	B(80)	
		iBT	76点以上		2単位	A(90)	
			61～75点		1単位	B(80)	
	TOEIC	730点以上			英語Ⅰ	2単位	A(90)
		600～729点			英語Ⅱ	1単位	B(80)
	実用英語技能検定試験	準1級以上				2単位	A(90)
		2級				1単位	B(80)
初修外国語	ドイツ語技能検定試験		3級以上	ドイツ語応用Ⅰ ドイツ語応用Ⅱ	2単位	A(90)	
	実用フランス語技能検定試験		3級以上	フランス語応用Ⅰ フランス語応用Ⅱ	2単位	A(90)	
	中国語検定試験		3級以上	中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ	2単位	A(90)	
	HSK(漢語水平考)		4級以上				
	ハングル能力検定試験		3級以上	韓国語応用Ⅰ 韓国語応用Ⅱ	2単位	A(90)	
	スペイン語技能検定試験		3級以上	スペイン語応用Ⅰ スペイン語応用Ⅱ	2単位	A(90)	

備考：(1) 本制度による英語の認定単位数は2単位までとする。

(2) 同一の試験資格で複数の成績を持つ場合は、上位の成績等をもって認定の対象とする。

(3) 英語について、既にこの制度で1単位を認定されている者が改めて上位の成績等で申請する場合は、上位の成績等の認定単位数からこの制度で認定されている1単位を引いた単位を認定の対象とする。

(4) 異なる試験資格で同じ認定評価となる単位の認定は行わない。

(例) 実用英語技能検定2級で1単位(B(80))認定済の場合

- ・新たにTOEIC 730点以上を取得・・・上記(3)に基づき、1単位 A(90)のみ申請可
*認定済の成績評価B(80)は変更できません。
- ・新たにTOEIC 600～729点を取得・・・上記(4)に基づき申請不可

(5) 平成26年度以前入学生が、全学共通科目教育課程表に定める実践英語B及び総合英語Ⅱの単位認定に用いたTOEICの点数については、本制度による申請の対象外とする。

7. 気象警報発令に伴う授業及び定期試験の取扱いについて

気象警報発令に伴う授業及び定期試験（以下「授業等」という。）の取扱いは下記のとおりとする。

1. 授業等の取扱い

- (1) 特別警報（波浪特別警報を除く。）が、鳥取市北部（米子キャンパスにあつては米子市）に午前7時時点で発令されている場合は午前（1時限及び2時限）の授業等を休講とし、午前11時時点で発令されている場合は午後（3時限、4時限及び5時限）の授業等を休講とする。
- (2) 警報（暴風、大雨、洪水、大雪、暴風雪）発令に伴う授業及び定期試験（以下「授業等」という。）の取扱いは、次の基準に基づき、教育担当理事（米子キャンパスにあつては医学部長）が判断する。
 - 1) 鳥取市北部（米子キャンパスにあつては米子市）に午前7時時点で警報が発令されており、かつ、公共交通機関（鳥取駅、米子キャンパスにあつては米子駅発着のJR）が運休している場合には、午前（1時限及び2時限）の授業等を休講する。
 - 2) 鳥取市北部（米子キャンパスにあつては米子市）に午前11時時点で警報が発令されており、かつ、公共交通機関（鳥取駅、米子キャンパスにあつては米子駅発着のJR）が運休している場合には、午後（3時限、4時限及び5時限）の授業等を休講とする。
- (3) 上記以外で特に安全確保が必要と認められる場合は、授業等を休講とする。
- (4) 休講に伴う補講は、原則として各学期に設定する予備日に実施するものとする。

2. 周知の方法

- (1) 鳥取大学のホームページ及び学務支援システムのお知らせ欄に次のとおり掲載する。

午前の授業	午前 7時30分までに掲載
午後の授業	午前11時30分までに掲載

- (2) 学生部から各学部へ連絡し、各学部は掲示等により周知する。
- (3) 非常勤講師については、必要に応じて各学部及び学生部からメール及び電話等により速やかに周知する。

3. 悪天候により通学困難な場合の取扱い

授業等を休講しない場合において、公共交通機関が運休する等のやむをえない事情により学生が授業等を欠席又は遅刻した場合は、授業担当教員は当該学生に対し、不利益を与えないよう配慮するものとする。

付記

- (1) この取扱いは、平成21年12月18日から適用する。
- (2) 「台風の来襲に伴う授業及び定期試験の取扱いについて」は、廃止する。
- (3) この取扱いは、平成27年10月1日から適用する。
ただし、平成27年度後期の予備日については、必要に応じ、教育担当理事（米子キャンパスにあつては医学部長）が設定する。
- (4) この取扱いは、平成27年12月25日から適用する。

8. 試験における注意事項

受験心得について

1. 履修登録した科目以外は受験できない。
2. **試験室においては、静粛にし、試験監督者の指示に従うこと。**
3. 特に指定された場合を除き、3人用机には両端に、2人用机には1人着席のこと。
4人用以上の机には1人分の間をおくこと。
4. 受験時には学生証を持参し、必ず机上に置くこと。
忘れた場合は、所属学部教務係（医学部生命科学科及び保健学科1年次は教育支援課）に申し出て、仮身分証明書の交付を受け、必ず机上に置くこと又は試験監督者に申し出て指示を受けること。
5. 机の上には、筆記用具、消しゴム、時計（計時機能だけのものに限る。）以外の携行品を置くことはできない。筆箱等は、かばん等に入れて、足下に置くこと。
ただし、持ち込みが許可されているものについては、この限りではない。
6. **携帯電話、PHS等は、電源を切り、かばん等に入れて足下に置くこと。**
7. 試験時間中の物品の貸借は認めない。
8. 試験開始時刻に遅れた者は、監督者に申し出て指示を受けること。
9. 監督者から特別の指示がある場合を除き、原則として、試験開始後30分を経過しなければ退室を認めない。
10. 質問がある場合及び発病等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。

答案記入上の注意事項について

1. 答案は、万年筆、ボールペン、鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
2. 学生番号、氏名等の必要事項は必ず記入すること。
3. 配布された答案用紙に解答を書ききれない場合は、手を挙げて監督者の指示に従うこと。

不正行為について

「不正行為」とは、次に掲げる行為をいう。

(1) 筆記試験

- ① 受験者本人に代わって他人に試験を受験させる行為、及び受験者本人に代わって受験する行為
- ② 事前に許可されていない資料等および電子機器類等を見る行為
- ③ 他の学生の答案を盗み見る行為
- ④ 故意に他の学生に自己の答案を見せる行為及び何らかの方法で解答を教示する行為
- ⑤ 試験監督者の指示に従わない行為

(2) 論文・レポート試験

- ① 他人に代筆させた論文・レポートを提出する行為
- ② 他人のレポートを代筆する行為
- ③ 実験や調査結果のデータを捏造又は改ざんする行為
- ④ 他人の論文・レポートを盗用する行為

- (3) 上記のほか、全学共通科目及び一般教養科目においては教育センター長（米子地区においては医学部教務担当副学部長）、専門科目においては当該学部の教務担当副学部長が不正行為として認めた行為

不正行為を行った者に対しては、**当該期のすべての単位は認めない。**
また、履修登録したものであるので、GPA算出の履修登録単位数に算入する。

9. 鳥取大学における全学共通科目の成績評価に関する申合せ

(趣旨)

第1 この申合せは、鳥取大学における全学共通科目（鳥取地区で開講される科目に限る）及び一般教養科目（以下「全学共通科目」という。）の成績評価に関し、必要な事項を定めるものとする。

(成績の評価基準)

第2 全学共通科目の成績は、次の基準に基づき評価するものとする。
(成績の評価基準についてはp. 24 参照)

(成績評価基準と方法の周知)

第3 全学共通科目の授業担当教員は、各授業科目の成績評価の基準と方法をシラバスに明記するとともに、各授業において、到達目標と関連づけながら授業内容に基づき具体的に説明するものとする。

(成績の報告)

第4 全学共通科目の授業担当教員は、各学期の指定された期日までに、所定の方法により成績を報告するものとする。

(成績評価に対する疑義申立て)

第5 学生が、自らの成績評価に関して、次の各号のいずれかに該当すると判断した場合は、当該授業科目の成績公開後1週間以内に「成績評価確認願」（別紙様式）により申立てを行うことができる。

- 一 成績の誤記入等、明らかに授業担当教員の誤りであると思われるもの
- 二 シラバス等に記載されている到達目標、成績の評価方法と基準等から、明らかに成績評価について疑義があると思われるもの

(疑義申立てへの対応)

第6 学生から成績評価に関する疑義申立てがあった場合の対応は、教育支援・国際交流推進機構教育センター長を責任者とし、疑義申立ての窓口は、学生部教育支援課とする。なお、学生は、授業担当教員に直接申立てを行うことはできない。

- 2 責任者は、申立ての内容を確認し、必要に応じて当該学生に面談等を実施した上で、速やかに授業担当教員に対し成績評価に関する回答を求めるものとする。ただし、申立て内容が、明らかに第5に定める申立てが可能な場合に該当しないと責任者が判断したときは、当該学生にその旨を通知する。
- 3 授業担当教員は、責任者から回答を求められた場合、1週間以内に回答を行うものとする。
- 4 責任者は、授業担当教員からの回答内容を確認し、必要な場合は、当該教員に面談等を実施して調整を行った上で、その結果を、申立てのあった日から原則として2週間以内に、当該学生に通知するものとする。
なお、授業担当教員との調整が困難である場合、教育支援・国際交流推進機構長が判断するものとする。

(医学部1年次の進級に係る取り扱い)

第7 第5及び第6に関わらず、医学部1年次の進級判定に支障がある場合は、申立て期間等を別に定めることができるものとする。

(成績評価の修正等)

第8 疑義申立ての結果及びその他特別な事情により成績評価の修正等が生じた場合、授業担当教員は学生部教育支援課において成績修正の手続きを行うものとする。

(その他)

第9 この申合せに定めるもののほか、全学共通科目の成績評価に関し必要な事項は、教育支援委員会において審議し決定するものとする。

【参考】

この申合せは、平成30年11月 2日から施行する。

10. 学生が学校保健安全法に基づく出席停止となり 授業に出席できない場合の取扱いについて

本学学生が、学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症にかかった場合、又はかかった疑いがある場合、学校保健安全法第19条に基づき、学内感染及び感染拡大防止のため、出席停止の取り扱いとします。

該当する学生は、まず所属学部教務係へ連絡をした上で、医師の指示に従い、治療に専念してください。

なお、回復して授業に出席する場合には、「学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症届出書」に医師の診断書（出席停止期間が明記されたもの）若しくは本学所定の治癒証明書を添えて、所属学部教務係へ提出してください。

出席停止となった期間に出席できなかった授業については、履修上不利とならないよう配慮しますので、担当教員に直接確認してください。

○学校保健安全法施行規則に定める感染症の種類と出席停止期間

分類	病名	出席停止の基準	
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、急性灰白髄炎（ポリオ）、鳥インフルエンザ（H5N1）	治癒するまで	
第2種	インフルエンザ	発症後5日、かつ、解熱後2日（幼児3日）が経過するまで	
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで	
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで	
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日間を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで	
	風しん	発疹が消失するまで	
	水痘（みずぼうそう）	すべての発疹が痂皮化するまで	
	咽頭結膜熱	主要症状が消失した後2日を経過するまで	
第3種	結核、髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで	
	その他の感染症	溶連菌感染症	適正な抗菌剤治療開始後24時間を経て全身状態が良ければ登校可能
		ウイルス性肝炎	A型・E型：肝機能正常化後登校可能 B型・C型：出席停止不要
		手足口病	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		伝染性紅斑	発疹（リンゴ病）のみで全身状態が良ければ登校可能
		ヘルパンギーナ	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身状態が改善すれば登校可
		マイコプラズマ感染症	急性期は出席停止、全身状態が良ければ登校可能
		感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）	下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能
		アタマジラミ	出席可能（タオル、櫛、ブラシの共用は避ける）
		伝染性軟属腫（水いぼ）	出席可能（多発発疹者はプールでのビート板の共用は避ける）
		伝染性膿痂疹（とびひ）	出席可能（プール、入浴は避ける）

*出席停止期間の基準は上記のとおりですが、症状により個人差がありますので医師の指示に従ってください。

*感染を防止するため、出席停止期間中は、友人等との接触は避けてください。

Ⅲ－１．授業時間割表 (鳥取地区)

1. 平成31年度全学共通科目授業時間割表(抄)

- (1) 地域学部
- (2) 医学部(生命科学科、保健学科)
- (3) 工学部(機械物理系学科、電気情報系学科、化学バイオ系学科、社会システム土木系学科)
- (4) 農学部(生命環境農学科、共同獣医学科)
- (5) 日本語・日本事情に関する科目

2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表

- (1) 入門科目
- (2) 教養科目
 - ①基幹科目(人文・社会分野)・主題科目・キャリア科目
 - ②基幹科目(自然分野)
 - ③基幹科目(実験演習分野)
- (3) 外国語科目
- (4) 健康スポーツ科目
- (5) 日本語・日本事情に関する科目
- (6) 海外実践教育に関する科目

3. グローバル教育基礎科目群

- 4. 地域志向科目・地域創生推進科目
- 5. ナンバリング一覧表(鳥取地区)

全学共通科目開設一覧表で使用している略号について

全学共通科目開設一覧表では、以下のとおり略号を使用し、履修すべき学部・学科及び履修年次の指定を行っています。

[学部・学科]

地 …………… 地域学部

地域 …………… 地域学科
政 …………… 地域政策学科
教 …………… 地域教育学科
文 …………… 地域文化学科
環 …………… 地域環境学科

医 …………… 医学部

医 …………… 医学科
命 …………… 生命科学科
保 …………… 保健学科
看 …………… " 看護学専攻
検 …………… " 検査技術科学専攻

工 …………… 工学部

機物 …………… 機械物理系学科
電情 …………… 電気情報系学科
化バ …………… 化学バイオ系学科
社土 …………… 社会システム土木系学科

農 …………… 農学部

A …………… 生命環境農学科
B …………… 生物資源環境学科
J V …………… 共同獣医学科

[学年]

① …………… 1年次に履修
② …………… 2年次に履修
③ …………… 3年次に履修

[講義室]

共 …………… 共通教育棟 (p.110-113 配置図参照)
地 …………… 地域学部棟
工 …………… 工学部棟
農 …………… 農学部棟

1. 平成31年度 全学共通科目授業時間割表（抄）

地域学部

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		教養科目	○教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	(○教養基礎科目)
	2	総合英語Ⅰ・Ⅱ	教養科目		ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 中国語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3		教養科目		英語上級C・D	フランス語応用Ⅲ・Ⅳ 中国語応用Ⅲ・Ⅳ スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1	○大学入門ゼミ	教養科目		○コミ英語A・B ●実践英語A・B	(○教養基礎科目)
	2		○健康スポーツ科学実技			
	3		教養科目			
水	1	○情報リテラシ				(○教養基礎科目) ○教養科目
	2		教養科目	健康スポーツ科学実技		○教養科目
	3		教養科目			
木	1	教養科目	健康スポーツ科学実技		○コミ英語A・B ●実践英語A・B	(○教養基礎科目) 教養科目
	2	教養科目				教養科目
	3					教養科目
金	1	教養科目			○キャリア入門	(○教養基礎科目)
	2	教養科目	健康スポーツ科学実技			
	3					

備考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
「教養科目」の記載がない学年・曜日時限でも開設している科目を選択履修することができる。

医学部 生命科学科 1年次

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○コミ英語B ●実践英語B	教養科目 ●自然分野：物理学 (物理学入門Ⅱ) 自然分野：化学 (○化学Ⅰ、●化学Ⅱ)	○人体の構造と機能(専門) ●教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論(専門)	(○教養基礎科目)
火	○自然分野：物理学 (物理学入門Ⅰ)	教養科目 自然分野：化学 (○化学Ⅰ、●化学Ⅱ)	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝(専門)	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	(○教養基礎科目)
水	○キャリア入門	教養科目 自然分野：化学 (○化学Ⅰ、●化学C)	●化学実験演習		(○教養基礎科目) ○教養科目
木	教養科目 ○主題：医学と生命科学 ●自然分野：生物学 (生物学ⅡA)	健康スポーツ科学実技 ●自然分野：数学 (解析学教程Ⅱ)	○健康と生体情報 (専門)	○自然分野：数学 (解析学教程Ⅰ)	(○教養基礎科目) 教養科目
金	○コミ英語A ●実践英語A	○情報リテラシ ●生命化学概論Ⅰ(専門)	○自然分野：生物学 (生物学ⅠA)		(○教養基礎科目)

備考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

医学部 保健学科・看護学専攻 1年次

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○主題：保健医療概論 ●主題：社会福祉	○人体の構造と機能Ⅰ（専門） ●教養科目 ●自然分野：物理学（物理学入門Ⅱ）	教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論（専門）	（○教養基礎科目）
火		教養科目	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝（専門）	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	（○教養基礎科目） ●実践英語A
水	○コミ英語A ●実践英語B	教養科目 ●自然分野：化学（化学C）	○基幹：生命倫理 ●化学実験演習	○キャリア入門	（○教養基礎科目） ○教養科目
木	○教養科目 後期は米子地区で履修	○人体の構造と機能Ⅱ（専門） ●【前半】コミュニケーション法（専門） ●【後半】看護学方法論（専門）	●生活援助論演習Ⅰ（専門）	○健康スポーツ科学実技	（○教養基礎科目） ○教養科目
金	○教養科目 後期は米子地区で履修 ●基礎看護学演習Ⅰ（専門）	○看護学原論（専門）	○情報リテラシ ●【前半】看護学方法論（専門） ●【後半】科学実験演習	○コミ英語B	（○教養基礎科目）

医学部 保健学科・検査技術科学専攻 1年次

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	○主題：保健医療概論	教養科目 ●自然分野：物理学（物理学入門Ⅱ）	○人体の構造と機能（専門） ●教養科目 ●物理学実験演習	○人間発達と健康論（専門）	（○教養基礎科目）
火	○自然分野：物理学（物理学入門Ⅰ）	教養科目	○主題：発達心理学 ●栄養と代謝（専門）	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	（○教養基礎科目）
水	○コミ英語A ●実践英語B	教養科目 ○自然分野：生物学（生物学概論Ⅰ） ●自然分野：化学（化学C）	○キャリア入門 ●化学実験演習		（○教養基礎科目） ○教養科目
木	教養科目 ●自然分野：生物学（生物学概論Ⅱ）	健康スポーツ科学実技 ●自然分野：数学（解析学教程Ⅱ）	○健康と生体情報（専門）	○自然分野：数学（解析入門Ⅰ、解析学教程Ⅰ） ●自然分野：数学（解析入門Ⅱ）	（○教養基礎科目） 教養科目
金	○教養科目 ●実践英語A	○情報リテラシ	●生物学実験演習	○コミ英語B	（○教養基礎科目）

備考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
自然分野の（ ）は、授業科目名。
（○教養基礎科目）については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

工学部 機械物理系学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○物理学実験演習	●教養科目	○微分積分学Ⅰ ●教養科目	スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	(○教養基礎科目) ●基礎物理学Ⅱ
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教養科目 中国語応用Ⅰ・Ⅱ	総合英語Ⅰ・Ⅱ ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3					
火	1	○コミ英語A ●実践英語A・B	教養科目	○基礎物理学Ⅰ		(○教養基礎科目) ●線形代数Ⅱ
	2		教養科目			
	3		○健康スポーツ科学実技			
水	1	○キャリア入門 ●微分積分学Ⅱ	教養科目 健康スポーツ科学実技	○コミ英語B ●実践英語A・B	○線形代数Ⅰ	(○教養基礎科目) ○教養科目
	2					
	3					○教養科目
木	1	教養科目	○情報リテラシ	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ	○大学入門ゼミ	(○教養基礎科目) 教養科目
	2	教養科目				教養科目
	3	●教養科目				
金	1	教養科目	○化学概論	○物理学実験演習		(○教養基礎科目)
	2				総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	3					

工学部 電気情報系学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		教養科目	○微分積分学Ⅰ及び演習(奇数) ○線形代数学及び演習(偶数) ●微分積分学Ⅱ及び演習(奇数)		(○教養基礎科目)
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	教養科目 中国語応用Ⅰ・Ⅱ	総合英語Ⅰ・Ⅱ ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ	
	3					
火	1	○コミ英語B ●実践英語A・B	○情報リテラシ(奇数) ●教養科目	○微分積分学Ⅰ及び演習(偶数) ●力学基礎(奇数)	●力学基礎演習(奇数)	(○教養基礎科目)
	2		教養科目			
	3		○健康スポーツ科学実技			
水	1		教養科目 健康スポーツ科学実技	○コミ英語A ●実践英語A・B		(○教養基礎科目) 教養科目
	2					
	3					○教養科目
木	1	○大学入門ゼミ ●教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	●微分積分学Ⅱ及び演習(偶数)	○キャリア入門	(○教養基礎科目) 教養科目
	2	●教養科目				教養科目
	3	●教養科目				
金	1	教養科目 ●力学基礎(偶数)	○情報リテラシ(偶数) ●力学基礎演習(偶数)	○線形代数学及び演習(奇数) ●物理学実験演習		(○教養基礎科目)
	2				総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	3					

備考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

工学部 化学バイオ系学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○基礎化学 I ●基礎数学 II	○基礎数学 I ●教養科目	教養科目		(○教養基礎科目)
	2			○教養科目 ○中国語応用 I ●物理学実験演習	○総合英語 I ○ドイツ語応用 I ○フランス語応用 I ○韓国語応用 I ○スペイン語応用 I	
	3					
火	1	●大学入門ゼミ II	教養科目	○化学実験演習 (前半クラス)	●基礎化学 II	(○教養基礎科目)
	2		教養科目 ○健康スポーツ科学実技			
	3					
水	1		教養科目	○キャリア入門	○コミ英語 A ●実践英語 A・B	(○教養基礎科目) 教養科目
	2		○教養科目			
	3					○教養科目
木	1		ドイツ語基礎 I・II フランス語基礎 I・II 中国語基礎 I・II 韓国語基礎 I・II スペイン語基礎 I・II	○化学実験演習 (後半クラス)		(○教養基礎科目) 教養科目
	2	○総合英語 I・II・III・IV				教養科目
	3	●教養科目				
金	1	○情報リテラシ ●教養科目	○大学入門ゼミ I	○コミ英語 B ●実践英語 A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2	○教養科目	総合英語 I・II・III・IV			
	3					

工学部 社会システム土木系学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○微分積分学 I	教養科目	○教養科目 ●微分積分学 II		(○教養基礎科目)
	2			教養科目 中国語応用 I・II	総合英語 I・II ドイツ語応用 I・II フランス語応用 I・II 韓国語応用 I・II スペイン語応用 I・II	
	3					
火	1		○情報リテラシ ●教養科目		○キャリア入門	(○教養基礎科目)
	2		教養科目 ○健康スポーツ科学実技			
	3					
水	1	○大学入門ゼミ	教養科目		○コミ英語 B ●実践英語 A・B	(○教養基礎科目) 教養科目
	2		●教養科目	○地球科学実験演習		
	3			●健康スポーツ科学実技		○教養科目
木	1	教養科目	ドイツ語基礎 I・II フランス語基礎 I・II 中国語基礎 I・II 韓国語基礎 I・II スペイン語基礎 I・II	●力学基礎及び演習		(○教養基礎科目) 教養科目
	2	○総合英語 I・II・III・IV				○教養科目
	3	●教養科目				
金	1	教養科目	○線形代数	○コミ英語 A ●実践英語 A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2	教養科目	総合英語 I・II・III・IV			
	3					

備考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

農学部生命環境農学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1	○大学入門ゼミ	教養科目	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○情報リテラシ	(○教養基礎科目)
	2			中国語応用Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語応用Ⅰ・Ⅱ フランス語応用Ⅰ・Ⅱ 韓国語応用Ⅰ・Ⅱ スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ ●健康スポーツ科学実技	
	3			教養科目	英語上級	フランス語応用Ⅲ・Ⅳ 中国語応用Ⅲ・Ⅳ スペイン語応用Ⅲ・Ⅳ
火	1		教養科目	○キャリア入門ⅠA・ⅠB ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2		教養科目 ○健康スポーツ科学実技			
	3					
水	1		教養科目	○教養科目	○情報リテラシ	(○教養基礎科目)
	2		●教養科目	健康スポーツ科学実技		○教養科目
	3					○教養科目
木	1	○教養科目	○教養科目 ●キャリア入門ⅡA・ⅡB	○コミ英語A・B	教養科目	(○教養基礎科目)
	2		総合英語Ⅰ,Ⅱ			教養科目
	3	教養科目				教養科目
金	1	○コミ英語A・B ●実践英語A・B	●教養科目	○大学入門ゼミ		(○教養基礎科目)
	2	教養科目	健康スポーツ科学実技			
	3					

備 考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。
(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

日本語・日本事情に関する科目（外国人留学生に対する授業科目）

曜日	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月			○日本社会事情 I ●日本社会事情 II	○日本語実践 I ●日本語実践 II	
火		●日本のIT事情			
水		○日本文化事情 I ●日本文化事情 II		○日本語の表現技法 I ●日本語の表現技法 II	
木			(正規学生限定) ○学部留学生のための日本語 I ●学部留学生のための日本語 II		
金					

備 考 ○印は前期開設科目、●印は後期開設科目を示す。

2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表

入門科目

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AG1001	大学入門ゼミ	01	2	稲津 秀樹	火1	共 A31	①地	地域創造コース 人間形成コース 国際地域文化コース
		02	2	福山 寛志	火1	共 C22	①地	
		03	2	長柄 裕美, 岸本 覚	火1	共 C32	①地	
		05	1	初沢 清隆 他	集中		①医 (命)	
		06	1	佐々木 くみ子 他	集中		①医 (保)	
		07	2	酒井 武治 他	木4	共 D42	①工 (機物)	
		08	2	清水 忠昭 他	木1	工 21	①工 (電情)	
		09	2	三輪 浩 他	水1	工 講堂 他	①工 (社土)	
		10	2	松村 一善	月1・金3	共 A20	①農 (A)	
		11	2	村瀬 敏之	火3	農 4	①農 (JV)	
		AG1002	大学入門ゼミ I	2		南条 真佐人 他	金2	
AG1003	大学入門ゼミ II		2	南条 真佐人 他	火1	工 21	①工 (化バ)	
AG2001	情報リテラシ	01	2	石田 雅 (非)	水1	共 D21	①地	地域創造コース 人間形成コース 国際地域文化コース 授業に持参 するもの ・ノートパソコン ・LANケーブル 忘れた場合の 貸出は行いま せん
		02	2	井上 仁	水1	共 D31	①地	
		03	2	東野 正幸	水1	共 D33	①地	
		05	2	網崎 孝志	金2	共 D21	①医 (命, 検)	
		06	2	網崎 孝志	金3	共 D21	①医 (看)	
		07	2	井上 仁	木2	共 D31	①工 (機物)	
		08	2	木本 雅也	木2	共 D43	①工 (機物)	
		09	2	岩井 儀雄	火2	工 計算機実習室	①工 (電情)	
		10	2	岩井 儀雄	金2		①工 (電情)	
		11	2	井上 仁	金1	共 D31	①工 (化バ)	
		12	2	木本 雅也	金1	共 D43	①工 (化バ)	
		13	2	東野 正幸	火2	共 D21	①工 (社土)	
		14	2	木本 雅也	火2	共 D33	①工 (社土)	
		15	2	井上 仁	水4	共 D31	①農 (A)	
		16	2	大森 幹之	水4	共 D21	①農 (A)	
		17	2	井上 仁	月4	共 D31	①農 (A)	
		18	2	大森 幹之	月4	共 D42	①農 (A・JV)	
		AG3001	キャリア入門	01	1	長尾 博暢 他	金4	
03	1			山田 貴光 他	水1	共 D22	①医 (命)	
04	1			山田 貴光 他	水4	共 C51	①医 (看)	
05	1			山田 貴光 他	水3	共 D22	①医 (検)	
06	2			長尾 博暢 他	水1	共 C31	①工 (機物)	
07	2			長尾 博暢 他	木4	共 C31	①工 (電情)	
08	2			長尾 博暢 他	水3	共 C21	①工 (化バ)	
09	2			長尾 博暢 他	火4	共 A20	①工 (社土)	
10	2			長尾 博暢 他	木2	共 E51	①農 (JV)	
AG3004	キャリア入門 I A			1		長尾 博暢 他	火3	共 A20
AG3005	キャリア入門 I B	1		長尾 博暢 他	火3	共 A20	①農 (A)	第2Q
AG3006	キャリア入門 II A		1	松村 一善 他	木2	共 A20	①農 (A)	第3Q
AG3007	キャリア入門 II B		1	松村 一善 他	木2	共 A20	①農 (A)	第4Q

教養科目 開設一覧表

(1) 教養科目履修上限科目に含まれる科目 (抽選科目を含む)

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
基幹科目	哲学・倫理学	02		2	月2
	哲学・倫理学	04		2	火2
	哲学・倫理学	06		2	水2
	生命倫理 (1単位)		1		水3
	社会思想史入門			2	月3
	高等教育論			2	水4
	教育学概論			2	月3
	教育社会学			2	火2
	心理学	02		2	火2
	社会心理学		2		水2
	芸術入門	01	2		月2
	芸術入門	03	2		月2
	芸術入門	05	2		水2
	芸術入門	07	2		水2
	芸術入門	02		2	火2
	芸術入門	04		2	火2
	合唱入門		2		月3
	文学	01	2		火2
	文学	03	2		水2
	文学	02		2	月2
	文学	04		2	水2
	日本語構造論			2	金1
	生命倫理と法			2	水2
	憲法学	01	2		火2
	憲法学	03	2		水2
	憲法学	02		2	火2
	憲法学	04		2	水2
	人権保障論			2	水5
	政治学	01	2		月2
	政治学	03	2		水2
	政治学	02		2	月2
	法律学		2		水5
	経済学	01	2		月2
	経済学	03	2		火2
	経済学	05	2		水2
	経済学	02		2	月2
	経済学	04		2	火2
	経済学	06		2	水2
	経営システム論		2		火2
	経済経営哲学		2		火3
	歴史学	01	2		火2
	歴史学	02		2	水2
読図入門		2		金1	
地理学の世界		2		水2	
情報倫理A		2		火2	
自然分野	データ科学の基礎			2	火2
	代数学入門			2	月2
	解析学教程 I		2		木4
	解析学教程 II			2	木2
	解析入門 I	01	2		水3
	解析入門 I	03		2	月1
	解析入門 I	05	2		木4
	解析入門 II			2	木4
	物理学入門 I	01	2		火1
	物理学入門 I	03	2		木1
	物理学入門 II - 基礎電磁気学 -	02		2	月2
	化学 I	01	2		月2
	化学 I	03	2		火2
	化学 I	05	2		水2
	化学 II	02		2	月2
化学 II	04		2	火2	
化学 C			2	水2	

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限	
			前	後		
基幹科目	生物学 I A	01	2		金3	
	生物学 II A	02		2	木1	
	生物学 I B	03	2		火2	
	生物学 I B	05	2		水2	
	生物学 II B	04		2	金2	
	生物学 II B	05		2	金2	
	生物学概論 I		2		水2	
	生物学概論 II			2	木1	
	地球科学 (社会で活用するための基礎)		2		月2	
	地球科学(地質・地形・固体地球物理学の基礎)		2		水2	
	地球科学(天文・海洋・気象学の基礎)		2		金1	
	地球科学 (新しい地球観の基礎)			2	火2	
	地球科学 (ジオパークと自然災害・防災の基礎)	02		2	水2	
	地球科学 (ジオパークと自然災害・防災の基礎)	04		2	水2	
	自然分野	応用倫理学入門			2	木1
		子どもの生活とものづくり		2		金1
		発達と教育の心理学	01	2		月3
		発達と教育の心理学	02		2	火2
		生き抜く力を育てる教育～教育実践論～			2	水2
		発達心理学			2	火3
		名作戯曲の創造的読解		2		月3
		はんこ研究			2	金1
		書いて見る文字の歴史		2		木1
		くらしの経済・法律講座		2		月3
		野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」			2	水2
		20世紀史 I		2		木1
		20世紀史 II			2	木1
メディア論				2	水2	
現代社会とスポーツ				2	水2	
バリアフリー支援入門				2	火2	
グローバル時代の社会と国家			2		木5	
アメリカ手話入門 I				2	水2	
アメリカ手話入門 II				2	火2	
人間と文化		問題分析・計画立案入門			2	水5
	数理ファイナンスの基礎			2	木1	
	メカライフの世界			2	木1	
	PCセキュリティ入門			2	木5	
	初心者のためのコンピュータプログラミング入門			2	火2	
	コンピュータネットワーク入門			2	火2	
	バイオテクノロジーの最前線			2	水2	
	科学リテラシー	01	2		木1	
	科学リテラシー	02		2	金1	
	農業科学入門			2	月2	
	未来を拓く先端化学			2	木1	
	人間と科学	乾燥地の農業と緑化			2	火2
		分類・生態から分子まで: 昆虫学入門			2	水2
		持続性社会創生科学基礎論 in English			2	火2
		分子細胞生物学概論			2	月2
水と環境 in English				2	金1	
人間と環境		社会福祉 (1単位)			1	月1
		脳の世紀-脳・心・病气-			2	水2
		医学と生命科学			2	木1
		微生物の世界			2	水2
		感覚器と生殖器からみる生物のかたちと働き			2	火2
	ウエルネスとシェイプアップ	01	2		木1	
	ウエルネスとシェイプアップ	02		2	木1	
	健康と疾病			2	月3	
	健康科学と応急手当			2	月3	
	保健医療概論			2	月1	
	スポーツ生理学入門			2	火2	
	スポーツサイエンス入門			2	月3	
	世界のスポーツ・健康文化論			2	木5	
	放射線科学			2	月3	

(2) 教養科目履修上限科目に含まれない科目(抽選科目に含まれない)

① 履修登録期間中に各自が履修登録する

科目区分	授業科目名	クラス	単位数		曜日・時限	
			前	後		
主題科目	鳥取砂丘学		2		火2	
	鳥取を知る		2		月2	
	鳥取銀行講座「マーケティング基礎」(1単位)		1		木5	
	鳥取銀行講座「マーケティング実践」(1単位)		1		木5	
	鳥取の海の幸を学ぶ		2		火2	
	地域防災学		2		月3	
	デザインプロジェクト		2		水5	
	起業プランニング論		2		金1	
	鳥取の歴史と文学	02	2		水5	
	とっとり暮らし早期体験学習		2		木5	
	地域創生入門	01	2		水5	
	地球環境問題		2		木5	
	グローバルイシュー(地球規模課題)		2		木1	
	メキシコ事情		2		火2	
	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情		2		火2	
	社会安全政策論		2		火2	
	教養ゼミナール	教養ゼミナール(1)「ケースで学ぶマーケティング」	01	2		月3
		教養ゼミナール(1)「7つの習慣 -成功には原則があった!-」	02	2		水2
		教養ゼミナール(1)「日本の名著を読む」	03	2		水5
		教養ゼミナール(1)「分子生物学に魅せられた人々」「細胞夜話」を読む	04	2		水5
教養ゼミナール(1)「ロジカルライティング・プレゼンテーション入門」		05	2		水5	
教養ゼミナール(1)「読書を楽しむ」		06	2		木4	
教養ゼミナール(1)「宮崎駿論～もう一度、空を飛べるのだろうか～」		07	2		木5	
教養ゼミナール(1)「西洋史読本Ⅰ」		08	2		木5	
教養ゼミナール(1)「宮沢賢治を読むⅠ」		09	2		木5	
教養ゼミナール(1)名作を視点を変えて読み取る一主に、グローバル、環境の観点から		10	2		金1	
教養ゼミナール(1)「志賀浩二を読む:無限のなかの数学」		11	2		金1	
教養ゼミナール(2)「日本文化表象論 時間・空間・身体」		12	2		火2	
教養ゼミナール(2)「クライシスノベルで危機管理」		13	2		火5	
教養ゼミナール(2)『境界を生きる～性と生のはざままで～』を読む		14	2		水2	
教養ゼミナール(2)「音楽はゲームなのか～ウィットゲンシュタイン『哲学探究』を読みながら～」		15	2		木5	
教養ゼミナール(2)「西洋史読本Ⅱ」		16	2		木5	
教養ゼミナール(2)「宮沢賢治を読むⅡ」		17	2		木5	
教養ゼミナール(2)「トポロジー入門」		18	2		金1	
教養ゼミナール(1)「志賀浩二を読む:無限のなかの数学」		19	2		金1	
キャリア科目	社会人入門-社会が求める人材-		2		水2	
	地域就業論		2		木5	
	地域公共メディア論		2		水2	

科目区分	授業科目	クラス	単位数		曜日・時限	
			前	後		
主題科目	国際理解(グローバル・スタディーズ)Ⅰ	01	2		月2	
	国際理解(グローバル・スタディーズ)Ⅱ	01	2		火2	
	国際理解(グローバル・スタディーズ)Ⅰ	02		2	月2	
	国際理解(グローバル・スタディーズ)Ⅱ	02		2	火2	
	海外安全マネジメント	01	2		水5	
	海外安全マネジメント	03	2		木1	
	海外安全マネジメント	02		2	水5	
	海外安全マネジメント	04		2	木1	
	基幹科目	微分積分学Ⅰ	01	2		月3
		微分積分学Ⅰ	03	2		月3
		微分積分学Ⅱ	02		2	月2
		線形代数Ⅰ		2		水4
		線形代数Ⅱ			2	木4
		微分積分学Ⅰ及び演習	01	3		月3・4
		微分積分学Ⅰ及び演習	03	3		火3・4
		微分積分学Ⅱ及び演習	02		3	月3・4
		微分積分学Ⅱ及び演習	04		3	木3・4
線形代数学及び演習		01	3		金3・4	
線形代数学及び演習		03	3		月3・4	
基礎数学Ⅰ			2		月2	
基礎数学Ⅱ				2	月1	
微分積分学Ⅰ		09	2		月1	
微分積分学Ⅰ		11	2		月1	
微分積分学Ⅱ		10		2	月3	
微分積分学Ⅱ		12		2	月3	
実験演習分野	線形代数		2		金2	
	基礎物理学Ⅰ		2		金1	
	基礎物理学Ⅱ			2	月5	
	力学基礎	02		2	水4	
	力学基礎	04		2	木4	
	力学基礎演習	02		1	水5	
	力学基礎演習	04		1	木5	
	力学基礎及び演習			3	木3,4	
	化学概論		2		金2	
	基礎化学Ⅰ		2		月1	
	基礎化学Ⅱ			2	火4	
	物理学実験演習	01	2		月1,2	
	物理学実験演習	03	2		火3,4	
	物理学実験演習	02		2	月3,4	
	物理学実験演習	04		2	火3,4	
	物理学実験演習	06		2	木3,4	
	化学実験演習	01	2		火3,4	
化学実験演習	03	2		木3,4		
化学実験演習	02		2	水3,4		
生物学実験演習			2	金3,4		
地球科学実験演習		2		水3,4		

② 集中講義履修登録期間中に各自が履修登録する(別途掲示)

科目区分	授業科目	クラス	単位数		曜日・時限
			前	後	
基幹科目	哲学・倫理学	01	2		集中
	哲学・倫理学	03	2		集中
	言語哲学		2		集中
	心理学	01	2		集中
	政治学	05	2		集中
	政治学	04		2	集中
	自然	化学概論Ⅱ		2	
主題科目	「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～		2		集中
	海外安全マネジメント	05	2		集中
	海外安全マネジメント	06		2	集中
	とっとり暮らし早期体験学習		2		集中
	起業入門(1単位)		1		集中
	ビジネスプラン入門(1単位)		1		集中
	地方創生政策体験学習		2		集中
	地域創生入門	03	1		集中
	起業とプロトタイピング			2	集中
キャリア科目	就業体験学習		2		集中
	地域公共メディア実習		1		集中
	ワークライフバランス論			1	集中

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【前期】月曜日1時限 〔医(保)の指定クラス〕

主題科目	健康と生命	AT3009	保健医療概論		2	片岡 英幸 他	125	共 C21	医(保)の指定クラス
------	-------	--------	--------	--	---	---------	-----	-------	------------

【前期】月曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1059	芸術入門	01	2	筒井 宏樹, 木野 彩子	130	共 A20	
		AR1059	芸術入門	03	2	筒井 宏樹, 木野 彩子	130	共 C31	
		AR1037	政治学	01	2	永山 正男(非)	120	共 E32	
		AA1803	経済学	01	2	永松 利文	120	共 D42	
主題科目	人間と環境	AT3004	分子細胞生物学概論		2	河野 強・会見忠則	100	共 E31	
	世界と地域	AT5002	国際理解(グローバル・スタディーズ) I	01	2	ケイツ アレキサンダー(非)	60	共 D22	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。履修登録上限に含まれない。(抽選履修対象外科目)

【前期】月曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1046	合唱入門		2	西岡 千秋	50	アートプラザ	男:25人 女:25人
主題科目	人間と文化	AA0106	発達と教育の心理学	01	2	寺川 志奈子	150	共 E31	2年次以上対象。中・高免許取得希望者優先。
		AC2210	名作戯曲の創造的読解		2	中島 諒人(非)	20	共 A33	
		AA1804	くらしの経済・法律講座		2	藤田 安一(非) 鳥取県連携講座	200	共 A20	公開授業講座(一般市民100人)
	健康と生命	AT0010	健康科学と応急手当		2	西村 正広	30	武道館ほか	
		AF5201	健康と疾病		2	萩野 浩 他	100	共 C31	医の学生は受講不可
	世界と地域	AT5017	地域防災学		2	黒岩 正光, 浅井 秀子, 香川 敬生, 太田隆夫, 梶川勇樹	70	共 C22	
教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1)「ケースで学ぶマーケティング」	01	2	白石 秀壽	15	共 E42		

【前期】火曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1060	文学	01	2	岡村 知子, 和田 綾子	125	共 C31	
		AR1050	憲法学	01	2	佐藤 匡	200	地 5160	
		AA1803	経済学	03	2	能美 誠	120	共 D31	
		AR1068	経営システム論		2	馬場 芳	80	共 C51	「経営戦略論」修得者は履修不可。
		AR1025	情報倫理A		2	永松 利文	50	共 D41	
		AR1063	歴史学	01	2	武田 元有 他	250	共 A20	
主題科目	人間と文化	AT1036	バリアフリー支援入門		2	井上 菜穂	20	共 B32	
	人間と科学	AT2027	コンピュータネットワーク入門		2	大森 幹之	50	共 E41	
	人間と環境	AD6001	乾燥地の農業と緑化		2	藤巻 晴行 他11名	100	共 E43	
	世界と地域	AT5003	国際理解(グローバル・スタディーズ) II	01	2	ケイツ アレキサンダー(非)	60	共 A31	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。(抽選履修対象外科目)
		AT5015	メキシコ事情		2	クラビオト グラシエラ	20	共 A34	英語で授業を行う
	AT5014	鳥取砂丘学		2	小玉 芳敬 他	130	共 E32		
	AT5022	社会安全政策論		2	後藤 和雄 他	50	共 C22		

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【前期】 火曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1066	経済経営哲学		2	永松 利文	70	共 C51	
主題科目	人間と文化	AA0101	発達心理学		2	竹田 伸也	170	共 C21	生命科学科・保健学科の学生を対象(指定クラス)

【前期】 水曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1039	社会心理学		2	石本 雄真	70	共 B21	
		AR1059	芸術入門	05	2	佐々木 友輔, 内藤 久子	130	共 C31	
		AR1059	芸術入門	07	2	佐々木 友輔, 内藤 久子	130	共 D21	
		AR1060	文学	03	2	久保 堅一, 和田 綾子	125	共 D42	
		AR1050	憲法学	03	2	佐藤 匡	200	地 5160	
		AR1037	政治学	03	2	永山 正男(非)	120	共 E32	
		AA1803	経済学	05	2	多田 憲一郎	120	共 D31	
		AA1603	地理学の世界		2	筒井 一伸, 山下 博樹	100	共 E43	
主題科目	人間と文化	AC2010	アメリカ手話入門 I		2	福安 勝則	100	共 C51	
	人間と環境	AT4016	分類・生態から分子まで: 昆虫学入門		2	中 秀司	100	共 C22	
	健康と生命	AF5103	脳の世紀ー脳・心・病気ー		2	兼子 幸一 他	100	共 D43	
	健康と生命	AT3017	微生物の世界		2	村瀬敏之・尾崎弘一	80	共 D33	
	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1) 「7つの習慣ー成功には原則があった!ー」	02	2	吉野 公	15	共 B32	
キャリア科目		AU2002	社会人入門-社会が求める人材-		2	山田 貴光	50	共 D22	グループワークを実施するため、抽選の結果受講者が9名以下の場合には不開講とする。医の学生は受講不可
		AU2005	地域公共メディア論		2	永松 利文 他	30	共 A33	授業の一部を土曜日に実施

【前期】 水曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1005	生命倫理(1単位)		1	安藤 泰至	85	共 D42	医(保・看)指定クラス
------	---------	--------	-----------	--	---	-------	----	-------	-------------

【前期】 水曜日5時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1069	法律学		2	佐藤 匡	100	共 D21	
主題科目	世界と地域	AT5001	海外安全マネジメント	01	2	竹田 洋志 他	40	共 C21	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。(抽選履修対象外科目)
		AT5032	地域創生入門	01	2	谷本 圭志 他	100	共 C51	「地域社会づくりの最前線Ⅰ」、「地域社会づくりの最前線Ⅱ」修得者は履修不可。
	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1)「日本の名著を読む」	03	2	細井 由彦	15	共 A33	
		AT6001	教養ゼミナール(1) 「分子生物学に魅せられた人々」「細胞夜話」を読む	04	2	山野 好章	15	共 A31	
		AT6001	教養ゼミナール(1) 「ロジカルライティング・プレゼンテーション入門」	05	2	桐山 聡	30	共 A34	

【前期】 木曜日1時限

主題科目	人間と文化	AT1016	20世紀史 I		2	武田 元有	30	共 D22	
		AC1206	書いて見る文字の歴史		2	住川 英明	30	地 4430	
	人間と科学	AT2024	未来を拓く先端化学		2	南条 真佐人 他	100	共 E31	工学部化学バイオ系学科は履修不可
		AT0008	科学リテラシー	01	2	森川 修	70	共 E32	
	健康と生命	AF0202	ウェルネスとシェイプアップ	01	2	加藤 敏明	80	共 D21	
		AT0002	医学と生命科学		2	堀 直裕 他	100	共 D31	
	世界と地域	AT5001	海外安全マネジメント	03	2	竹田 洋志 他	40	共 C21	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。(抽選履修対象外科目)

【前期】 木曜日4時限

主題科目	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1)「読書を楽しむ」	06	2	塩崎 一郎	5	共 C42	
------	---------	--------	--------------------	----	---	-------	---	-------	--

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【前期】木曜日5時限

主題科目	人間と文化	AT1033	グローバル時代の社会と国家		2	高田 健一 他	40	共 A33	
	人間と科学	AT2025	PCセキュリティ入門		2	木本 雅也	40	メディアセンター コンピュータ演習室1	
	健康と生命	AT3016	世界のスポーツ・健康文化論		2	瀬戸 邦弘	80	共 C32	
	世界と地域	AT5023	とっとり暮らし早期体験学習		2	清水 克彦 他	15	CDL (広報センター1階)	
		AT5028	鳥取銀行講座「マーケティング基礎」(1単位)		1	山口 隆久(非)	50	共 C51	第1Q
		AT5029	鳥取銀行講座「マーケティング実践」(1単位)		1	山口 隆久(非)	50	共 C51	第2Q
	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1)「宮崎駿論～もう一度、空を飛べるのだろうか～」	07	2	大谷 直史	12	教員養成センター	
		AT6001	教養ゼミナール(1)「西洋史読本Ⅰ」	08	2	武田 元有	10	共 B3コラボ	
		AT6001	教養ゼミナール(1)「宮沢賢治を読むⅠ」	09	2	本名 俊正(非)	15	共 B32	

【前期】金曜日1時限

主題科目	人間と文化	AR0007	子どもの生活とものづくり		2	土井 康作	30	共 D41	
	人間と環境	AT4022	水と環境 in English		2	Majed Abu-Zreig他	20	共 B32	
	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(1)名作を視点を改めて読み取るー主に、グローバル、環境の観点から	10	2	小畑 良洋	10	共 A33	
教養ゼミナール(1)「志賀浩二を読む:無限のなかの数学」			11	2	早瀬 修一	20	共 C42	前期・後期とも同一内容	

【前期】集中講義

基幹科目	人文・社会分野	AR1057	哲学・倫理学	01	2	未定	120		
		AR1057	哲学・倫理学	03	2	未定	120		
		AR1056	言語哲学		2	未定	60		
		AA0104	心理学	01	2	清河 幸子(非)	150		
		AR1037	政治学	05	2	鶴谷 将彦(非)	120		
主題科目	世界と地域	AT1027	「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～		2	野田 邦弘 他	50		
		AT5026	起業入門 (1単位)		1	大崎 理乃(非)	30		7/13、7/14(予定)
		AT5027	ビジネスプラン入門 (1単位)		1	清水 克彦、小野寺 仁史(非)	30		
		AT5032	地域創生入門	03	2	谷本 圭志 他	30		「地域社会づくりの最前線Ⅰ」、「地域社会づくりの最前線Ⅱ」修得者は履修不可。
		AT5008	地方創生政策体験学習		2	長曾我部 まどか 他	20		
		AT5001	海外安全マネジメント	05	2	竹田 洋志 他	40		6/22、6/29、7/6、7/13(予定) 海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。 (抽選履修対象外科目)
キャリア科目	AU2001	就業体験学習		2	長尾 博暢	40			
	AU2005	地域公共メディア実習		1	永松 利文 他	10		・地域公共メディア論履修学生を対象とする。 ・7月下旬～9月下旬	

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【後期】月曜日1時限 [医(保・看)の指定クラス]

主題科目	健康と生命	AT4001	社会福祉(1単位)		1	竹川 俊夫	85	共 E31	医(保・看)の指定クラス
------	-------	--------	-----------	--	---	-------	----	-------	--------------

【後期】月曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1057	哲学・倫理学	02	2	未定	120	共 A20	
		AR1060	文学	02	2	久保 堅一、松本 雅弘	125	共 C31	
		AR1037	政治学	02	2	塩沢 健一	120	共 E31	
		AA1803	経済学	02	2	永松 利文	120	共 D42	
主題科目	人間と科学	AT2002	農業科学入門		2	衣笠利彦・西原英治	45	共 C32	
	世界と地域	AT5002	国際理解(グローバル・スタディーズ) I	02	2	ケイツ アレキサンダー(非)	60	共 D22	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。(抽選履修対象外科目)
		AT5035	鳥取を知る		2	桐山 聡 他	100	共 C51	

【後期】月曜日3時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1038	教育学概論		2	河合 務	120	共 C31	
		AR1064	社会思想史入門		2	藤田 安一(非)	60	共 E32	
主題科目	健康と生命	AF5102	放射線科学		2	北 実	100	共 E43	
		AT3015	スポーツサイエンス入門		2	加藤・西村・関・瀬戸・木野	80	共 D42	

【後期】火曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1057	哲学・倫理学	04	2	未定	120	共 E32	
		AR1028	教育社会学		2	児島 明	120	共 D42	
		AA0104	心理学	02	2	田中 大介	150	共 C31	
		AR1059	芸術入門	02	2	石谷 孝二(非),新倉 健(非)	130	共 D21	
		AR1059	芸術入門	04	2	石谷 孝二(非),新倉 健(非)	130	共 D31	
		AR1050	憲法学	02	2	丸 祐一	205	共 A20	
		AA1803	経済学	04	2	能美 誠	120	共 E43	
主題科目	人間と文化	AA0106	発達と教育の心理学	02	2	小林 勝年	150	共 E31	
		AC2011	アメリカ手話入門 II		2	福安 勝則	100	共 C51	
	人間と科学	AT2026	初心者のためのコンピュータプログラミング入門		2	井上 仁	30	メディアセンター コンピュータ 演習室2	
	健康と生命	AT3019	感覚器と生殖器からみる生物のかたちと働き		2	保坂善真・割田克彦	50	共 C22	
		AT3011	スポーツ生理学入門		2	関 耕二	80	共 D43	
	世界と地域	AT5003	国際理解(グローバル・スタディーズ) II	02	2	ケイツ アレキサンダー(非)	60	共 D22	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。(抽選履修対象外科目)
		AT5016	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情		2	クラビオト グラシエラ	20	共 B32	英語で授業を行う
		AT5011	鳥取の海の幸を学ぶ		2	清水 克彦 他	25	共 A33	授業の一部を土日に実施
教養ゼミナール	AT6002	教養ゼミナール(2)「日本文化表象論 時間・空間・身体」	12	2	瀬戸 邦弘	10	共 C42		

【後期】火曜日5時限

基幹科目	教養ゼミナール	AT6002	教養ゼミナール(2)「クライシスノベルで危機管理」	13	2	香川 敬生	10	共 B32	
------	---------	--------	---------------------------	----	---	-------	----	-------	--

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【後期】水曜日2時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1057	哲学・倫理学	06		2	未定	120	共 C21	
		AR1060	文学	04		2	岡村 知子、松本 雅弘	125	共 C31	
		AR1050	憲法学	04		2	佐藤 匡	195	共 E31	
		AR1041	生命倫理と法			2	丸 祐一	100	共 D43	
		AA1803	経済学	06		2	多田 憲一郎	120	共 E43	
		AR1063	歴史学	02		2	武田 元有 他	250	共 A20	
主題科目	人間と文化	AT1037	生き抜く力を育てる教育～教育実践論～			2	片山 敬子	30	教員養成センター	
		AA1851	野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」			2	馬場 芳 野村証券関係者	100	共 A31	
		AC5201	メディア論			2	永松 利文	50	共 D32	
		AF0102	現代社会とスポーツ			2	福元 和行(非)	120	共 C51	
	人間と科学	AE5501	バイオテクノロジーの最前線			2	永野 真吾 他	100	共 D42	
基幹科目	教養ゼミナール	AT6001	教養ゼミナール(2)『境界を生きる～性と生のはざままで～』を読む	14		2	大木 誠	6	共 B32	

【後期】水曜日4時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1009	高等教育論	02		2	永松 利文	50	共 D32	
------	---------	--------	-------	----	--	---	-------	----	-------	--

【後期】水曜日5時限

基幹科目	人文・社会分野	AR1061	人権保障論			2	佐藤 匡	100	共 E32	
主題科目	人間と科学	AT2023	問題分析・計画立案入門			2	桐山 聡	30	共 B31	
		AT5033	鳥取の歴史と文学			2	岸本 覚、田中 仁(非)	100	共 C51	
	世界と地域	AT5001	海外安全マネジメント	02		2	竹田 洋志 他	40	共 D21	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。(抽選履修対象外科目)
		AT5018	デザインプロジェクト			2	成清 仁士	20	CDL(広報センター1階)	

【後期】木曜日1時限

主題科目	人間と文化	AT1017	20世紀史Ⅱ			2	武田 元有	30	共 C32	
		AR1043	応用倫理学入門			2	吉野 公	40	共 C41	
	人間と科学	AA5303	数理ファイナンスの基礎			2	後藤 和雄	50	共 D22	
		AT2022	メカライフの世界			2	酒井 武治 他	100	共 E32	
	健康と生命	AF0202	ウェルネスとシェイプアップ	02		2	加藤 敏明	80	共 D42	
	世界と地域	AT5001	海外安全マネジメント	04		2	竹田 洋志 他	40	共 D21	海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。(抽選履修対象外科目)
		AT5036	グローバルイシュー(地球規模課題)			2	安藤 孝之 他	20	共 B32	英語を交えつつ授業を行う。

【後期】木曜日5時限

主題科目	世界と地域	AT5037	地球環境問題			2	安藤 孝之 他	15	共 A33	英語を交えつつ授業を行い、留学生との意見交換、プレゼンテーションを英語で行う「地球環境問題Ⅱ」修得者は履修不可。
		AT6002	教養ゼミナール(2)「言葉はゲームなのか～ワイトゲンシュタイン『哲学探究』を読みながら～」	15		2	大谷 直史	12	教員養成センター	
	教養ゼミナール	AT6002	教養ゼミナール(2)「西洋史読本Ⅱ」	16		2	武田 元有	10	共 B3コラボ	
		AT6002	教養ゼミナール(2)「宮沢賢治を読むⅡ」	17		2	本名 俊正(非)	15	共 B32	
キャリア科目	AU2004	地域就業論			2	長尾 博暢 他	100	共 C51		

区分	科目コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	受入人数	講義室	備考
				前	後				

【後期】金曜日1時限

基幹科目	人文・社会分野	AA2202	日本語構造論		2	榎木 久薫	70	共 D21	
主題科目	人間と文化	AC1205	はんこ研究		2	住川 英明	25	地 4430	
	人間と科学	AT0008	科学リテラシー	02	2	森川 修	70	共 D42	
	人間と環境	AT4021	持続性社会創生科学基礎論 in English		2	恒川 篤史他	20	共 A34	
	世界と地域	AT5019	起業プランニング論		2	多田 憲一郎	20	共 C51	
	教養ゼミナール	AT6002	教養ゼミナール(2)「トポロジー入門」	18	2	橋本 隆司	5	共 B32	前期・後期とも同一内容
	AT6001	教養ゼミナール(1)「志賀浩二を読む:無限のなかの数学」	19	2	早瀬 修一	20	共 C42		

【後期】集中講義

基幹科目	人文・社会分野	AR1037	政治学	04	2	田代 和也(非)	120		12/14、12/15、12/21、12/22(予定)
主題科目	世界と地域	AT5001	海外安全マネジメント	06	2	竹田 洋志 他	40		11/16、11/23、12/7、12/21(予定) 海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。 (抽選履修対象外科目)
		AT5025	起業とプロトタイピング		2	三浦 政司	15		10月～12月(予定)
キャリア科目		AU2007	ワーク・ライフ・バランス論		2	長尾 博暢	50		

教養科目 [基幹科目 自然分野]

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれる科目 (抽選制度を含む)

科目コード	授業科目名 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	受入人数	講義室	備考
		前	後					

数学

[主に地, 医 (検), 農 (A) が履修するクラス]

AS1012	データ科学の基礎		2	橋本 隆司	火 2	50	共 B 2 1	
--------	----------	--	---	-------	-----	----	---------	--

[主に地, 農が履修するクラス]

AS1007	代数学入門		2	井上 順子	月 2	40	共 A 3 3	
--------	-------	--	---	-------	-----	----	---------	--

[主に医 (命・検), 農 (J V) が履修するクラス]

AS1001	解析学教程 I	2		後藤 和雄	木 4	120	共 E 3 1	数学Ⅱを高校で履修した者を前提
AS1002	解析学教程Ⅱ		2	後藤 和雄	木 2	120	共 D 4 3	前期の解析学教程Ⅰを履修した者を前提

[主に地, 農 (A) が履修するクラス]

AS1003	解析入門Ⅰ	01	2	橋本 隆司	木 2	100	共 C 3 1	数学Ⅰを高校で履修した者を前提
AS1003	解析入門Ⅰ	03	2	後藤 和雄	木 2	100	共 D 4 2	数学Ⅱを高校で履修した者を前提

[主に地, 医 (検), 農 (A) が履修するクラス]

AS1003	解析入門Ⅰ	05	2	井上 順子	木 4	100	共 C 2 1	数学Ⅰを高校で履修した者を前提
AS1004	解析入門Ⅱ		2	井上 順子	木 4	100	共 C 3 1	解析入門Ⅰのいずれかのクラスを履修した者を前提

【注意】「解析入門Ⅰ」と「解析学教程Ⅰ」を受講し、単位修得しても卒業に必要な単位は2単位 (どちらか1科目) とする。

【注意】「解析入門Ⅱ」と「解析学教程Ⅱ」を受講し、単位修得しても卒業に必要な単位は2単位 (どちらか1科目) とする。

* 高等学校で理系数学 (数学Ⅲ) を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

物理学

[主に地, 農が履修するクラス]

AS1101	物理学入門Ⅰ	03	2	安藤 由和	木 1	100	共 C 3 1	
--------	--------	----	---	-------	-----	-----	---------	--

[主に医 (命・検) が履修するクラス]

AS1101	物理学入門Ⅰ	01	2	土井 俊行	火 1	100	共 C 2 1	
--------	--------	----	---	-------	-----	-----	---------	--

[主に地, 医, 農が履修するクラス]

AS1104	物理学入門Ⅱ —基礎電磁気学—		2	藤原 伸一	月 2	70	共 E 3 2	旧「物理学入門Ⅱ」
--------	--------------------	--	---	-------	-----	----	---------	-----------

【注意】「物理学入門Ⅰ」及び「物理学入門Ⅱ」は、工の学生は受講不可。

* 高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理系科目を履修するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

化学 (前期)

[主に地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修するクラス]

AS1201	化学Ⅰ	01	2	木瀬 直樹	月 2	120	共 C 2 1	地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修
AS1201	化学Ⅰ	03	2	木瀬 直樹	火 2	120	共 C 2 1	地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修
AS1201	化学Ⅰ	05	2	南条 真佐人	水 2	120	共 C 2 1	地, 医 (命), 工 (電情・社土), 農が履修

【注意】高校で「化学基礎」又は「化学Ⅰ」を履修した者が望ましい。

* 高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

【注意】「化学Ⅰ」は、工 (機物・化バ) の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれる科目（抽選制度を含む）

科目 コード	授業科目名 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	受入 人数	講義室	備考
		前	後					

化学（後期）

〔主に地，医，工（電情・社土），農が履修するクラス〕

AS1202	化学Ⅱ	02	2	木瀬 直樹	月 2	120	共 C 2 1	地，医（命），工（電情・社土），農が履修
AS1202	化学Ⅱ	04	2	南条 真佐人	火 2	120	共 C 2 1	地，医（命），工（電情・社土），農が履修
AS1203	化学 C		2	高村 歩美	水 2	80	共 D 3 3	地，医（命・保），工（電情・社土），農（J V）が履修

【注意】前期に「化学Ⅰ A又は化学Ⅰ B」を履修していないと、後期「化学Ⅱ A又は化学Ⅱ B」は履修できません。

【注意】「化学Ⅱ」及び「化学 C」は、工（機物・化バ）の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

生物学

〔主に地，医（検），工が履修するクラス〕

AS1303	生物学概論Ⅰ		2	上中弘典・ 早乙女 梢	水 2	100	共 E 5 3	
AS1304	生物学概論Ⅱ		2	富岡 幸子	木 1	100	共 C 3 1	

【注意】「生物学概論Ⅰ」及び「生物学概論Ⅱ」は、医（命）及び農の学生は卒業に必要な単位には含まれません。

〔主に医（命），農（J V）が履修するクラス〕

AS1301	生物学Ⅰ A	01	2	竹内 崇師	金 3	100	共 C 2 1	
AS1302	生物学Ⅱ A	02	2	鶴崎展巨・清 水克彦・谷中 久和	木 1	100	共 C 2 1	

〔主に農（A）が履修するクラス〕

AS1301	生物学Ⅰ B	03	2	岡 真理子・ 太田利男・高 橋賢次	火 2	100	共 E 3 1	
AS1301	生物学Ⅰ B	05	2	岡 真理子・ 太田利男・高 橋賢次	水 2	100	共 E 3 1	
AS1302	生物学Ⅱ B	04	2	田中裕之・辻 渉・有馬二 朗・美藤友博	金 2	100	共 C 3 1	
AS1302	生物学Ⅱ B	06	2	田中裕之・辻 渉・有馬二 朗・美藤友博	金 2	100	共 C 2 1	

*高等学校で生物を学習していない者、大学で生物学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎生物学を受講することが望ましい。

地学

〔主に地，工，農が履修するクラス〕

AS1403	地球科学 （社会で活用するための基礎）		2	香川 敬生	月 2	80	共 C 5 1	
AS1401	地球科学 （地質・地形・固体地球物理学の基礎）		2	塩崎 一郎 他	水 2	80	共 C 3 2	
AS1402	地球科学 （天文・海洋・気象学の基礎）		2	塩崎 一郎 他	金 1	105	共 D 2 1	
AS1404	地球科学（新しい地球観の基礎）		2	塩崎 一郎 他	火 2	80	共 D 3 3	
AS1405	地球科学 （ジオパークと自然災害・防災の基礎） 0 2		2	塩崎 一郎 他	水 2	80	共 D 2 1	
AS1405	地球科学 （ジオパークと自然災害・防災の基礎） 0 4		2	塩崎 一郎 他	水 2	80	共 D 3 1	

教養科目 [基幹科目 自然分野]

自然分野 教養科目履修上限科目に含まれない科目 (各自が履修登録する)

科目 コード	授業科目名	クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	備考
			前	後				

[工 (①機物) が履修するクラス]

AJ0051	微分積分学 I	0 1	2		加藤 由紀	月 3	工 2 2	クラスは学部オリエンテーション時にお知らせします。
AJ0051	微分積分学 I	0 3	2		橋本 隆司	月 3	共 D 4 2	
AJ0052	微分積分学 II		2		後藤 知伸	水 1	共 E 3 1	
AJ5001	線形代数 I		2		松野 崇	水 4	共 C 2 1	
AJ5002	線形代数 II		2		未定	未定		
AJ0101	基礎物理学 I		2		松岡 広成	火 3	工 2 1	
AJ0102	基礎物理学 II		2		未定	未定		
AS1206	化学概論		2		原田 尚志	金 2	共 C 3 1	

*下記注書参照

[工 (①電情) が履修するクラス]

AJ0059	微分積分学 I 及び演習	0 1	3		竹森 史暁	月 3・4	工 2 3	奇数番が履修
AJ0059	微分積分学 I 及び演習	0 3	3		木村 周平	火 3・4	工 2 3	偶数番が履修
AS1014	微分積分学 II 及び演習	0 2	3		大木 誠	月 3・4	共 E 3 1	奇数番が履修
AS1014	微分積分学 II 及び演習	0 4	3		清水 忠昭	木 3・4	工 2 3	偶数番が履修
AS1013	線形代数学及び演習	0 1	3		横田 孝義	金 3・4	工 4 2	奇数番が履修
AS1013	線形代数学及び演習	0 3	3		笹岡 直人	月 3・4	工 4 2	偶数番が履修
AS1105	力学基礎	0 2	2		有井 士郎	火 3	工 2 3	奇数番が履修
AS1105	力学基礎	0 4	2		市野 邦男	金 1	工 2 3	偶数番が履修
AS1106	力学基礎演習	0 2	1		有井 士郎	火 4	工 2 3	奇数番が履修
AS1106	力学基礎演習	0 4	1		市野 邦男	金 2	工 2 3	偶数番が履修

【注意】

*高等学校で理系数学(数学Ⅲ)を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

*高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理系科目を修得するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

*高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

[工 (①化バ) が履修するクラス]

AJ0001	基礎数学 I	2		橋本 隆司	月 2	共	D 2 1	
AJ0002	基礎数学 II		2	橋本 隆司	月 1	共	C 2 1	
AJ0201	基礎化学 I	2		野上 敏材	月 1	共	C 3 1	
AJ0202	基礎化学 II		2	増井 敏行	火 4	共	C 2 1	

*下記注書参照

[工 (①社土) が履修するクラス]

AJ0051	微分積分学 I	0 9	2	井上 順子	月 1	共	D 3 1	奇数番が履修
AJ0051	微分積分学 I	1 1	2	橋本 隆司	月 1	共	D 2 1	偶数番が履修
AJ0052	微分積分学 II	1 0	2	井上 順子	月 3	共	D 2 1	奇数番が履修
AJ0052	微分積分学 II	1 2	2	橋本 隆司	月 3	共	D 3 1	偶数番が履修
AJ5005	線形代数		2	長曾我部・香川	金 2	共	E 3 1	
AS1107	力学基礎及び演習		3	小野 他	木3・4	共	C 2 1	

【注意】

*高等学校で理系数学(数学Ⅲ)を学習していない者、履修したが大学で数学を学習するにあたっては理解不足と考えられる者は、前期に教養基礎数学を受講することが望ましい。大学で数学を学ぶための導入となります。

*高等学校で物理学を学習していない者、高校物理の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎物理学を受講することが望ましい。大学で物理系科目を履修するための基礎となる、高校物理の基本的内容の修得あるいは復習ができます。

*高等学校で化学を学習していない者、高校化学の学力不足と考えられる者は、前期に教養基礎化学を併せて受講することが望ましい。高校化学の復習、基礎・基本的な内容が習得できます。

教養科目 [基幹科目 実験演習分野]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP4011	前期 物理学実験演習	0 1	2	古川、土井、中井 榊原、中谷、本宮	月1, 2	物 理 学 共 実 験 室 工 計 算 機 実 習 室	①工（機物）	1番～60番が履修
	物理学実験演習	0 3	2	古川、土井、中井 榊原、中谷、本宮	金3, 4		①工（機物）	61番以降が履修
	後期 物理学実験演習	0 2	2	藤原 伸一、 早瀬 修一	月3, 4		①医（命，保） ②工（化バ）	
	物理学実験演習	0 4	2	阿部 友紀 他	金3, 4		①工（電情）	奇数番が履修
	物理学実験演習	0 6	2	阿部 友紀 他	金3, 4		①工（電情）	偶数番が履修
AP4111	前期 化学実験演習	0 1	2	木瀬、櫻井 他	火3, 4	化 学 共 実 験 室	①工（化バ）	1番～50番が履修
	化学実験演習	0 3	2	松浦、南条 他	木3, 4		①工（化バ）	51番以降が履修
	後期 化学実験演習	0 2	2	高村 歩美	水3, 4		①医（命，保）	
AP4211	後期 生物学実験演習		2	鱒岡、高田、岩 崎、近藤他	金3, 4	共 生 物 学 実 験 室	①医（検）	
AP4311	前期 地球科学実験演習		2	塩崎 一郎 他	水3, 4	共 地 学 実 験 室	②工（社土） ③農	入学初年度に受講を希望する場合は高等学校での地学履修歴があること、また、2年次以降に受講を希望する場合は、教養科目・自然分野「地球科学」を履修済みであることを受講条件とする。
AP4511	後期（米子地区で実施） 科学実験演習		1	萩野 浩 他	（後半） 金3, 4	米子地区 で実施	①医（看）	

外国語科目 [英語]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP6311	コミュニケーション 英語A	01	1	マスイ デボラ	火4	共 D32	①地	受講クラスは時間割 (4月8日(月))に 各学部オリエンテー ションで受け取る に記載してあります ので、各自指定の講 義室で受講するこ と。
		02	1	大谷 ショーン	火4	共 A31		
		03	1	クラビオト グラシエラ	火4	共 A34		
		04	1	バンヴィル ショーン	火4	共 A32		
		05	1	メガリー シェリー	木4	共 A31	①地	
		06	1	滝波 稚子	木4	共 A33		
		07	1	小林 昌博	木4	共 A32		
		08	1	クラビオト グラシエラ	木4	共 A34		
		09	1	メガリー シェリー	木3	共 A31	①農(A)	
		10	1	マスイ デボラ	木3	共 D32		
		11	1	小林 昌博	木3	共 A32		
		12	1	滝波 稚子	木3	共 A33		
		13	1	谷本 ジャスミン	金1	共 B31	①農(A, J V)	
		14	1	マスイ デボラ	金1	共 D32		
		15	1	バンヴィル ショーン	金1	共 A32		
		16	1	フェルナンデス クリスティアン	金1	共 E43		
		17	1	甲斐 秀子	金1	共 A31	①医(命)	
		18	1	リーン シャーリー	金1	共 C32		
		19	1	ジアディーニ マーク	金1	共 B21		
		20	1	バンヴィル ショーン	火1	共 A32		
		21	1	滝波 稚子	火1	共 A33	①工(機物)	
		22	1	フェルナンデス クリスティアン	火1	共 E43		
		23	1	谷本 ジャスミン	火1	共 B31		
		24	1	竹内 ひとみ	火1	共 B21		
		25	1	ジアディーニ マーク	水3	共 A31	①工(電情)	
		26	1	バーナード マーティナス	水3	共 A32		
		27	1	マスイ デボラ	水3	共 D32		
		28	1	竹内 ひとみ	水3	共 B21		
		29	1	谷本 ジャスミン	水3	共 B31	①工(社土)	
		30	1	竹内 ひとみ	金3	共 B21		
		31	1	大谷 ショーン	金3	共 A31		
		32	1	小林 昌博	金3	共 A32		
		33	1	戸野 康恵	金3	共 C22	①工(化バ)	
		34	1	ジアディーニ マーク	水4	共 A31		
		35	1	フェルナンデス クリスティアン	水4	共 E43		
		36	1	谷本 ジャスミン	水4	共 B31		
		37	1	バーナード マーティナス	水4	共 A32	①医(保)	
		38	1	ジアディーニ マーク	水1	共 A31		
		39	1	マスイ デボラ	水1	共 D32		
		40	1	フェルナンデス クリスティアン	水1	共 E43		
		41	1	大谷 ショーン	水1	共 A32		
		42	1	竹内 ひとみ	水1	共 B21		

外国語科目 [英語]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP6312	コミュニケーション 英語B	61	1	フェルナンデス クリスティアン	火4	共 E43	①地	受講クラスは時間割 (4月8日(月))に 各学部オリエンテー ションで受け取る に記載してあります ので、各自指定の講 義室で受講するこ と。
		62	1	竹内 ひとみ	火4	共 B21		
		63	1	リーン シャーリー	木4	共 D21	①地	
		64	1	和田 綾子	木4	共 D33		
		65	1	福安 勝則	金1	共 D42	①農(A)	
		66	1	和田 綾子	金1	共 D33		
		67	1	大谷 ショーン	木3	共 D33	①農(A)	
		68	1	和田 綾子	木3	共 D31		
		69	1	和田 綾子	水1	共 C32	①農(JV)	
		70	1	大谷 ショーン	水3	共 D33	①工(機物)	
		71	1	フェルナンデス クリスティアン	水3	共 E43		
		72	1	マスイ デボラ	火1	共 D33	①工(電情)	
		73	1	和田 綾子	火1	共 D21		
		74	1	マスイ デボラ	金3	共 D33	①工(化バ)	
		75	1	福安 勝則	金3	共 D31		
		76	1	大谷 ショーン	水4	共 D33	①工(社土)	
77	1	和田 綾子	水4	共 C32				
78	1	福安 勝則	月1	共 B31	①医(命)			
79	1	フェルナンデス クリスティアン	金4	共 E43	①医(保)			
80	1	福安 勝則	金4	共 D31				
AP6314	実践英語A	01	1	マスイ デボラ	火4	共 D33	①地	学務支援システムの 個人時間割に履修す るクラス及び講義室 を指定しますので、 各自がクラス等を確認 のうえ履修してくだ さい。 ※農学部1年次後期 の実践英語はクオー ター制で実施しま す。 クラス分けと講義室 は掲示を確認するこ と。
		02	1	フェルナンデス クリスティアン	火4	共 E43		
		03	1	滝波 稚子	火4	共 B21		
		04	1	マスイ デボラ	木4	共 D33		
		05	1	ジアディーン マーク	木4	共 A32		
		06	1	大谷 ショーン	木4	共 B21		
		07	1	マスイ デボラ	火3 と 金1	共 D33	①農(A, JV)	
		08	1	バンヴィル ショーン	共 A31			
		09	1	滝波 稚子	第3Q 共 B21			
		10	1	フェルナンデス クリスティアン	火3 と 金1	共 E43		
		11	1	バンヴィル ショーン	共 A31	①医(検)		
		12	1	滝波 稚子	第4Q 共 B21			
		13	1	未定	金1	共 D32	①医(命)	
		14	1	リーン シャーリー	金1	共 D31		
		15	1	マスイ デボラ	火1	共 D33	①工(機物, 電情)	
		16	1	バンヴィル ショーン	火1	共 A31		
		17	1	フェルナンデス クリスティアン	火1	共 E43		
		18	1	フェルナンデス クリスティアン	水3	共 E43		
		19	1	小林 昌博	水3	共 B21		
		20	1	大谷 ショーン	水3	共 A32		
		21	1	未定	水4	共 B31		
		22	1	小林 昌博	水4	共 B21		
		23	1	大谷 ショーン	水4	共 A32		

外国語科目 [英語]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP6314	実践英語 A	2 4	1	滝波 稚子	金 3	共 A 3 2	①工 (化バ, 社士)	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定しますので、各自がクラスを確認のうえ履修してください。
		2 5	1	戸野 康恵	金 3	共 B 3 1		
		2 6	1	ジアディーン マーク	金 3	共 B 2 1		
		2 7	1	バンヴィル ショーン	火 5	共 A 3 1	①医 (看)	
		2 8	1	大谷 ショーン	火 5	共 A 3 2		
AP6315	実践英語 B	3 1	1	大谷 ショーン	火 4	共 A 3 2	①地	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定しますので、各自がクラスを確認のうえ履修してください。 ※農学部1年次後期の実践英語はクォーター制で実施します。クラス分けと講義室は掲示を確認すること。
		3 2	1	クラビオト グラシエラ	火 4	共 A 3 1		
		3 3	1	竹内 ひとみ	火 4	共 C 2 2		
		3 4	1	未定	木 4	共 C 3 2		
		3 5	1	クラビオト グラシエラ	木 4	共 A 3 1		
		3 6	1	メガリー シェリー	木 4	共 B 3 1		
		3 7	1	マスイ デボラ	火 3	共 D 3 3	①農 (A, JV)	
		3 8	1	甲斐 秀子	と 金 1	共 C 3 2		
		3 9	1	福安 勝則	第4Q	共 C 2 2		
		4 0	1	フェルナンデス クリスティアン	火 3	共 E 4 3		
		4 1	1	甲斐 秀子	と 金 1	共 C 3 2		
		4 2	1	福安 勝則	第3Q	共 C 2 2		
		4 3	1	甲斐 秀子	火 1	共 C 3 2		
		4 4	1	未定	火 1	共 B 2 1		
		4 5	1	竹内 ひとみ	火 1	共 C 2 2	①工 (機物, 電情)	
		4 6	1	マスイ デボラ	水 3	共 D 3 3		
		4 7	1	ベゴール ベッティーナ	水 3	共 A 3 1		
		4 8	1	長柄 裕美	水 3	共 C 3 2		
		4 9	1	フェルナンデス クリスティアン	水 4	共 E 4 3	①工 (化バ, 社士)	
		5 0	1	ベゴール ベッティーナ	水 4	共 A 3 1		
		5 1	1	竹内 ひとみ	水 4	共 C 2 2		
		5 2	1	フェルナンデス クリスティアン	金 3	共 E 4 3		
		5 3	1	甲斐 秀子	金 3	共 C 3 2		
		5 4	1	大谷 ショーン	金 3	共 A 3 1		
		5 5	1	ゼノス トレメイン	月 1	共 A 3 2	①医 (命)	
		5 6	1	マスイ デボラ	水 1	共 D 3 3	①医 (看)	
		5 7	1	長柄 裕美	水 1	共 A 3 1	①医 (看)	
		5 8	1	大谷 ショーン	水 1	共 A 3 2	①医 (検)	
AP6316	総合英語 I	0 1	1	滝波 稚子	月 1	共 C 3 2	②地	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定しますので、各自がクラスを確認のうえ履修してください。
		0 2	1	竹内 ひとみ	月 1	共 B 2 1		
		0 3	1	フェルナンデス クリスティアン	月 1	共 E 4 3		
		0 4	1	小林 昌博	月 1	共 C 2 2		
		0 5	1	中 朋美	月 1	共 A 3 1		
		0 6	1	マスイ デボラ	木 2	共 D 3 2	②農	
		0 7	1	大谷 ショーン	木 2	共 A 3 1		
		0 8	1	福安 勝則	木 2	共 B 2 1		
		0 9	1	和田 綾子	木 2	共 A 3 2		
		1 0	1	中尾 雅之	木 2	共 C 2 2		
		1 1	1	長柄 裕美	木 2	共 C 4 1		

外国語科目 [英語]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP6316	総合英語 I	1 2	1	竹内 ひとみ	月 2	共 B 2 1	②工 (機物・電情)	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定します。各自がクラスを確認のうえ受講してください。
		1 3	1	小林 昌博	月 2	共 C 2 2		
		1 4	1	中 朋美	月 2	共 A 3 1		
		1 5	1	マスイ デボラ	金 4	共 D 3 3		
		1 6	1	小林 昌博	金 4	共 A 3 2		
		1 7	1	大谷 ショーン	金 4	共 A 3 1		
		1 8	1	マスイ デボラ	木 1	共 D 3 2	②工 (化バ・社土)	
		1 9	1	中尾 雅之	木 1	共 C 2 2		
		2 0	1	長柄 裕美	木 1	共 C 4 1		
		2 1	1	フェルナンデス クリスティアン	金 2	共 E 4 3		
		2 2	1	和田 綾子	金 2	共 D 3 3		
		2 3	1	滝波 稚子	月 4	共 B 3 2		
AP6317	総合英語 II	0 1	1	滝波 稚子	月 1	共 B 3 1	②地	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定しますので、各自がクラスを確認のうえ受講してください。
		0 2	1	竹内 ひとみ	月 1	共 C 2 2		
		0 3	1	フェルナンデス クリスティアン	月 1	共 E 4 3		
		0 4	1	小林 昌博	月 1	共 B 2 1		
		0 5	1	中 朋美	月 1	共 A 3 1		
		0 6	1	マスイ デボラ	木 2	共 D 3 3	②農	
		0 7	1	大谷 ショーン	木 2	共 B 2 1		
		0 8	1	福安 勝則	木 2	共 D 3 2		
		0 9	1	ジアディーン マーク	木 2	共 A 3 2		
		1 0	1	中尾 雅之	木 2	共 A 3 1		
		1 1	1	メガリー シェリー	木 2	共 C 2 2		
		1 2	1	竹内 ひとみ	月 2	共 C 2 2	②工 (機物・電情)	
		1 3	1	福安 勝則	月 2	共 A 3 2		
		1 4	1	中 朋美	月 2	共 A 3 1		
		1 5	1	マスイ デボラ	金 4	共 D 3 3		
		1 6	1	小林 昌博	金 4	共 A 3 2		
		1 7	1	大谷 ショーン	金 4	共 B 2 1		
		1 8	1	マスイ デボラ	木 1	共 D 3 3	②工 (化バ・社土)	
		1 9	1	中尾 雅之	木 1	共 A 3 1		
		2 0	1	福安 勝則	木 1	共 D 3 2		
		2 1	1	小林 昌博	金 2	共 A 3 2		
		2 2	1	福安 勝則	金 2	共 C 2 2		
		2 3	1	リーン シャーリー	木 4	共 A 3 3		
AP6320	総合英語 III	3 1	1	滝波 稚子	月 2	共 C 3 2	②工 (機物・電情)	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定します。各自がクラスを確認のうえ受講してください。
		3 2	1	ゼノス トレメイン	月 2	共 A 3 2		
		3 3	1	フェルナンデス クリスティアン	月 2	共 E 4 3		
		3 4	1	ジアディーン マーク	金 4	共 B 2 1		
		3 5	1	戸野 康恵	金 4	共 C 2 2		
		3 6	1	甲斐 秀子	金 4	共 C 3 2		

外国語科目 [英語]

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP6320	総合英語Ⅲ	37	1	バンヴィル ショーン	金2	共 A32	②工 (化バ・社土)	
		38	1	ジアディーン マーク	金2	共 B21		
		39	1	甲斐 秀子	金2	共 C32		
		40	1	大谷 ショーン	木1	共 A31		
		41	1	ゼノス トレメイン	木1	共 B21		
AP6321	総合英語Ⅳ	31	1	滝波 稚子	月2	共 B31	②工 (機物・電情)	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを指定します。各自がクラスを確認のうえ受講してください。
		32	1	小林 昌博	月2	共 B21		
		33	1	フェルナンデス クリスティアン	月2	共 E43		
		34	1	フェルナンデス クリスティアン	金4	共 E43		
		35	1	戸野 康恵	金4	共 B31		
		36	1	未定	金4	共 C32		
		37	1	バンヴィル ショーン	金2	共 A31	②工 (化バ・社土)	
		38	1	ジアディーン マーク	金2	共 B21		
		39	1	未定	金2	共 B31		
		40	1	大谷 ショーン	木1	共 B21		
		41	1	ジアディーン マーク	木1	共 A32		
AP6324	英語上級A		1				③全学部	平成31年度不開講
AP6325	英語上級B		1				③全学部	
AP6326	英語上級D		1	滝波 稚子	月4	共 B32	③全学部	受講希望者は、教育支援課で申込みください。
AP6327	英語上級C		1	リーン シャーリー	木4	共 A33	③全学部	

外国語科目〔ドイツ語〕

科目コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP7003	ドイツ語基礎Ⅰ	01	1	竹之内 紀子	月4	共 D22	①地	
		02	1	廣瀬 ゆう子	月4	共 B31		
		03	1	竹之内 紀子	火4	共 D22	①医(命,保)	
		04	1	廣瀬 ゆう子	火4	共 B31		
		05	1	廣瀬 ゆう子	月3	共 B31	①農	
		06	1	山城 裕子	月3	共 E41		
		07	1	竹之内 紀子	木2	共 D22	①工(電情,化バ,社土)	
		08	1	山城 裕子	木2	共 D41		
		09	1	竹之内 紀子	木3	共 D22	①工(機物)	
AP7004	ドイツ語基礎Ⅱ	01	1	竹之内 紀子	月4	共 D22	①地	
		02	1	廣瀬 ゆう子	月4	共 B31		
		03	1	竹之内 紀子	火4	共 D22	①医(命,保)	
		04	1	廣瀬 ゆう子	火4	共 B31		
		05	1	廣瀬 ゆう子	月3	共 B31	①農	
		06	1	山城 裕子	月3	共 E41		
		07	1	竹之内 紀子	木2	共 D22	①工(電情,化バ,社土)	
		08	1	山城 裕子	木2	共 D41		
		09	1	竹之内 紀子	木3	共 D22	①工(機物)	
AP7053	ドイツ語応用Ⅰ	1	山城 裕子	月4	共 E41	②全学部	1年次でドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したクラス	
AP7054	ドイツ語応用Ⅱ	1	山城 裕子	月4	共 E41	②全学部		
AP7055	ドイツ語応用Ⅲ	1				③全学部	平成31年度不開講	
AP7056	ドイツ語応用Ⅳ	1				③全学部		

外国語科目〔フランス語〕

科目コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP7203	フランス語基礎Ⅰ	01	1	柳原 智子	月3	共 D32	①農	
		02	1	松本 雅弘	月4	共 E43	①地	
		03	1	松本 雅弘	火4	共 E41	①医(命,保)	
		04	1	松本 雅弘	木2	共 E41	①工(電情,化バ,社土)	
		05	1	松本 雅弘	木3	共 E41	①工(機物)	
AP7204	フランス語基礎Ⅱ	01	1	柳原 智子	月3	共 D32	①農	
		02	1	松本 雅弘	月4	共 E43	①地	
		03	1	松本 雅弘	火4	共 E41	①医(命,保)	
		04	1	松本 雅弘	木2	共 E41	①工(電情,化バ,社土)	
		05	1	松本 雅弘	木3	共 E41	①工(機物)	
AP7253	フランス語応用Ⅰ	1	柳原 智子	月4	共 D32	②全学部	1年次でフランス語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したクラス	
AP7254	フランス語応用Ⅱ	1	柳原 智子	月4	共 D32	②全学部		
AP7255	フランス語応用Ⅲ	1	松本 雅弘	月5	共 B32	③全学部	フランス語応用Ⅰ・Ⅱを履修したクラス	
AP7256	フランス語応用Ⅳ	1	松本 雅弘	月5	共 B32	③全学部		

外国語科目〔中国語〕

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP7403	中国語基礎Ⅰ	01	1	廖 汝幸	月4	共 B21		
		02	1	川口 斐斐	月4	共 D21	①地	
		03	1	遠藤 百合	月4	共 A33		
		04	1	崎原 麗霞	火4	共 C32	①医(命,保)	
		05	1	廖 汝幸	木2	共 D33		
		06	1	川口 斐斐	木2	共 D21	①工(電情, 化バ,社土)	
		07	1	崎原 麗霞	木2	共 C32		
		08	1	遠藤 百合	木2	共 A33		
		09	1	崎原 麗霞	木3	共 C32	①工(機物)	
		10	1	川口 斐斐	木3	共 D21		
		11	1	要木 佳美	月3	共 D33	①農	
		12	1	廖 汝幸	月3	共 B21		
AP7404	中国語基礎Ⅱ	01	1	廖 汝幸	月4	共 B21		
		02	1	川口 斐斐	月4	共 D21	①地	
		03	1	遠藤 百合	月4	共 A33		
		04	1	崎原 麗霞	火4	共 C32	①医(命,保)	
		05	1	廖 汝幸	木2	共 C41		
		06	1	川口 斐斐	木2	共 D21	①工(電情, 化バ,社土)	
		07	1	崎原 麗霞	木2	共 C32		
		08	1	遠藤 百合	木2	共 A33		
		09	1	崎原 麗霞	木3	共 C32	①工(機物)	
		10	1	川口 斐斐	木3	共 D21		
		11	1	要木 佳美	月3	共 D33	①農	
		12	1	廖 汝幸	月3	共 B21		
AP7453	中国語応用Ⅰ	01	1	崎原 麗霞	月4	共 C32	②地	地域学部の学生は、学 務支援システムの個人 時間割に履修するクラ スを指定します。 1年次で中国語基礎 Ⅰ・Ⅱを履修したクラ ス
		02	1	要木 佳美	月4	共 D33		
		03	1	崎原 麗霞	月3	共 C32	②工・農	
AP7454	中国語応用Ⅱ	01	1	崎原 麗霞	月4	共 C32	②地	地域学部の学生は、学 務支援システムの個人 時間割に履修するクラ スを指定します。 1年次で中国語基礎 Ⅰ・Ⅱを履修したクラ ス
		02	1	要木 佳美	月4	共 D33		
		03	1	崎原 麗霞	月3	共 C32	②工・農	
AP7455	中国語応用Ⅲ		1	崎原 麗霞	月5	共 A33	③全学部	中国語応用Ⅰ・Ⅱを 履修したクラス
AP7456	中国語応用Ⅳ		1	崎原 麗霞	月5	共 A33	③全学部	

外国語科目〔韓国語〕

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP7505	韓国語基礎Ⅰ	01	1	大谷 博美	月4	共 C 2 2	①地	
		02	1	賈 恵京	火4	共 E 3 2	①医(命, 保)	
		03	1	賈 恵京	木2	共 E 3 2	①工(電情, 化バ, 社土)	
		04	1	大谷 博美	木2	共 B 3 1		
		05	1	大谷 博美	木3	共 B 3 1	①工(機物)	
		06	1	鄭 然旭	月3	共 A 3 2	①農	
AP7506	韓国語基礎Ⅱ	01	1	大谷 博美	月4	共 C 2 2	①地	
		02	1	賈 恵京	火4	共 E 3 2	①医(命, 保)	
		03	1	賈 恵京	木2	共 E 3 2	①工(電情, 化バ, 社土)	
		04	1	大谷 博美	木2	共 B 3 1		
		05	1	大谷 博美	木3	共 B 3 1	①工(機物)	
		06	1	鄭 然旭	月3	共 A 3 2	①農	
AP7555	韓国語応用Ⅰ	01	1	鄭 然旭	月4	共 A 3 2	②全学部	地域学部の学生は、学 務支援システムの個人 時間割に履修するクラ スを指定します。 1年次で中国語基礎 Ⅰ・Ⅱを履修したクラ ス
		02	1	賈 恵京	月4	共 E 3 2		
AP7556	韓国語応用Ⅱ	01	1	鄭 然旭	月4	共 A 3 2	②全学部	
		02	1	賈 恵京	月4	共 E 3 2		
AP7557	韓国語応用Ⅲ		1				③全学部	平成31年度不開講
AP7558	韓国語応用Ⅳ		1				③全学部	

外国語科目〔スペイン語〕

科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AP7603	スペイン語基礎Ⅰ	01	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	月3	共 C 5 1	①農	
		02	1	クラビオト グラシエラ	月3	共 A 3 1		
		03	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	月4	共 C 5 1	①地、工(機物)	
		04	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	木2	共 C 5 1	①工(電情, 化バ, 社土)	
AP7604	スペイン語基礎Ⅱ	01	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	月3	共 C 5 1	①農	
		02	1	クラビオト グラシエラ	月3	共 A 3 1		
		03	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	月4	共 C 5 1	①地、工(機物)	
		04	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	木2	共 C 5 1	①工(電情, 化バ, 社土)	
AP7653	スペイン語応用Ⅰ		1	クラビオト グラシエラ	月4	共 A 3 1	②全学部	1年次でスペイン語基 礎Ⅰ・Ⅱを履修したク ラス
AP7654	スペイン語応用Ⅱ		1	クラビオト グラシエラ	月4	共 A 3 1	②全学部	
AP7655	スペイン語応用Ⅲ		1	クラビオト グラシエラ	月5	共 A 3 1	③全学部	スペイン語応用Ⅰ・Ⅱ を履修したクラス
AP7656	スペイン語応用Ⅳ		1	クラビオト グラシエラ	月5	共 A 3 1	③全学部	

健康スポーツ科目

【1年生枠】

科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	種目	場所	指定クラス
			前	後					
AP2001	健康スポーツ 科学実技 (前期)	01	1		瀬戸 邦弘	火4	ソフトボール	野球場	①農
		02	1		西村 正広	火4	テニス	テニスコート	
		03	1		澤 晶子	火4	エアロ&フィットネス	トレーニングルーム	
		04	1		加藤 敏明	水2	テニス	テニスコート	①工 (機物, 電情)
		05	1		瀬戸 邦弘	水2	ソフトボール	野球場	
		06	1		高田 貴志	水2	サッカー	サッカー場	
		07	1		近藤 剛	木2	ソフトボール	野球場	①地, 医(命), 医(検)
		08	1		瀬戸 邦弘	木2	テニス	テニスコート	
		09	1		高田 貴志	木2	サッカー(男子対象)	サッカー場	
		10	1		西村 正広	木4	テニス	テニスコート	①医(看)
		11	1		瀬戸 邦弘	木4	バドミントン	第1体育館	
		12	1		瀬戸 邦弘	金4	ソフトボール	野球場	①工 (化バ, 社士)
		13	1		山崎 英治	金4	バスケットボール	第2体育館	
		14	1		高田 貴志	金4	サッカー	サッカー場	
AP2002	健康スポーツ 科学実技 (後期)	21	1		加藤 敏明	火4	バスケットボール	第2体育館	①農
		22	1		西村 正広	火4	バドミントン	第1体育館	
		23	1		加藤 敏明	水2	バスケットボール	第2体育館	①工 (機物, 電情)
		24	1		瀬戸 邦弘	水2	バドミントン	第1体育館	
		25	1		高田 貴志	木2	フットサル(女子限定)	第2体育館	①地, 医(命), 医(検)
		26	1		山本 正人	木2	バドミントン	第1体育館	
		27	1		澤 晶子	木2	エアロ&フィットネス	トレーニングルーム	
		28	1		西村 正広	金4	バレーボール	第2体育館	①工 (化バ, 社士)
		29	1		瀬戸 邦弘	金4	バドミントン	第1体育館	

【全学生自由選択枠】

科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	曜日 時限	種目	場所	指定クラス
			前	後					
AP2022	健康スポーツ 科学実技 (前期)	31	1		加藤 敏明	火2	ニュースポーツ	第2体育館	全学部
AP2034		32	1		関 耕二	火2	ランニング	陸上競技場他	
AP2024		33	1		加藤 敏明	水3	フィットネス	トレーニングルーム	
AP2026		34	1		瀬戸 邦弘	金2	テニス	テニスコート	
AP2073		52	1		瀬戸 邦弘	集中	アクアスポーツ2	湖山池	
AP2077	53	1		近藤 剛 加藤 敏明	集中	野外キャンプ	国立公園大山周辺	全学部 定員24名程度	
AP2030	健康スポーツ 科学実技 (後期)	41	1		西村 正広	水3	バレーボール	第2体育館	全学部
AP2035		42	1		木野 彩子	金2	ダンス	トレーニングルーム	
AP2027		43	1		山本 正人	金2	バドミントン	第1体育館	
AP2074	54	1		加藤 敏明 西村 正広 瀬戸 邦弘	集中	スキー1 (初級)	大山ホワイトリゾート	全学部 定員25名程度	
AP2078	55	1		加藤 敏明 西村 正広 関 耕二	集中	スキー2 (中・上級)	大山ホワイトリゾート	全学部 定員25名程度	
AP2501	地域スポーツ 支援プログラム (前期)	01	1		西村 正広	集中	ライフセービング の基礎	プール	全学部 定員30名
AP2505		02	1		山崎 英治 西村 正広	集中	アクアスポーツ1	講義室 鳥大プール 岩美町海岸	全学部

日本語・日本事情に関する科目

科目コード	授業科目	単位数		担当教員	曜日 時限	講義室	指定クラス	備考
		前	後					
AN2041	日本語実践Ⅰ	1		御舘 久里恵	月4	共C41	外国人留学生対象	
AN2042	日本語実践Ⅱ		1	御舘 久里恵	月4	共C41	外国人留学生対象	
AN2047	日本語の表現技法Ⅰ	1		池田 玲子	水4	共C41	外国人留学生対象	旧「日本語の文法と構造Ⅰ」
AN2048	日本語の表現技法Ⅱ		1	池田 玲子	水4	共C41	外国人留学生対象	旧「日本語の文法と構造Ⅱ」
AN2049	学部留学生のための日本語Ⅰ	1		池田 玲子	木3	共B32	外国人留学生対象	正規学生限定 旧「日本語表現Ⅰ」
AN2050	学部留学生のための日本語Ⅱ		1	池田 玲子	木3	共B32	外国人留学生対象	正規学生限定 旧「日本語表現Ⅱ」
AN3041	日本文化事情Ⅰ	2		安藤 孝之	水2	共C41	外国人留学生対象	
AN3042	日本文化事情Ⅱ		2	安藤 孝之	水2	共C41	外国人留学生対象	
AN3043	日本社会事情Ⅰ	2		御舘 久里恵 他	月3	共C41	外国人留学生対象	
AN3044	日本社会事情Ⅱ		2	御舘 久里恵 他	月3	共C41	外国人留学生対象	
AN3045	日本のIT事情		2	竹田 洋志	火2	共C41	外国人留学生対象	

海外実践教育に関する科目

科目コード	授業科目	単位数	備考
メキシコ海外実践教育プログラム			
AP6802	海外語学学修A (UABCS実践英会話)	1	
AP7683	海外語学学修A (UABCS実践スペイン語会話)	1	
AK5010	海外実践学習A (持続可能な社会)	1	
AK5011	海外実践学習A (技術開発・イノベーション)	1	
台湾 銘傳大学英语研修プログラム			
AP6803	海外語学学修A (台湾銘傳大学英语研修)	1	
ウガンダ海外実践教育プログラム			
AK0016	海外実践学修A (ウガンダ マケレレ大学海外実践教育プログラム)	1	

*UABCSはメキシコ南バハカリフォルニア自治大学 (Universidad Autonoma de Baja California Sur) の意味

3. グローバル教育基礎科目群

グローバル教育基礎科目群は、教養教育の中で学生が基本的な国際通用性を身に付けることを目的として、全学年を対象として開設されています。

具体的には、主題科目「世界と地域」を中心とする全学共通科目を履修することにより、海外への意識やチャレンジ精神を養成しながら、日本と世界の歴史・文化、政治・経済、自然・生態等に関する様々な基礎知識を修得するとともに、外国語の運用能力はもとよりプレゼンテーション・ディベートなど様々な情報の受信・発信技能を修得します。

グローバル教育基礎科目群の各授業科目は、本学のグローバル教育プログラムで育成を目指している下記の3つの能力（グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力）養成に対応しています。

修得すべき具体的能力		指 標
A. グローバル人間力	実践力を重視した国際通用性のある人間力とタフで健全な心身を備え、世界的視野で何事にも挑戦し、最後まで諦めることなくやり遂げる能力	ア. 自己開発・強化力 イ. 自己管理能力 ウ. 課題発見・解決力
B. グローバルリテラシー	日本人としてのアイデンティティと異文化、多文化社会への理解と柔軟な対応力を有し、日本文化、日本社会に対する十分な理解力とそれらを広く世界に発信できる能力	ア. 日本発信力 イ. 地球的課題理解力 ウ. 異文化理解・受容力
C. グローバルコミュニケーション力	グローバル社会での国際業務の遂行に必要な英語を中心とした語学力と専門的な知識と技術及び自己表現と意思伝達手段としての高いコミュニケーション能力	ア. 英語通用力 イ. トリリンガル能力 ウ. プレゼンテーション能力 エ. デイベート能力 オ. チーム形成能力

特に、「海外安全マネジメント」と「国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ・Ⅱ」は、海外渡航を予定している学生は、渡航前に履修することを勧めます。

また、本学が企画・募集を行う海外派遣プログラムでは、プログラムの一環として、原則として「海外安全マネジメント」の履修を課していますので、各プログラムの参加条件を必ず確認するようにしてください。

修得すべき具体的能力及び指標	授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分	単位数		共同獣医 一般教養 科目			
				前	後				
グローバル教育基礎科目群	A グローバル人間力	A-ア,イ,ウ	海外安全マネジメント	竹田 洋志 他	主題科目	世界と地域	2	2	○
		A-ア,ウ	哲学・倫理学	未定	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		A-ア,イ,ウ	心理学	田中（大）、清河	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		A-ア,イ,ウ	社会心理学	石本 雄真	基幹科目	人文・社会分野	2		
		A-ア,ウ	問題分析・計画立案入門	桐山 聡	主題科目	人間と科学		2	
		A-イ	健康科学と応急手当	西村 正広	主題科目	健康と生命	2		○
		A-イ	健康と疾病	萩野 浩 他	主題科目	健康と生命	2		○
		A-ア,イ,ウ B-ウ	日本人と宗教（H31不開講）	安藤 泰至	基幹科目	人文・社会分野		2	○
		A-ア,イ,ウ B-ア	政治学	塩沢、永山	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		A-ウ B-ア,イ	地球科学（新しい地球観の基礎）	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野		2	○
	B グローバルリテラシー	B-イ,ウ	国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅰ	ケイツ アレキサンダー（非）	主題科目	世界と地域	2	2	
		B-イ,ウ	国際理解（グローバル・スタディーズ）Ⅱ	ケイツ アレキサンダー（非）	主題科目	世界と地域	2	2	
		B-イ	乾燥地の農業と緑化	藤巻 晴行 他	主題科目	人間と環境	2		
		B-ウ	芸術入門	筒井 宏樹 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		B-ウ	文学	松本 雅弘 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		B-ア	憲法学	佐藤、丸	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		B-ア,ウ	社会・経済統計—数字に見る日本の経済社会—（H31不開講）	小野 達也	基幹科目	人文・社会分野	2		○
		B-ア,イ	経済学	能美、永松、多田	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		B-ア,イ	経営システム論	馬場 芳	基幹科目	人文・社会分野	2		○
		B-ア	歴史学	武田 元有 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
B-イ,ウ	西洋政治史Ⅰ（H31不開講）	武田 元有	基幹科目	人文・社会分野	2	2			
B-イ,ウ	20世紀史Ⅰ	武田 元有	主題科目	人間と文化	2	2			

修得すべき具体的能力及び指標	授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分		単位数		共同獣医 一般教養 科目	
			前	後	前	後		
C グローバル コミュニ ケーシ ョン力	B-7.イ.ウ C-7.ウ.エ	グローバルイシュー（地球規模課題）	安藤 孝之 他	主題科目	世界と地域		2	
	B-7.イ.ウ C-7.ウ.エ	地球環境問題	安藤 孝之 他	主題科目	世界と地域		2	
	B-4.ウ C-7.ウ.エ.オ	メキシコ事情	グラビオト グラシエラ	主題科目	世界と地域	2		
	B-4.ウ C-7.ウ.エ.オ	ラテンアメリカとカリブ海諸国事情	グラビオト グラシエラ	主題科目	世界と地域		2	
	B-4.ウ C-ウ.オ	教養ゼミナール（1）西洋史読本Ⅰ	武田 元有	主題科目	教養ゼミナール	2		
	B-4.ウ C-ウ.オ	教養ゼミナール（2）西洋史読本Ⅱ	武田 元有	主題科目	教養ゼミナール		2	
	B-ウ C-7.ウ.オ	コミュニケーション英語A	英語教員		外国語科目	1		○
	B-ウ C-7	コミュニケーション英語B	英語教員		外国語科目	1		○
	B-ウ C-7.ウ	実践英語A, B	英語教員		外国語科目		1	○
	B-ウ C-7.ウ	総合英語Ⅰ, Ⅱ	英語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-7.ウ	総合英語Ⅲ, Ⅳ	英語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-7.ウ	英語上級A, B, C, D（隔年開講）	英語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	ドイツ語基礎Ⅰ, Ⅱ	ドイツ語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-4.ウ	ドイツ語応用Ⅰ, Ⅱ	ドイツ語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	ドイツ語応用Ⅲ, Ⅳ（H31不開講）			外国語科目	—	—	
	B-ウ C-4.ウ	フランス語基礎Ⅰ, Ⅱ	フランス語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-4.ウ	フランス語応用Ⅰ, Ⅱ	フランス語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	フランス語応用Ⅲ, Ⅳ	フランス語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	中国語基礎Ⅰ, Ⅱ	中国語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-4.ウ	中国語応用Ⅰ, Ⅱ	中国語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	中国語応用Ⅲ, Ⅳ	中国語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	韓国語基礎Ⅰ, Ⅱ	韓国語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-4.ウ	韓国語応用Ⅰ, Ⅱ	韓国語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	韓国語応用Ⅲ, Ⅳ（H31不開講）			外国語科目	—	—	
	B-ウ C-4.ウ	スペイン語基礎Ⅰ, Ⅱ	スペイン語教員		外国語科目	1	1	○
	B-ウ C-4.ウ	スペイン語応用Ⅰ, Ⅱ	スペイン語教員		外国語科目	1	1	
	B-ウ C-4.ウ	スペイン語応用Ⅲ, Ⅳ	スペイン語教員		外国語科目	1	1	

<参考>次の全学プログラムに参加する場合は「海外安全マネジメント」（2単位）を必ず修得しておくことが条件となります。

【海外派遣プログラム一覧】

対象学部	プログラム名	派遣国(派遣先)
全学部	夏期カナダ英語研修	カナダ (ウォータールー大学レニソン大学カレッジ)
	夏期アメリカ英語研修	アメリカ(カリフォルニア大学デービス校)
	夏期マレーシア英語研修	マレーシア(マラヤ大学)
	ウガンダ海外実践教育プログラム	ウガンダ(マケレレ大学他)
	メキシコ海外実践教育プログラム	メキシコ (メキシコ北西部生物学研究センター及び 南バハカリフォルニア自治大学)
	春期アメリカ英語研修	アメリカ(アーカンソー大学)
	春期台湾銘傳大学英語研修	台湾(銘傳大学)
	春期マレーシア英語研修	マレーシア(マラヤ大学)
	春期オーストラリア英語研修	オーストラリア(アデレード大学)

*上記以外に新規のプログラムを開設する場合は、「海外安全マネジメント」（2単位）の履修が必要かどうかはその都度決定し、周知します。

*各学部が実施する海外派遣プログラムについては、各学部へ確認してください。

4. 地域志向科目・地域創生推進科目

地域志向科目（鳥取キャンパス）

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修してください。地域志向科目は、社会の未来を切り開こうとする人材を育成することを目標とし、具体的には、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む科目で構成されています。

【基礎科目】 地域・社会を知る	A	地域の自然を知る
	B	地域の経験・知恵を知る
	C	地域の特性・人々の営みを知る
	D	社会のしくみを知る
【臨地科目】 地域に臨む	E	地域課題や活動を知り、問題意識を共有する
	F	地域づくりの方向性を知る
	G	地域の課題を体感する
【実践科目】 課題解決に取り組む	H	課題解決のアイデアを企画立案する さまざまな人々との活動を体験する 職業人としての基礎を身につける
	I	地域と関わるものづくり実践をおこなう

区分	授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分		単位数		共同獣医 一般教養 科目
					前	後	
基礎科目	地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野	2		○
	地球科学（ジオパークと自然災害・防災の基礎） 02	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野		2	
	地球科学（ジオパークと自然災害・防災の基礎） 04	塩崎 一郎 他	基幹科目	自然分野		2	
	鳥取砂丘学	小玉 芳敬 他	主題科目	世界と地域	2		
	B 鳥取を知る	桐山 聡 他	主題科目	世界と地域		2	
	鳥取の歴史と文学	岸本 覚 他	主題科目	世界と地域		2	
	C 文学	岡村 知子 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		久保 堅一 他	基幹科目	人文・社会分野			
	鳥取の海の幸を学ぶ	清水 克彦 他	主題科目	世界と地域		2	
	教養ゼミナール（1）「日本の名著を読む」	細井 由彦	主題科目	教養ゼミナール	2		
	社会・経済統計－数字に見る日本の経済社会－（H31不開講）	小野 達也	基幹科目	人文・社会分野	2		○
	D 経済学	能美 誠	基幹科目	人文・社会分野			
		永松 利文	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
		多田 憲一郎	基幹科目	人文・社会分野			
	経営システム論	馬場 芳	基幹科目	人文・社会分野	2		○
	歴史学	武田 元有 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
	憲法学	佐藤 匡、丸 祐一	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
	政治学	永山 正男 他 塩沢 健一 他	基幹科目	人文・社会分野	2	2	○
	くらしの経済・法律講座	藤田 安一 鳥取県連携講座	主題科目	人間と文化	2		○
	資本市場の役割と証券投資	馬場 芳 野村証券関係者	主題科目	人間と文化		2	
臨地科目	E 地域防災学	黒岩 正光 他	主題科目	世界と地域	2		
	社会安全政策論	後藤 和雄 他	主題科目	世界と地域	2		
	F 地域創生入門	谷本 圭志 他	主題科目	世界と地域	2		
G 「民藝」という美学～地域にひそむ新たな価値の発見～ 地域公共メディア論	野田 邦弘 他	主題科目	世界と地域	2			
	永松 利文 他	キャリア科目		2			
実践科目	H とっとり暮らし早期体験学習	清水 克彦	主題科目	世界と地域	2		
	デザインプロジェクト	成清 仁士	主題科目	世界と地域		2	
	地方創生政策体験学習	長曾我部 まどか 他	主題科目	世界と地域	2		
	地域公共メディア実習	永松 利文 他	キャリア科目		1		
	就業体験学習	長尾 博暢 他	キャリア科目		2		
	地域就業論	長尾 博暢 他	キャリア科目		2		○
	ワーク・ライフ・バランス論	長尾 博暢 他	キャリア科目		1		
	I 子どもの生活とものづくり	土井 康作 他	主題科目	人間と文化	2		

地域創生推進科目（鳥取キャンパス）

この科目群は全学部生を対象として開設されるものです。

地域創生推進科目は、小さなことから新たな挑戦に向かう能力を培うことを目標として、今年度は以下の科目が開講されます。

地域志向科目の中で地域創生推進科目としても相応しい科目を、地域志向科目と地域創生推進科目の双方に重複して位置づけています。

授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分		単位数	
				前	後
地域創生入門	谷本 圭志 他	主題科目	世界と地域	2	
起業入門	大崎 理乃	主題科目	世界と地域	1	
ビジネスプラン入門	清水 克彦, 小野寺 仁史	主題科目	世界と地域	1	
鳥取銀行講座「マーケティング基礎」(第1Q)	山口 隆久 他	主題科目	世界と地域	1	
鳥取銀行講座「マーケティング実践」(第2Q)	山口 隆久 他	主題科目	世界と地域	1	
起業プランニング論	多田 憲一郎	主題科目	世界と地域		2
経済経営哲学	永松 利文 他	主題科目	人間と文化	2	
くらしの経済・法律講座	藤田 安一 鳥取県連携講座	主題科目	人間と文化	2	
経営システム論	馬場 芳	基幹科目	人文・社会分野	2	
地域公共メディア論	永松 利文 他		キャリア科目	2	
地域公共メディア実習	永松 利文 他		キャリア科目	1	
地方創生政策体験学習	長曾我部 まどか	主題科目	世界と地域	2	
とっとり暮らし早期体験学習	清水 克彦	主題科目	世界と地域	2	
デザインプロジェクト	成清 仁士	主題科目	世界と地域		2
起業とプロトタイピング	三浦 政司	主題科目	世界と地域		2

5. 全学共通科目ナンバリング一覧表（鳥取地区）

<人文科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
哲学 (PHL)	基幹科目	人文・社会分野	哲学・倫理学	LPHL1004-G
倫理学 (ETH)	基幹科目	人文・社会分野	生命倫理	LETH1000
	主題科目	人間と文化	応用倫理学入門	LETH1050
社会思想 (THU)	基幹科目	人文・社会分野	社会思想史入門	LTHU1001
教育学 (EDU)	基幹科目	人文・社会分野	教育学概論	LEDU1000
	基幹科目	人文・社会分野	教育社会学	LEDU1001
	基幹科目	人文・社会分野	高等教育論	LEDU1002
心理学 (PSY)	主題科目	人間と文化	子どもの生活とものづくり	LEDU1050-C
	基幹科目	人文・社会分野	心理学	LPSY1000-G
	基幹科目	人文・社会分野	社会心理学	LPSY1001-G
芸術学 (ART)	主題科目	人間と文化	発達と教育の心理学	LPSY1050
	主題科目	健康と生命	発達心理学	LPSY1051
文学 (LIT)	基幹科目	人文・社会分野	合唱入門	LART1001
	主題科目	人間と文化	芸術入門	LART1003-G
歴史学 (HIS)	主題科目	人間と文化	名作戯曲の創造的読解	LART1052
	基幹科目	人文・社会分野	文学	LLIT1004-CG
	基幹科目	人文・社会分野	歴史学	LHIS1003-CG
言語学 (LIN)	主題科目	人間と文化	20世紀史 I	LHIS1050A-G
	主題科目	人間と文化	20世紀史 II	LHIS1050B-G
	基幹科目	人文・社会分野	日本語構造論	LLIN1001
社会学 (SOC)	主題科目	人間と文化	書いてみる文字の歴史	LLIN1050
	主題科目	人間と文化	アメリカ手話入門 I	LLIN1051A
	主題科目	人間と文化	アメリカ手話入門 II	LLIN1051B
社会学 (SOC)	主題科目	健康と生命	はんこ研究	LLIT1052
社会学 (SOC)	主題科目	健康と生命	社会福祉	LSOC1050

<自然科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング	
地球科学 (EAR)	基幹科目	自然分野	地球科学（社会で活用するための基礎）	LEAR1000	
			地球科学（地質・地形・固体地球物理学の基礎）	LEAR1001-C	
			地球科学（天文・海洋・気象学の基礎）	LEAR1002	
			地球科学（新しい地球観の基礎）	LEAR1003-G	
物理学 (PHY)	基幹科目	自然分野	地球科学（ジオバークと自然災害・防災の基礎）	LEAR1004-C	
			実験演習分野	地球科学実験演習	LEAR1205
			物理学入門 I	LPHY1000	
			物理学入門 II -基礎電磁気学-	LPHY1001	
		実験演習分野	基礎物理学 I	LPHY1002A	
			基礎物理学 II	LPHY1002B	
			力学基礎	LPHY1003	
			力学基礎演習	LPHY1103	
			力学基礎及び演習	LPHY1303	
			物理学実験演習	LPHY1204	
主題科目	人間と科学	メカニクの世界	LPHY1051		
化学 (CHE)	基幹科目	自然分野	化学 I A / I B	LCHE1000	
			化学 II A / II B	LCHE1001	
			化学 C	LCHE1002	
			化学概論	LCHE1008	
			化学概論 II	LCHE1004B	
			基礎化学 I	LCHE1005A	
		実験演習分野	基礎化学 II	LCHE1005B	
			化学実験演習	LCHE1206	
			バイオテクノロジーの最前線	LCHE1050	
			人間と科学	科学リテラシー	LCHE1051
主題科目	健康と生命	未来を拓く先端化学	LCHE1052		
	健康と生命	放射線科学	LCHE1054		
生物学 (BIG)	基幹科目	自然分野	生物学概論 I	LBIG1000A	
			生物学概論 II	LBIG1000B	
			生物学 I A	LBIG1001A	
			生物学 II A	LBIG1001B	
			生物学 I B	LBIG1002A	
			生物学 II B	LBIG1002B	
		実験演習分野	生物学実験演習	LBIG1203	
			人間と科学	農業科学入門	LBIG1050
			人間と環境	乾燥地の農業と緑化	LBIG1051-G
				分類・生態から分子まで：昆虫学入門	LBIG1052
主題科目	健康と生命	分子細胞生物学概論	LBIG1055		
		持続性社会創生科学基礎論 in English	LBIG1068		
	人間と科学	水と環境 in English	LBIG1069		
		医学と生命科学	脳科学入門	LBIG1056	
情報科学 (INF)	基幹科目	人間と科学	脳の世紀 - 脳・心・病気 -	LBIG1057	
			微生物の世界	LBIG1058	
		実験演習分野	感覚器と生体からみる生物のかたちと働き	LBIG1071	
			情報リテラシー	LINF1000	
			情報リテラシー	LINF1001	
			メディア論	LINF1050	
			コンピュータネットワーク入門	LINF1051	
			初心者のためのコンピュータプログラミング入門	LINF1052	
			PCセキュリティ入門	LINF1053	
			人間と科学	情報リテラシー	LINF1000
人間と科学	情報倫理 A	LINF1001			
人間と科学	メディア論	LINF1050			
人間と科学	コンピュータネットワーク入門	LINF1051			
人間と科学	初心者のためのコンピュータプログラミング入門	LINF1052			
人間と科学	PCセキュリティ入門	LINF1053			

<社会科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
法学 (LAW)	基幹科目	人文・社会分野	憲法学	LLAW1001-CG
			生命倫理と法	LLAW1003
			政治学	LPOL1000-CG
			法律学	LLAW1008
			人権保障論	LLAW1006
政治学 (POL)	基幹科目	人文・社会分野	政治学	LPOL1000-CG
経済学 (ECN)	基幹科目	人文・社会分野	経済学	LECN1000-CG
	基幹科目	人文・社会分野	経済経営哲学	LECN1003-C
	主題科目	人間と文化	くらしの経済・法律講座	LECN1050-C
経営学 (MAN)	基幹科目	人文・社会分野	野村証券講座「資本市場の役割と証券投資」	LECN1051-C
経営学 (MAN)	基幹科目	人文・社会分野	経営システム論	LMAG1002-CG

<自然科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング		
数学 (MAT)	基幹科目	自然分野	データ科学の基礎	LMAT1012		
			代数学入門	LMAT1001		
			解析学教程 I	LMAT1002A		
			解析学教程 II	LMAT1002B		
			解析入門 I	LMAT1003A		
			解析入門 II	LMAT1003B		
			微分積分学 I	LMAT1004A		
			微分積分学 II	LMAT1004B		
			微分積分学 I 演習	LMAT1105A		
			微分積分学 II 演習	LMAT1105B		
			線形代数 I	LMAT1006A		
			線形代数 II	LMAT1006B		
			線形代数学	LMAT1007		
			線形代数学演習	LMAT1108		
			基礎数学 I	LMAT1009A		
			基礎数学 II	LMAT1009B		
			線形代数	LMAT1011		
			主題科目	人間と科学	数理ファイナンスの基礎	LMAT1050

<語学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
英語 (ENG)	外国語科目	英語	コミュニケーション英語 A	LENG1100A-G
			コミュニケーション英語 B	LENG1100B-G
			実践英語 A	LENG1101A-G
			実践英語 B	LENG1101B-G
			総合英語 I	LENG2100A-G
			総合英語 II	LENG2100B-G
			総合英語 III	LENG2100C-G
			総合英語 IV	LENG2100D-G
			英語上級 C	LENG3101C-G
			英語上級 D	LENG3101D-G

<語学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング	
ドイツ語 (GER)	外国語科目	ドイツ語	ドイツ語基礎 I	LGER1100A-G
			ドイツ語基礎 II	LGER1100B-G
			ドイツ語応用 I	LGER2100A-G
			ドイツ語応用 II	LGER2100B-G
			ドイツ語応用 III	LGER3100A-G
			ドイツ語応用 IV	LGER3100B-G
			ドイツ語上級 I	LGER3100A-G
			ドイツ語上級 II	LGER3100B-G
フランス語 (FRA)	外国語科目	フランス語	フランス語基礎 I	LFRA1100A-G
			フランス語基礎 II	LFRA1100B-G
			フランス語応用 I	LFRA2100A-G
			フランス語応用 II	LFRA2100B-G
			フランス語応用 III	LFRA3100A-G
			フランス語応用 IV	LFRA3100B-G
			フランス語上級 I	LFRA3100A-G
			フランス語上級 II	LFRA3100B-G
中国語 (CHN)	外国語科目	中国語	中国語基礎 I	LCHN1100A-G
			中国語基礎 II	LCHN1100B-G
			中国語応用 I	LCHN2100A-G
			中国語応用 II	LCHN2100B-G
			中国語応用 III	LCHN3100A-G
			中国語応用 IV	LCHN3100B-G
			中国語上級 I	LCHN3100A-G
			中国語上級 II	LCHN3100B-G
韓国語 (KOR)	外国語科目	韓国語	韓国語基礎 I	LKOR1100A-G
			韓国語基礎 II	LKOR1100B-G
			韓国語応用 I	LKOR2100A-G
			韓国語応用 II	LKOR2100B-G
			韓国語応用 III	LKOR3100A-G
			韓国語応用 IV	LKOR3100B-G
			韓国語上級 I	LKOR3100A-G
			韓国語上級 II	LKOR3100B-G
スペイン語 (SPA)	外国語科目	スペイン語	スペイン語基礎 I	LSPA1000A-G
			スペイン語基礎 II	LSPA1100B-G
			スペイン語応用 I	LSPA2100A-G
			スペイン語応用 II	LSPA2100B-G
			スペイン語応用 III	LSPA3100A-G
			スペイン語応用 IV	LSPA3100B-G
			スペイン語上級 I	LSPA3100A-G
			スペイン語上級 II	LSPA3100B-G
日本語 (JPN)	日本語・日本事情に関する科目	日本語実践 I	LJPN1100A	
		日本語実践 II	LJPN1100B	
		日本語の表現技法 I	LJPN1101A	
		日本語の表現技法 II	LJPN1101B	
		学部留学生のための日本語 I	LJPN1102A	
		学部留学生のための日本語 II	LJPN1102B	

<学問分野に分類できない科目>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング	
その他 (OTH)	人間と文化	グローバル時代の社会と国家	LOTH1054	
		バリアフリー支援入門	LOTH1055	
	人間と科学	問題分析・計画立案入門	LOTH1008-G	
		海外安全マネジメント	LOTH1012-G	
	主観科目	世界と地域	国際理解 (グローバル・スタディーズ) I	LOTH1013A-G
			国際理解 (グローバル・スタディーズ) II	LOTH1013B-G
			グローバルイシュー (地球規模課題)	LOTH1059-G
			地球環境問題	LOTH1060-G
			メキシコ事情	LOTH1015-G
			ラテンアメリカとカリブ海諸国事情	LOTH1015-G
			とっとり暮らし早期体験学習	LOTH1018-C
			「民権」といふ言葉へ地域にひそむ新たな顔の発見〜	LOTH1019-C
			鳥取砂丘学	LOTH1022-C
			鳥取の海の幸を学ぶ	LOTH1023-C
			地域防災学	LOTH1025-C
			社会安全政策論	LOTH1026-C
			地方創生政策体験学習	LOTH1027-C
			デザインプロジェクト	LOTH1028-C
			起業プランニング論	LOTH1029-C
			起業とプロトタイピング	LOTH1049-C
			起業入門	LOTH1050-C
			ビジネスプラン入門	LOTH1051-C
			鳥取銀行講座「マーケティング基礎」	LOTH1052-C
			鳥取銀行講座「マーケティング実践」	LOTH1053-C
	地域創生入門	LOTH1054-C		
	鳥取の歴史と文学	LOTH1055-C		
	鳥取を知る	LOTH1058-C		
	教養ゼミナール	教養ゼミナール (1) / (2)	LOTH1030-CG	
	キャリア科目	社会人入門-社会が求める人材-	LOTH1031	
		就業体験学習	LOTH1032-C	
		地域公共メディア論	LOTH1033-C	
		地域就業論	LOTH1034-C	
		地域公共メディア実習	LOTH1135-C	
		ワークライフバランス論	LOTH1036-C	
	日本語・日本事情に関する科目	日本文化事情 I	LOTH1036A	
		日本文化事情 II	LOTH1036B	
		日本社会事情 I	LOTH1037A	
		日本社会事情 II	LOTH1037B	
	海外実践教育科目	日本の I T 事情	LOTH1038	
		海外語学学修 A (UABCS実践英会話)	LOTH1139	
海外語学学修 A (UABCS実践スペイン語会話)		LOTH1110		
海外実践学修 A (持続可能な社会)		LOTH1200		
海外実践学修 A (技術開発・イノベーション)		LOTH1201		
海外語学学修 A (台湾銘傳大学英語研修)		LOTH1145		
海外実践学修 A (ワグンタマクレテ大学実践教育プログラム)		LOTH1048		

<健康スポーツ>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング	
健康スポーツ (HEA)	主観科目	人間と文化	現代社会とスポーツ	LHEA1050
			健康科学と応急手当	LHEA1051-G
			健康と疾病	LHEA1052-G
			スポーツ生理学入門	LHEA1053
			ウェルネスとシェイプアップ	LHEA1054
			保健医療概論	LHEA1055
			世界のスポーツ・健康文化論	LHEA1056
			スポーツサイエンス入門	LHEA1057
	健康スポーツ科目	健康スポーツ科学実技	LHEA1100	
		地域スポーツ支援プログラム	LHEA1101	

<学問分野に分類できない科目>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
その他 (OTH)	入門科目	大学入門ゼミ	LOTH1100
		大学入門ゼミ I	LOTH1101A
		大学入門ゼミ II	LOTH1101B
		キャリア入門	LOTH1002
		キャリア入門 I	LOTH1003A
		キャリア入門 I A	LOTH1003A
		キャリア入門 I B	LOTH1003A
		キャリア入門 II	LOTH1003B
		キャリア入門 II A	LOTH1003B
		キャリア入門 II B	LOTH1003B

Ⅲ－２． 授業時間割表 (米子地区)

1. 平成31年度全学共通科目授業時間割表 (抄)
2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表
3. 科目ナンバリング一覧表 (米子地区)
4. 地域志向科目 (米子地区)

1. 平成31年度 全学共通科目授業時間割表(抄)

医学部医学科1年次

1年前期																						
	1週			16週			1週			16週			1週			16週			5限			
	1限		2限		3限		4限		1限		2限		3限		4限		1限		2限		3限	
	前半		後半		前半		後半		前半		後半		前半		後半		前半		後半		5限	
月	主題・人文(5)		基礎運動器学(7)③		①		主題・人文(15)		①		情報リテラシ(8)		基礎化学(8)		情報リテラシ(7)①		基礎化学(7)①					
火	基礎運動器学(5)		キャリア(3)		基礎生物学(6)①		①		基礎数学(15)		①		コミュニケーション英語A(15)		①		第2外国語 I (15)		①			
水	早期体験ボランティア(8)		基礎生物学(6)①		①		早期体験ボランティア(8)		基礎手話(3)①		④		早期体験ボランティア(8)		基礎物理学(8)		早期体験ボランティア(8)		基礎物理学(7)①			
木	ヒューマンコミュニケーション I (15)		①		ヒューマンコミュニケーション I (15)		①		教養基礎(8)		基礎運動器学(7)		①		教養基礎(7)①		基礎運動器学(7)		①			
金	キャリア入門(8)		基礎生物学(6)①		①		基礎手話(12)③		①		健康スポーツ(11)		基礎運動器(3)①		①		健康スポーツ(11)		基礎運動器(3)①		①	

1年後期																												
	1週			16週			1週			16週			1週			16週			5限									
	1限		2限		3限		4限		1限		2限		3限		4限		1限		2限		3限							
	前半		後半		前半		後半		前半		後半		前半		後半		前半		後半		5限							
月	③		行動科学(8)		④		教養選択(15)①		④		最新診断・治療学(2)②		行動科学(8)		④		医学史(2)②		行動科学(8)		④							
火	細胞生化学(15)		①		細胞生化学(15)		①		コミュニケーション英語B(15)①		①		第2外国語 II (15)①		①													
水	細胞組織学(7)①		実験動物学(8)		細胞組織学(8)		医用統計(8)		①		最新診断・治療学(3)①		基医体験A(6-8)ABCから2回受講		基医体験B(6-8)ABCから2回受講		基医体験C(6-8)ABCから2回受講		基礎地域医療学(4)		医学史(2)②							
木	細胞生理学(15)		①		細胞生理学(15)		①		①		最新診断・治療学(3)①		ABCから2回受講		細胞組織学(3)		①		医学史(2)②		基医体験A(6-8)ABCから2回受講		基医体験B(6-8)ABCから2回受講		基医体験C(6-8)ABCから2回受講		細胞組織学(3)	
金	遺伝生化学(15)		①		教養選択(15)①		①		①		免疫生物学(15)		①		①		①		発生医学(8)		①		基医体験C		細胞組織学(6)			

※()内の数字はコマ数を表す。記載のないものは15コマを意味する。

① 授業に組み込んだ予備コマ数 ④ 調整用・試験用の予備コマ数

2. 平成31年度全学共通科目開設一覧表

区分	全学 共通 科目 コード	授業科目 クラス	単位数		担当教員	曜時 日限	学科・専攻 履修年次	備考	
			前	後					
入門科目	AG100100	大学入門ゼミ	0.4	0.5	海藤 俊行 他	集中講義			
	AG200100	情報リテラシ	0.4	2	本村 真一	月3・4前半	医学科1年次		
	AG300100	キャリア入門	0.2	1	中野 俊也 他	金1前半			
主題科目	人間と文化	AW900000	基礎手話		2	海藤 俊行 他	水2後半・金2	医学科1年次	旧主題科目VI
		AR000000	音楽と文化		2	中野 俊也	月2	医学科1年次	旧主題科目I
		AT900200	医療手話		2	海藤 俊行 他	金2	医学科1～4年次	旧主題科目VI
		AU900000	日本の文化と心		2	黒沢 洋一 他	月2	医学科1～4年次	旧主題科目IV
		AT900700	社会福祉援助論		2	細田 武伸 他	月2		旧主題科目II 旧名「社会福祉」
	人間と科学	M7100040	電磁気と生命		1	藤原 伸一	火1前半	検査技術科学専攻2年次	
		M7100016	環境と有機化学		1	高村 歩美	火1後半		
	人間と環境	AV900000	環境科学		2	恒川 篤史 他	月1・2	医学科1～4年次	旧主題科目V
	健康と生命	M7100014	カウンセリング		1	最上 多美子	月2前半	生命科学科2年次 保健学科2年次	
		M7100026	死生学		1	安藤 泰至	水1前半	看護学専攻4年次 検査技術科学専攻3年次	
	人文・社会分野	AS900100	東アジアの歴史と文化		2	藤原 順宣	月2	医学科1年次	旧主題科目II
		AR900500	生活と法律 刑法		2	岩井 和由	金2		旧主題科目II
		AR900600	芸術		2	筒井 宏樹	金2	医学科1～4年次	旧主題科目I
		AR900700	哲学・倫理学		2	未定	金2		旧主題科目I
		AR900400	心理学		2	兼子 幸一 他	月2	医学科2年次	
AR900800		英文学		2	和田 綾子	月2	医学科1～4年次		
AR100500		生命倫理学	1.2	2	尾崎 米厚	木3・4前半	医学科2年次		
AR900900		経営学入門		2	遠藤 彰	月2	医学科1～4年次	旧名「経済学入門」	
AR900300		生命倫理学	2.2	2	安藤 泰至	火1	生命科学科2年次		
AR100500		生命倫理	4.2				検査技術科学専攻2年次		
M7100051	臨床心理学		2	井上 雅彦 他	月1	生命科学科2年次 保健学科2年次			
自然分野	AJ030300	基礎生物学		2	渡邊 達生 他	火1後半 水1後半 金1後半			
	AJ014300	基礎物理学		2	亀山 道宏	水3・4後半	医学科1年次		
	AJ022300	基礎化学		2	木村 宏二	月3・4後半			
	AJ000300	基礎数学		2	井上 順子	火2			
	AS150100	保健統計学		2	網崎 孝志 他	月2	生命科学科2年次必修 保健学科2年次必修		
実験演習分野	AP490100	早期体験・ボランティア		1	黒沢 洋一	水1～4前半	医学科1年次		
	AP490200	ヒューマンコミュニケーションI		2	角南 直美 他	木1・2			
	AP490300	ヒューマンコミュニケーションII		1	角南 直美 他	火3・4前半	医学科2年次		
	AP451100	科学実験演習		1	萩野 浩 他	金3・4後半	看護学専攻1年次		

区分	全学 共通 科目 コード	授業科目 <small>クラス</small>	単位数		担当教員	曜時 日限	学科・専攻履修年次	備考	
			前	後					
外国語科目	英語	AP631100	コミュニケーション英語A	5	1	ウイルシャー ティモシー	火3	医学科1年次	
		AP631200	コミュニケーション英語B	5	1	〃	〃		
		AP631100	コミュニケーション英語A	5	2	ジアディーソン マーク	〃		
		AP631200	コミュニケーション英語B	5	2	〃	〃		
		AP631100	コミュニケーション英語A	5	3	青砥 ダイアン	〃		
		AP631200	コミュニケーション英語B	5	3	〃	〃		
	英語	M3110300	医療英語I		1	ウイルシャー ティモシー	火2	医学科2年次	
		M3110400	医療英語II		1	〃	〃		
		M3110300	医療英語I		1	戸野 康恵	〃		
		M3110400	医療英語II		1	〃	〃		
		M3110300	医療英語I		1	ジアディーソン マーク	〃		
		M3110400	医療英語II		1	〃	〃		
	英語	M7208001	応用英語I		1	景山 誠二 高橋 洋一	Iブロック金3 IIブロック月1 IIIブロック金2	医学科3年次	
		M7208002	応用英語II		1	〃	金1		
	英語	AP631600	総合英語I	5	1	ジアディーソン マーク	火4	生命科学科2年次	
		AP631700	総合英語II	5	1	〃	〃		
	英語	M7304024	医学英語I		1	ウイルシャー ティモシー	水4	生命科学科2年次	
		M7304025	医学英語II		1	〃	〃		
	英語	AP631600	総合英語I	5	2	戸野 康恵	火3	看護学専攻2年次	
		AP631700	総合英語II	5	2	〃	〃		
		AP631600	総合英語I	5	3	バルディ デイビット	〃		
		AP631700	総合英語II	5	3	〃	〃		
	英語	M7100054	医療英語I		1	ウイルシャー ティモシー	火1	看護学専攻3年次	
		M7100057	医療英語II		1	〃	月2		
		M7100054	医療英語I		1	ジアディーソン マーク	火1		
		M7100057	医療英語II		1	戸野 康恵	月2		
	英語	AP631600	総合英語I	5	5	青砥 ダイアン	木1	検査技術科学専攻2年次	
		AP631700	総合英語II	5	5	バルディ デイビット	木4前半・ 火2後半		
	英語	M7100054	医療英語I		1	戸野 康恵	火1	検査技術科学専攻3年次	
		M7100057	医療英語II		1	〃	〃		
	ドイツ語	AP700300	ドイツ語基礎I	5	1	山城 裕子	火4	医学科1年次	
		AP700400	ドイツ語基礎II	5	2	〃	〃		
フランス語	AP720300	フランス語基礎I	5	1	柳原 智子	火4	医学科1年次		
	AP720400	フランス語基礎II	5	2	〃	〃			
中国語	AT740300	中国語基礎I	5	1	要木 佳美	火4	医学科1年次		
	AT740400	中国語基礎II	5	2	〃	〃			
健康スポーツ科目	AP200100	健康スポーツ	5	5	加藤 敏明	金3・4	医学科1年次	バスケットボール	
		科学実技(前期)	5	6	三島 麻美	〃		エアロ&フィットネス	
			5	7	西村 正広	〃		卓球	
			5	8	白石 義光	〃		テニス	

※米子地区の講義室については、医学部のホームページから確認してください。
 アクセス：鳥取大学医学部ホームページ→学部生の皆様へ→学生授業スケジュール
 URL：http://education.med.tottori-u.ac.jp/gakubu/jyugyou_yotei/index.htm

3. 全学共通科目ナンバリング一覧表（米子地区）

<人文科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
哲学 (PHL)	基幹科目	人文・社会分野	哲学・倫理学	LPHL1004-G
	主題科目	健康と生命	死生学	LPHL1050
倫理学 (ETH)	基幹科目	人文・社会分野	生命倫理学	LETH1003
			生命倫理	LETH1004
心理学 (PSY)	基幹科目	人文・社会分野	心理学	LPSY1002
			臨床心理学	LPSY1003
	主題科目	健康と生命	カウンセリング	LPSY1052
芸術学 (ART)	基幹科目	人文・社会分野	芸術	LART1003-C
	主題科目	人間と文化	音楽と文化	LART1054
文学 (LIT)	基幹科目	人文・社会分野	英文学	LLIT1003
	主題科目	人間と文化	日本の文化と心	LLIT1050-C
歴史学 (HIS)	基幹科目	人文・社会分野	東アジアの歴史と文化	LHIS1003
言語学 (LIN)	主題科目	人間と文化	基礎手話	LLIN1053
	主題科目	人間と文化	医療手話	LLIN1054
社会学 (SOC)	主題科目	人間と文化	社会福祉援助論	LSOC1051

<社会科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
法学 (LAW)	基幹科目	人文・社会分野	生活と法律 刑法	LLAW1004
経営学 (MAN)	基幹科目	人文・社会分野	経営学入門	LMAG1001

<自然科学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
数学 (MAT)	基幹科目	自然分野	基礎数学	LMAT1009
			保健統計学	LMAT1010
物理学 (PHY)	基幹科目	自然分野	基礎物理学	LPHY1005
	主題科目	人間と科学	電磁気と生命	LPHY1053
化学 (CHE)	基幹科目	自然分野	基礎化学	LCHE1007
	主題科目	人間と科学	環境と有機化学	LCHE1055
生物学 (BIG)	基幹科目	自然分野	基礎生物学	LBIG1004
			生物学実験演習	LBIG1205
	主題科目	人間と環境	環境科学	LBIG1061-C
情報科学 (INF)	入門科目	情報リテラシ	情報リテラシ	LINF1000
情報科学 (INF)	入門科目	情報リテラシ	実践情報チュートリアル	LINF1003

<語学>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
英語 (ENG)	外国語科目	英語	コミュニケーション英語A	LENG1100A-G
			コミュニケーション英語B	LENG1100B-G
			医療英語 I (医学科2年)	LENG2101A
			医療英語 II (医学科2年)	LENG2101B
			応用英語 I	LENG3101A
			応用英語 II	LENG3101B
			総合英語 I	LENG2100A-G
			総合英語 II	LENG2100B-G
			医学英語 I	LENG2102A
			医学英語 II	LENG2102B
フランス語 (FRA)	外国語科目	フランス語	フランス語基礎 I	LFRA1100A-G
			フランス語基礎 II	LFRA1100B-G
ドイツ語 (GER)	外国語科目	ドイツ語	ドイツ語基礎 I	LGER1100A-G
			ドイツ語基礎 II	LGER1100B-G
中国語 (CHN)	外国語科目	中国語	中国語基礎 I	LCHN1100A-G
			中国語基礎 II	LCHN1100B-G

<健康スポーツ科学>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
健康スポーツ (HEA)	健康スポーツ科目	健康スポーツ科学実技	LHEA1100

<米子地区開講科目（一部）>

分野	科目区分		科目名称	ナンバリング
米子地区 基幹実験演習 (MED)	基幹科目	実験演習分野	早期体験・ボランティア	LMED1300-C
			ヒューマンコミュニケーション I	LMED1301A-C
			ヒューマンコミュニケーション II	LMED2301B-C
			科学実験演習	LMED1203

<学問分野に分類できない科目>

分野	科目区分	科目名称	ナンバリング
その他 (OTH)	入門科目	大学入門ゼミ	LOTH1100
		キャリア入門	LOTH1002

4. 地域志向科目（米子地区）

地域志向科目は、社会の未来を切り開こうとする人材を育成することを目標とし、具体的には、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む科目で構成されています。

授業科目名	担当教員	全学共通科目 科目区分		単位数	
				前	後
ヒューマンコミュニケーション I	角南 直美 他	基幹科目	実験演習分野	2	
ヒューマンコミュニケーション II	角南 直美 他	基幹科目	実験演習分野		1
基礎手話	海藤 俊行 他	主題科目	人間と文化	2	
医療手話	海藤 俊行 他	主題科目	人間と文化		2
芸術	筒井 宏樹	基幹科目	人文・社会分野		2
日本の文化と心	黒沢 洋一 他	主題科目	人間と文化	2	
環境科学－乾燥地科学－	恒川 篤史 他	主題科目	人間と環境	2	
社会福祉援助論	細田 武伸 他	主題科目	人間と文化		2
経営学入門	遠藤 彰 他	基幹科目	人文・社会分野	2	
早期体験・ボランティア	黒沢 洋一	基幹科目	実験演習分野	1	

Ⅲ-3 . 農学部共同獣医学科

1. 履修案内
2. 平成31年度一般教養科目授業時間割表（抄）
3. 平成31年度一般教養科目開設一覧表

1. 履修案内

1. はじめに

『平成31年度全学共通科目履修案内』は、入学者の一般教養科目の履修手続に関する内容を記載したものです。本冊子は卒業するまで使用しますので、紛失しないよう大切に取扱ってください。

(1) 履修手続の流れ

授業科目の履修は授業科目履修手続日程 (p.1) のとおり行います。前期、後期の指定された期間に必要な手続を取ってください。(抽選制度については p.12 を参照してください。)

また、成績発表等の日程は掲示等でお知らせしますので、適宜掲示板を確認してください。

(2) 学期と学年暦

1年は前期・後期の2期に分かれ、各期15週から成ります。前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなります。詳細は毎年の学年暦で決められており、平成31年度は p.2 のとおりです。巻末 (p.115) に七曜表を掲載していますので、併せて確認してください。

(3) 授業時間、単位と必要な学習時間

① 授業時間

授業は月曜日から金曜日まで行われます。1日は1時限から5時限まで行われ、1時限は通常90分を基本とします。1日の授業時間は次のとおりです。

区分	授業時間
1時限	8:45~10:15
2時限	10:30~12:00
3時限	13:00~14:30
4時限	14:45~16:15
5時限	16:30~18:00

② 単位制度

全ての授業科目には、学修時間に応じて単位数が設定されています。1単位の授業科目を修得するためには45時間の学修時間が必要とされ、学修時間には、大学の講義室等で行われる授業時間だけでなく、自習時間(予習・復習等)も含まれます。

本学では、授業の形態に応じて、1単位当たりの授業時間を以下のように定めています。

- | | |
|-------------------------------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習及び全学共通科目の実技 | 30時間 |
| (3) 実験、実習及び実技 (一般教養科目の実技を除く。) | 45時間 |

主な授業科目の1単位あたりの授業時間と自習時間の関係は、次のようになります。

授業の形態	学習時間		
	授業時間	自習時間	合計
講義	15時間	30時間	45時間
演習及び一般教養科目の実技 (例：外国語科目、健康スポーツ科目)	30時間	15時間	45時間
実験、実習及び実技 (一般教養科目の実技を除く)	45時間	0時間	45時間

*授業時間は、1コマ90分の授業を2時間と見なします。

(4) 科目ナンバリング制度

鳥取大学では、授業科目に適切な番号を付し分類する「科目ナンバリング」を導入しています。科目ナンバリングにより各科目の分野や対象学年(水準)等を整理し、教育課程をより体系的に理解することが

できます。履修科目を選択する際などに活用してください。

詳細については p. 4-5 を参照してください。

(5) シラバス

「シラバス」(syllabus)とは開設科目に関する授業計画のことで、担当教員の情報や、「授業科目の目的・概要」、「達成目標」、「授業のレベル」、「授業の形式」、「教科書・参考書」、「成績評価の方法・基準」といった授業科目の基本事項、全授業実施回の「授業内容」、「予習・復習内容」などを示したものです。履修科目を選択するときや、授業科目を受講する前に、必ず確認するようにしてください。また授業開始後も、各回の授業内容や、予習・復習事項を確認するため、積極的に活用してください。

シラバスは「鳥取大学ホームページ」→「在学生の方へ」→「シラバス」→「シラバス検索画面へ」で確認することができます。

URL http://syllabus.adm.tottori-u.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on

2. 一般教養科目の履修計画の立て方

① 教育課程表

「全学共通科目に関する細則」の別表第5「一般教養科目教育課程表(p. 42)には、どの学年・学期にどの科目区分からどの授業科目を履修するか、また卒業までにどの科目区分からいくつの単位を履修するか示されています。

② 授業時間割表

どの曜日・時限にどの科目区分の授業科目を履修するかは、「一般教養科目授業時間割表」(p. 99)に示されています。

③ 開設一覧表

どの曜日・時限にどの授業科目を選択できるか、あるいはどのクラスで登録するかは、「一般教養科目開設一覧表」(p. 100-106)に示されています。なお、本冊子に掲載されているものは平成31年度のもので、年度によって開設科目の種類・担当教員が異なりますので注意してください。

3. 一般教養科目の科目区分及び履修方法

一般教養科目は「大学教育導入科目群」「人文・社会科学科目群」「自然科学科目群」「複合領域科目群」「外国語科目群」の五つの教育科目に区分されています。これらの教育科目の目標と構成は、それぞれ次のとおりです。

(1) 大学教育導入科目群

大学教育導入科目群は、自ら課題を発見し、探求するという大学教育に必要な学習態度・能力を養うとともに、幅広い総合的な判断力を培い、かつ豊かな人間性を涵養することを目的としています。加えて、獣医学専門教育を開始する準備としての教育を実施します。

大学教育導入科目群には、「大学入門ゼミ」、「大学教育導入演習Ⅰ」、「大学教育導入演習Ⅱ」「教養基礎力養成演習」の四つの科目があります。

大学入門ゼミ

鳥取大学における学修及び生活上のルール、共同獣医学科における学びの特色のほか獣医学のトピックスを講義します。獣医学の多様性にふれることにより経験力を、熟考することを通して持続力を、レポート作成を通してプレゼンテーション力(表現力、記述能力)を身につけることができます。

大学教育導入演習Ⅰ及び大学教育導入演習Ⅱ

大学教育導入演習Ⅰでは、学生移動型合宿式授業として、岐阜大学の学生と合同で、鳥取大学及び大山青年の家において、産業動物及び家畜衛生関連施設を使った体験学習を実施します。大学教育導入演習Ⅱでは、学生移動型合宿式授業として、岐阜大学の学生と合同で、岐阜大学及び栗東トレーニングセンター競走馬診療所

において実習を行います。また、同時に各大学の教員が、獣医学の多様性と獣医師の社会的役割について概説し、獣医学の全貌を理解させます。

教養基礎力養成演習

教養基礎力養成演習では、少人数を対象とした個別指導教育により、高等教育の基礎的な能力である「コミュニケーション能力、文章作成能力、プレゼンテーション能力、論理的思考力、倫理観、動物福祉」について徹底的に学習します。この学習により自学自習法を身に付けることも目標とします。

(2) 人文・社会科学科目群

人文・社会科学の基本的な学問領域について、客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、人文・社会科学の発想方法・思考能力を養います。

具体的には、哲学・倫理学・現代思想、教育学、心理学、芸術・芸術学、文学・言語学、法学・政治学・社会学、経済学・経営学、歴史学・地理学に関して、全学共通の講義が開設されます。

また、抽選制度が適用され履修できる科目数に上限を設けています。(p.95を参照)

(3) 自然科学科目群

自然科学の基本的な学問領域について、客観的・学術的な基礎知識を学ぶとともに、自然科学的な発想方法・思考能力を養います。

具体的には、数学・物理学・化学・生物学・地学に関して、全学共通の講義が開設されます。

自然科学科目群の履修方法

- ◎ 下記の授業科目から12単位以上(6科目)を1年次から2年次までに修得します。一般教養科目履修登録上限科目数に含まれます。

教科区分	期別	授業科目	備 考
数 学	前期	解析学教程Ⅰ	「解析学教程Ⅰ」は必修科目となります。必ず修得してください。
	後期	代数学入門	
		解析学教程Ⅱ	
物理学	前期	物理学入門Ⅰ	「物理学入門Ⅰ」は必修科目となります。必ず修得してください。
	後期	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－	
化 学	前期	化学Ⅰ	「化学Ⅰ」は必修科目となります。必ず修得してください。 なお、前期「化学Ⅰ」を履修しないと後期「化学Ⅱ」は履修できません。
	後期	化学Ⅱ	
		化学Ⅲ	
生物学	前期	生物学ⅠA	「生物学ⅠA」は必修科目となります。必ず修得してください。
		脳の世紀 －脳・心・病気－	
		分類・生態から分子まで：昆虫学入門	
	後期	生物学ⅡA	
地 学	前期	地球科学(地質・地形・固体地球物理学の基礎)	卒業に必要な単位は2単位(1科目)までとします。
	後期	地球科学(新しい地球観の基礎)	

(4) 複合領域科目群

複合領域科目群では、人間・社会・自然の事象に関する個別的・具体的な学問領域について、人文・社会科学科目群及び自然科学科目群よりもさらに先端的・発展的な知識・技能を修得するとともに、複眼的・学際的な発想方法・思考態度を身につけ、また人間社会や自然環境の多様なあり方に対する理解・知見を深めることによって、現代的・人類的な課題を主体的・批判的に発見・探求する能力を育成します。また、人文・社会科学科目群及び自然科学科目群では開設できない複合的な学問領域や先端的な研究成果、かつ鳥取大学の学生として学ぶことが望ましい社会的・現代的な事柄・問題について、学術的な知識・技能や様々な世界観・人生観を修得するとともに、自らの将来を設計するキャリア形成力や社会生活を営む上で必要な倫理観を養うことによって、自らの学び方・生き方を積極的・創造的に考える力を育成します。

また、抽選制度が適用され履修できる科目数に上限を設けています。(p.95を参照)

「健康スポーツ科学実技」、「情報リテラシ」及び「キャリア入門」は指定クラスで履修しますので、一般教養科目履修登録上限単位数には含みません。

「健康スポーツ科目」の詳細については(p.18-19)を参照してください。

一般教養科目の抽選制度について

一般教養科目の授業科目は定員として受入人数を設定しているため、受入人数を超過する履修希望があった場合、無作為の抽選によって受講者を決定します。ただし例外として、「集中講義」として開設される科目、及び教養科目の一部の科目は、抽選制度が適用されません。

a. 手順

まず時間割表(p.99)にしたがって、履修を希望する曜日・時限を選択してください。選択できる曜日・時限の数は登録上限単位数内です。

次に開設一覧表(p.100-106)に従って、選択した曜日・時限の開設科目一覧から、希望する授業科目を選択してください。最大で第3希望まで指定することができます。

b. 登録方法

抽選登録、抽選結果の確認は、各自が学務支援システムにログインして行います。ただし**1年生の前期**については、「抽選カード」の提出によって登録を行います。抽選結果は4月8日(月)の学部別オリエンテーションで配布する時間割で開示します。抽選カードへの記入は、HB黒鉛筆又はシャープペンシルを使用し、丁寧かつ汚損のないよう記入してください。記入ミスによりエラーが生じた場合、科目の登録ができませんので、記入には注意してください。記入ミスではありませんが、履修登録上限単位数(p.95)を超えた場合や希望順位を重複して記入した場合もエラーとなります。

c. 追加登録

なお、希望した科目が抽選で外れた場合、以下の方法(前期・後期で異なります)で追加登録の手続きをとってください。**前期**は4月9日～10日(各日16時30分～17時30分)に共通教育棟C21講義室で、登録可能な科目の中から追加登録の手続きを行います。追加登録は先着順で受け付けます。**後期**は別途掲示にて指示します。

平成31年度前期一般教養科目抽選制度日程(p.1参照)

4月1日(月) 全学共通科目説明会で教養科目抽選カード等を配布

3日(水) 抽選カード提出(9:00～17:00)(時間厳守)
提出場所 共通教育棟C21講義室

8日(月) 学部別オリエンテーションで「時間割」を配布。

この時間割には、「大学入門ゼミ」「情報リテラシ」「キャリア入門」「教養科目の抽選結果(当選科目のみ)」「コミュニケーション英語A」「コミュニケーション英語B」「初修外国語(英語以外の外国語科目)」「健康スポーツ科学実技(前期受講者のみ)」が記載されています。

一般教養科目履修登録上限単位数

学部・学科		年次	区分	前期	後期	計
農学部	共同獣医学科	1	人文・社会科学科目群	8	10	18
			複合領域科目群			
			自然科学科目群			
		2	人文・社会科学科目群	8	12	20
			複合領域科目群			
			自然科学科目群			
		3	人文・社会科学科目群	2	4	6
			複合領域科目群			
			自然科学科目群			
		4	人文・社会科学科目群	2	4	6
			複合領域科目群			
			自然科学科目群			

(5) 外国語科目群

今日のグローバル化社会に対応するために、専門教育科目の学習や英語コミュニケーションに必要な英語力を習得するとともに、英語以外の新たな外国語を学ぶことによって多様な異文化に接して、国際感覚豊かな人材となることを目的としています。

外国語科目には、「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」及び「スペイン語」が開設されています。

「外国語科目」の詳細については (p.13-17) を参照してください。

(6) 日本語・日本事情に関する科目 (外国人留学生のみ履修可能)

日本語及び日本事情に関する科目は、外国人留学生のために開設しています。外国人留学生が、この授業科目を履修して修得した単位は、定められた範囲内で、日本語は外国語科目に、日本事情は人文・社会科学科目群及び複合領域科目群の単位に代えることができます。(p.44, 81 を参照)

詳細については (p.19-20) を参照してください。

4. 履修上の注意事項

① 一般教養科目履修登録上限単位数

本学では、教養科目の抽選制度に含まれる科目について、学部、学科、学年、期別に履修登録できる単位数を設定しています。

なお、「集中講義」として開設される教養科目は履修登録上限単位数に含まれません。

② 授業クラスの指定

一部の一般教養科目では、履修上の混乱をさけるため、指定されている授業クラス以外での受講は原則として認めません。

なお、一般教養科目開設一覧表・授業時間割表 (p.100-106) によって各学部・学科別に指定された授業科目以外の科目を履修しようとするときには、その担当教員の許可を得ることになっています。手続については、農学部教務係に確認してください。

③ 二重履修の禁止

同一期、同一曜日の同一時間に開設されている授業科目を、2科目以上(専門教育科目も含む。)同時に履修することはできません。

④ 同一名称の授業科目

前期・後期とも同じ名称の授業科目には、履修条件が異なるものがありますので、注意してください。誤って履修すると、単位を修得できなくなる場合があります。詳細は p.22 のとおりです。

⑤ 固有の履修条件を定めている授業科目

授業科目には固有の履修条件を定めているものがあります。固有の履修条件があるかどうかは、一般教養科目の開設一覧表 (p.100-106) の「備考欄」、及び各授業科目の「シラバス」であらかじめ確認してください。

⑥ 掲示

一般教養科目の授業実施等に関する学生への連絡・伝達事項は共通教育棟の学生掲示板で通知します。一日に一度は必ず見るようにしてください。連絡事項を見落とすと修学上あるいは学生生活等で不利益を被ることがありますので、十分注意してください。

なお、学生掲示板の位置については、巻末の共通教育棟配置図 (p.109-113) を参照してください。

⑦ 授業中のマナー

詳細については p.22 を参照してください。

5. 授業の欠席

詳細については p.23 を参照してください。

6. 試験

試験は履修手続きをした授業科目について、前期・後期の第15週又は第16週（一部の授業科目は第8週）に行われます。（クォーター制で実施する授業科目については授業実施クォーターの最終週に行われます。）しかし、授業担当教員によっては、各期中途に実施する小テストやレポート等を試験の代わりとする場合もあるので注意してください。

各科目の成績評価方法と基準については、シラバスに記載（学務支援システムでシラバスを参照）していますので必ず確認してください。

① 定期試験

定期試験は、通常の前期・後期の授業終了後に実施されます。所定の時期に試験期間が設けられ、その1週間前に試験時間割が発表されます。

定期試験は履修手続きをした授業科目についてのみ受験することができますが、遅刻した場合には受験は認められません。試験における注意事項は、p.49 に記載していますので確認ください。

② 追試験

追試験は、原則として行いませんが、本人の病気、交通事故、災害等によって受験できない場合及び忌引（2親等以内）の場合に限り、追試験願を提出することで追試験を受けることが認められます。ただし、本人の不注意によって定期試験を受けなかった場合は、追試験を受ける資格はありません。

追試験願は、各学部の単位認定規程等で定める期間内に、所属学部長へ提出してください。この期間を過ぎると追試験願は受理しませんので、追試験を受けようとする者は、期限に遅れないよう注意してください。

なお、追試験を願い出る際には、病気の場合は診断書、その他の場合は証明できる書類等が必要です。

追試験願の用紙は、農学部教務係で受け取ってください。

③ 再試験

一般教養科目の再試験は、原則として行いません。

④ 不正行為

試験において不正行為を行った場合は、鳥取大学単位認定規則第7条 (p.43) に規定しているとおり当該期

の受講科目すべての単位（一般教養科目及び専門教育科目）は認められません。

試験での不正行為により当該期の単位はすべて認定されませんが、その履修歴は登録されたものとして取り扱います。（したがってGPAは下がります。p. 25 を参照）

7. 成績

① 成績の評価（成績評価基準）

詳細については p. 24 を参照してください。

② 成績評価の疑義申立制度

一般教養科目の成績評価に疑義がある場合は、教育支援課に成績評価確認願を提出し、授業担当教員に申立てすることができます。

申立て可能な期間については、成績公開後の1週間に限定されます。詳細は教育支援課窓口で確認してください。

③ GPA制度

詳細については p. 25 を参照してください。

④ 学期の途中で休学した学生の履修歴

学期の途中で休学した学生の履修歴については、当該学期の単位が認定されないため、履修歴もなかった事として取り扱います。

ただし、休学が許可される前に集中実施により単位が認められた科目については、修得単位も認め、履修歴も認めます。

8. 既修得単位の認定

本学に入学した者のうち、大学・短期大学を卒業又は退学した者について、既に当該大学において修得した単位のうち、一般教養科目の単位について本学において修得したものとして認定されることがあります。

単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の所定の期日までに、既修得単位認定願に成績証明書等を添えて農学部教務係に提出してください。

9. 他大学の授業科目履修及び大学以外の教育施設等における学修の単位認定

詳細については p. 26を参照してください。

10. 教育職員免許状の取得

教育職員免許状は取得できません。

11. グローバル教育プログラム

鳥取大学は豊かなグローバルマインドを根底として、グローバル人間力、グローバルリテラシー、グローバルコミュニケーション力を基礎能力とするグローバルマネジメント能力とタフで健全な心身を有し、深い専門知識（理論）と高い技術力（実践力）を体系的に修得することにより、進展しつつあるグローバル社会の中核として活躍できる人材の育成を目指します。

グローバル教育に関する授業科目を「グローバル教育科目群」として体系的に位置づけ、教養教育の中では学生が基本的な国際通用性を身につけるため「グローバル教育基礎科目群」を設置します。

また、本学の特色でもある短期、中期的な海外派遣による実践的教育プログラムを「海外実践教育に関する科目」として開設します。

詳細については p. 26 を参照してください。

12. 全学生向け選択必修科目「地域志向科目」と 選択科目「地方創生推進科目」について

近年、我が国は急激な少子高齢化及び中山間地の過疎化の進行、地域の活力やコミュニティの衰退、経済のグローバル化による産業の空洞化など様々な課題に直面しています。また、都市と地方の格差が拡大し、地域社会を持続的に発展させていくことが極めて難しい状況になっています。

そのような状況を打開するため、大学にはこれまでに積み重ねてきた教育研究の実績をふまえ、自らの人生と社会の未来を主体的に切り開く能力を備えた人材の育成、地域課題の解決に資する教育研究の推進等を一層充実させることが求められています。

そのため、本学では、社会の未来を切り開こうとする人材の育成を目指して、地域を知り、地域の課題を発見し、解決策を提案し、実践に取り組む「地域志向科目」を平成27年度から開設しています。

地域志向科目（平成29年度以降入学生の選択必修科目、p.84参照）

平成29年度以降に入学したすべての学生は、所属学部に関わらず地域志向科目群から少なくとも1科目を選択し履修して下さい。この科目群は

- 基礎科目 地域や社会の特性や課題、日本文化などを学ぶ科目
- 臨地科目 実際に地域に臨み、より具体的な地域課題を学ぶ科目
- 実践科目 課題解決や実践に取り組む科目

から構成されます。

地域志向科目は、各学部開設される地域を志向した専門教育に接続します。選択必修として必要な1科目も含め、地域志向科目の単位は所属学部、学科が認める範囲内において卒業に必要な単位として認定されます。それについては、履修する科目の科目区分を確認の上、履修案内の一般教養科目教育課程表（p.42）を参照してください。皆さんの興味・関心、今後の目標などを見据え、積極的に履修してください。

2. 平成31年度一般教養科目授業時間割表（抄）

農学部 共同獣医学科

曜日	年次	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限
月	1		人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 (化学I) ●自然科学科目群 ○複合領域科目群	ドイツ語基礎Ⅰ・Ⅱ フランス語基礎Ⅰ・Ⅱ 中国語基礎Ⅰ・Ⅱ 韓国語基礎Ⅰ・Ⅱ スペイン語基礎Ⅰ・Ⅱ	○情報リテラシ	(○教養基礎科目)
	2		○人文・社会科学科目群 ○複合領域科目群	○複合領域科目群		
	3					
火	1		人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 (化学I) ●自然科学科目群 ●複合領域科目群	○大学入門ゼミ ●実践英語A・B	健康スポーツ科学実技	(○教養基礎科目)
	2		人文・社会科学科目群 ●自然科学科目群 ●複合領域科目群			
	3					
水	1	○コミュニケーション英語B	人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 (化学I) ●自然科学科目群 ●複合領域科目群			○人文・社会科学科目群 (○教養基礎科目)
	2		人文・社会科学科目群 ●複合領域科目群 自然科学科目群			
	3					
木	1	人文・社会科学科目群 ○自然科学科目群 (物理学入門I) ●自然科学科目群 複合領域科目群	○キャリア入門 ●自然科学科目群		○自然科学科目群 (解析学教程Ⅰ) ●教養基礎力養成演習	(○教養基礎科目) ●複合領域科目群
	2		総合英語Ⅰ・Ⅱ		○自然科学科目群 (解析学教程Ⅰ)	●複合領域科目群
	3					
金	1	○コミュニケーション英語A ●実践英語A・B		○自然科学科目群 (生物学Ⅰ)		(○教養基礎科目)
	2					
	3					

○印は前期開設科目、●印は後期開設科目、印無しは前期と後期の開設科目を示す。

大学教育導入科目群、自然科学科目群、外国語科目群及び複合領域科目群の一部については、科目名を記載。

集中講義：大学教育導入科目群（1年次：大学教育導入演習Ⅰ、2年次：大学教育導入演習Ⅱ）

(○教養基礎科目)については、正課外科目であり、単位の認定は行わない。

3. 一般教養科目開設一覧表

前期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

月曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1059	芸術入門	01	2	筒井 宏樹、 木野 彩子	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 130 人)	人文
	AR1059	芸術入門	03	2	筒井 宏樹、 木野 彩子	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 130 人)	人文
	AR1037	政治学	01	2	永山 正男 (非)	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数 120 人)	人文
	AA1803	経済学	01	2	永松 利文	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数 120 人)	人文
自然科学科目群	AS1201	化学 I	01	2	木瀬 直樹	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 120 人)	自然

月曜日 3 時限

複合領域科目群	AF5201	健康と疾病		2	萩野 浩 他	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 100 人)	健康
	AT0010	健康科学と応急手当		2	西村 正広	武道場他	抽選科目 (受入人数 30 人)	健康
	AA1804	くらしの経済・法律講座		2	藤田 安一 (非) 鳥取県連携講座	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 200 人) 公開授業講座 (一般市民 100 人)	文化
外国語科目群	AP7003	ドイツ語基礎 I	05	1	廣瀬 ゆう子	共 B 3 1	受講クラスは時間割 (4 月 8 日 (月) の学部オリエンテーションで受け取る) に記載してありますので、各自講義室に行くこと	外国語
	AP7003	ドイツ語基礎 I	06	1	山城 裕子	共 E 4 1		
	AP7203	フランス語基礎 I	01	1	柳原 智子	共 D 3 2		
	AP7403	中国語基礎 I	11	1	要木 佳美	共 D 3 3		
	AP7403	中国語基礎 I	12	1	廖 汝幸	共 B 2 1		
	AP7505	韓国語基礎 I	06	1	鄭 然旭	共 A 3 2		
	AP7603	スペイン語基礎 I	01	1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	共 C 5 1		
AP7603	スペイン語基礎 I	02	1	クラビオト グラシエラ	共 A 3 1			

月曜日 4 時限

複合領域科目群	AG2001	情報リテラシ	18	2	大森 幹之	共 D 4 2	授業に持参するもの ・ノートパソコン ・LANケーブル 忘れた場合の貸出は行いません	入門
---------	--------	--------	----	---	-------	---------	---	----

※ 授業科目名に ★ の付された科目は平成 27 年度以降の入学生のみ履修可能。

前期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

火曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1060	文学	01	2	岡村 知子、 和田 綾子	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 5 人)	人文
	AR1050	憲法学	01	2	佐藤 匡	地 5 1 6 0	抽選科目 (受入人数 2 0 0 人)	人文
	AA1803	経済学	03	2	能美 誠	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AR1068	経営システム論 ★		2	馬場 芳	共 C 5 1	抽選科目 (受入人数 8 0 人) 「経営戦略論」修得者は履修不可	人文
	AR1063	歴史学	01	2	武田 元有 他	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 2 5 0 人)	人文
自然科学科目群	AS1201	化学 I	03	2	木瀬 直樹	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	自然

火曜日 3 時限

大学教育 導入科目群	AG1001	大学入門ゼミ	11	2	村瀬 敏之	農 4		入門
---------------	--------	--------	----	---	-------	-----	--	----

火曜日 4 時限

複合領域 科目群	AP2001	健康スポーツ科学実技	01	1	瀬戸 邦弘	野球場	ソフトボール	健スポ
	AP2001	健康スポーツ科学実技	02	1	西村 正広	テニスコート	テニス	
	AP2001	健康スポーツ科学実技	03	1	澤 晶子	トレーニングルーム	エアロ&フィットネス	

水曜日 1 時限

外国語 科目群	AP6312	コミュニケーション 英語 B	69	1	和田 綾子	共 C 3 2		外国語
------------	--------	-------------------	----	---	-------	---------	--	-----

水曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1059	芸術入門	05	2	佐々木 友輔、 内藤 久子	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 1 3 0 人)	人文
	AR1059	芸術入門	07	2	佐々木 友輔、 内藤 久子	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数 1 3 0 人)	人文
	AR1060	文学	03	2	久保 堅一、 和田 綾子	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数 1 2 5 人)	人文
	AR1050	憲法学	03	2	佐藤 匡	地 5 1 6 0	抽選科目 (受入人数 2 0 0 人)	人文
	AR1037	政治学	03	2	永山 正男 (非)	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AA1803	経済学	05	2	多田 憲一郎	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
自然科学 科目群	AS1401	地球科学 (地質・地形・固体 地球物理学の基礎)		2	塩崎 一郎 他	共 C 3 2	抽選科目 (受入人数 8 0 人)	自然
	AS1201	化学 I	05	2	南条 真佐人	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	自然
	AT4016	分類・生態から分子まで : 昆虫学入門		2	中 秀司	共 C 2 2	抽選科目 (受入人数 1 0 0 人)	環境
	AF5103	脳の世紀 一脳・心・病氣一		2	兼子 幸一 他	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数 1 0 0 人)	環境

前 期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

水曜日 5 時限

人文・社会科学科目群	AT5001	海外安全マネジメント ★ 01	2		竹田 洋志 他	共 C 2 1	海外渡航予定者は渡航前に取得することが望ましい。また、本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるので募集条件等よく確認すること。 (抽選履修対象外。受入人数40人。)	世界
複合領域科目群	AT5032	地域創生入門 ★ 01	2		谷本 圭志 他	共 C 5 1	抽選科目(受入人数100人) 「地域社会づくりの最前線Ⅰ」、「地域社会づくりの最前線Ⅱ」修得者は履修不可	世界

木曜日 1 時限

人文・社会科学科目群	AT1016	20世紀史Ⅰ	2		武田 元有	共 D 2 2	抽選科目(受入人数30人)	人文
	AT5001	海外安全マネジメント ★ 03	2		竹田 洋志 他	共 C 2 1	海外渡航予定者は渡航前に取得することが望ましい。また、本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるので募集条件等よく確認すること。 (抽選履修対象外。受入人数40人。)	世界
複合領域科目群	AT0002	医学と生命科学	2		堀 直裕 他	共 D 3 1	抽選科目(受入人数100人)	健康
	AT2024	未来を拓く先端化学	2		南条 真佐人 他	共 E 3 1	抽選科目(受入人数100人)	科学
	AF0202	ウェルネスとシェイプアップ 01	2		加藤 敏明	共 D 2 1	抽選科目(受入人数80人)	健康
自然科学科目群	AS1101	物理学入門Ⅰ 03	2		安藤 由和	共 C 3 1	抽選科目(受入人数100人)	自然

木曜日 2 時限

複合領域科目群	AG3001	キャリア入門 10	2		長尾 博暢 他	共 E 5 1		入門
外国語科目群	AP6316	総合英語Ⅰ 06	1		マスイ デボラ	共 D 3 2	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを記載しています。各自がクラスを確認のうえ、前期・後期とも同じクラス番号で受講してください。	外国語
	AP6316	総合英語Ⅰ 07	1		大谷 ショーン	共 A 3 1		
	AP6316	総合英語Ⅰ 08	1		福安 勝則	共 B 2 1		
	AP6316	総合英語Ⅰ 09	1		和田 綾子	共 A 3 2		
	AP6316	総合英語Ⅰ 10	1		中尾 雅之	共 C 2 2		
	AP6316	総合英語Ⅰ 11	1		長柄 裕美	共 C 4 1		

※ 授業科目名に ★ の付された科目は平成27年度以降の入学生のみ履修可能。

前 期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

木曜日 4 時限

自然科学科目群	AS1001	解析学教程 I		2		後藤 和雄	共 E 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	自然
---------	--------	---------	--	---	--	-------	---------	---------------------	----

金曜日 1 時限

外国語科目群	AP6311	コミュニケーション英語 A	13	1		谷本 ジャスミン	共 B 3 1	受講クラスは時間割 (4月8日 (月) に学部オリエンテーションで受け取る) に記載してありますので、各自講義室に行くこと	外国語
	AP6311	コミュニケーション英語 A	14	1		マスイ デボラ	共 D 3 2		
	AP6311	コミュニケーション英語 A	15	1		バンヴィル ショーン	共 A 3 2		
	AP6311	コミュニケーション英語 A	16	1		フェルナンデス クリスティアン	共 E 4 3		
	AP6311	コミュニケーション英語 A	17	1		甲斐 秀子	共 A 3 1		

金曜日 3 時限

自然科学科目群	AS1301	生物学 I A	01	2		竹内 崇師	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 0 0 人)	自然
---------	--------	---------	----	---	--	-------	---------	---------------------	----

集中講義 (前期)

大学教育導入科目群	AG4001	大学教育導入演習 I		1		菱沼 貢, 日笠 喜朗			入門
	AG4002	大学教育導入演習 II		1		保坂 善真			入門
人文・社会科学科目群	AR1057	哲学・倫理学	01	2		未定			人文
	AR1057	哲学・倫理学	03	2		未定			人文
	AA0104	心理学	01	2		清河 幸子 (非)			人文
	AR1037	政治学	05	2		鶴谷 将彦 (非)			人文
	AT5001	海外安全マネジメント ★	05	2		竹田 洋志 他		6/22、6/29、7/6、7/13 (予定) 海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。 (抽選履修対象外科目)	世界
複合領域科目群	AT5032	地域創生入門 ★	03	2		谷本 圭志 他		「地域社会づくりの最前線 I」、「地域社会づくりの最前線 II」修得者は履修不可。	世界

※ 授業科目名に ★ の付された科目は平成 2 7 年度以降の入学生のみ履修可能。

後 期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

月曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1057	哲学・倫理学	02		2	未定	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AR1060	文学	02		2	久保 堅一、 松本 雅弘	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 5 人)	人文
	AR1037	政治学	02		2	塩沢 健一	共 E 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AA1803	経済学	02		2	永松 利文	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
自然科学科目群	AS1007	代数学入門			2	井上 順子	共 A 3 3	抽選科目 (受入人数 4 0 人)	自然
	AS1104	物理学入門Ⅱ －基礎電磁気学－			2	藤原 伸一	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数 7 0 人)	自然
	AS1202	化学Ⅱ	02		2	木瀬 直樹	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	自然

月曜日 3 時限

外国語科目群	AP7004	ドイツ語基礎Ⅱ	05		1	廣瀬 ゆう子	共 B 3 1	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを記載しています。各自がクラスを確認のうえ、前期・後期とも同じクラス番号で受講してください。	外国語
	AP7004	ドイツ語基礎Ⅱ	06		1	山城 裕子	共 E 4 1		
	AP7204	フランス語基礎Ⅱ	01		1	柳原 智子	共 D 3 2		
	AP7404	中国語基礎Ⅱ	11		1	要木 佳美	共 D 3 3		
	AP7404	中国語基礎Ⅱ	12		1	廖 汝幸	共 B 2 1		
	AP7506	韓国語基礎Ⅱ	06		1	鄭 然旭	共 A 3 2		
	AP7604	スペイン語基礎Ⅱ	01		1	アベ デ ヤマダ マリア ルイサ	共 C 5 1		
	AP7604	スペイン語基礎Ⅱ	02		1	クラビオト グラシエラ	共 A 3 1		

火曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1057	哲学・倫理学	04		2	未定	共 E 3 2	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AR1028	教育社会学			2	児島 明	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AA0104	心理学	02		2	田中 大介	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 1 5 0 人)	人文
	AR1059	芸術入門	02		2	石谷 孝二 (非)、 新倉 健 (非)	共 D 2 1	抽選科目 (受入人数 1 3 0 人)	人文
	AR1059	芸術入門	04		2	石谷 孝二 (非)、 新倉 健 (非)	共 D 3 1	抽選科目 (受入人数 1 3 0 人)	人文
	AR1050	憲法学	02		2	丸 祐一	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 2 0 5 人)	人文
	AA1803	経済学	02		2	能美 誠	共 E 4 3	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	自然科学科目群	AS1202	化学Ⅱ	04		2	南条 真佐人	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)
AS1404		地球科学 (新しい地球観の基礎)			2	塩崎 一郎 他	共 D 3 3	抽選科目 (受入人数 8 0 人)	自然
複合領域科目群	AS1405	初心者のためのコンピュータプログラミング入門			2	井上 仁	メディアセンター コンピュータ 演習室1	抽選科目 (受入人数 3 0 人)	科学
	AT3011	スポーツ生理学入門			2	関 耕二	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数 8 0 人)	健康

後 期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

火曜日 3 時限と金曜日 1 時限 (第 3 Q)

外国語科目群	AP6314	実践英語 A	07	1	マスイ デボラ	共 D 3 3	学務支援システムの個人時間割に履修するクラス及び講義室を指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	外国語
	AP6314	実践英語 A	08	1	バンヴィル ショーン	共 A 3 1		
	AP6314	実践英語 A	09	1	滝波 稚子	共 B 2 1		
	AP6315	実践英語 B	40	1	フェルナンデス クリスティアン	共 E 4 3		
	AP6315	実践英語 B	41	1	甲斐 秀子	共 C 3 2		
	AP6315	実践英語 B	42	1	福安 勝則	共 C 2 2		

火曜日 3 時限と金曜日 1 時限 (第 4 Q)

外国語科目群	AP6314	実践英語 A	10	1	フェルナンデス クリスティアン	共 E 4 3	学務支援システムの個人時間割に履修するクラス及び講義室を指定しますので、各自がクラス等を確認のうえ履修してください。	外国語
	AP6314	実践英語 A	11	1	バンヴィル ショーン	共 A 3 1		
	AP6314	実践英語 A	12	1	滝波 稚子	共 B 2 1		
	AP6315	実践英語 B	37	1	マスイ デボラ	共 D 3 3		
	AP6315	実践英語 B	38	1	甲斐 秀子	共 C 3 2		
	AP6315	実践英語 B	39	1	福安 勝則	共 C 2 2		

火曜日 4 時限

複合領域科目群	AP2002	健康スポーツ科学実技	21	1	加藤 敏明	第 2 体育館	バスケットボール	健スポ
	AP2002	健康スポーツ科学実技	22	1	西村 正広	第 1 体育館	バドミントン	

水曜日 2 時限

人文・社会科学科目群	AR1057	哲学・倫理学	06	2	未定	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AR1060	文学	04	2	岡村 知子、 松本 雅弘	共 C 3 1	抽選科目 (受入人数 1 2 5 人)	人文
	AR1050	憲法学	04	2	佐藤 匡	共 E 3 1	抽選科目 (受入人数 1 9 5 人)	人文
	AA1803	経済学	06	2	多田 憲一郎	共 E 4 3	抽選科目 (受入人数 1 2 0 人)	人文
	AR1063	歴史学	02	2	武田 元有 他	共 A 2 0	抽選科目 (受入人数 2 5 0 人)	人文
自然科学科目群	AS1203	化学 C		2	高村 歩美	共 D 3 3	抽選科目 (受入人数 8 0 人)	自然
複合領域科目群	AR1041	生命倫理と法		2	丸 祐一	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数 1 0 0 人)	人文

水曜日 3・4 時限

大学教育導入科目群	AG4003	教養基礎力養成演習		2	村瀬 敏之			入門
-----------	--------	-----------	--	---	-------	--	--	----

後 期

科目区分	科目コード	授業科目	クラス	単位数		担当教員	講義室	備 考	全学共通科目における科目区分
				前	後				

木曜日 1 時限

人文・社会科学科目群	AT1017	20世紀史Ⅱ		2	武田 元有	共 C 3 2	抽選科目 (受入人数30人)	人文
	AT5001	海外安全マネジメント ★ 04		2	竹田 洋志 他	共 D 2 1	海外渡航予定者は渡航前に取得することが望ましい。また、本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるので募集条件等良く確認すること。 (抽選履修対象外。受入人数40人。)	世界
自然科学科目群	AS1302	生物学ⅡA	02	2	鶴崎 展巨、 清水 克彦、 谷中 久和	共 C 2 1	抽選科目 (受入人数100人)	自然
複合領域科目群	AF0202	ウェルネスとシェイプアップ	02	2	加藤 敏明	共 D 4 2	抽選科目 (受入人数80人)	健康

木曜日 2 時限

自然科学科目群	AS1002	解析学教程Ⅱ		2	後藤 和雄	共 D 4 3	抽選科目 (受入人数120人)	自然
外国語科目群	AP6317	総合英語Ⅱ	06	1	マスイ デボラ	共 D 3 3	学務支援システムの個人時間割に履修するクラスを記載しています。各自がクラスを確認のうえ、前期・後期とも同じクラス番号で受講してください。	外国語
	AP6317	総合英語Ⅱ	07	1	大谷 ショーン	共 B 2 1		
	AP6317	総合英語Ⅱ	08	1	福安 勝則	共 D 3 2		
	AP6317	総合英語Ⅱ	09	1	ジアディーン マーク	共 A 3 2		
	AP6317	総合英語Ⅱ	10	1	中尾 雅之	共 A 3 1		
	AP6317	総合英語Ⅱ	11	1	メガリー シェリー	共 C 2 2		

木曜日 5 時限

複合領域科目群	AU2004	地域就業論		2	長尾 博暢 他	共 C 5 1	抽選科目 (受入人数100人)	キャリア
---------	--------	-------	--	---	---------	---------	-----------------	------

集中講義 (後期)

人文・社会科学科目群	AR1037	政治学	04	2	田代 和也 (非)		12/14、12/15、12/21、12/22 (予定)	人文
	AT5001	海外安全マネジメント ★ 06		2	竹田 洋志 他		11/16、11/23、12/7、12/21 (予定) 海外渡航予定者は渡航前に取得するのが望ましい。本科目の履修を条件とする海外派遣プログラムがあるのでよく確認すること。 (抽選履修対象外科目)	世界

※ 授業科目名に ★ の付された科目は平成27年度以降の入学生のみ履修可能。

IV. 付 録

1. キャンパス配置図

鳥取地区

鳥取地区共通教育棟配置図

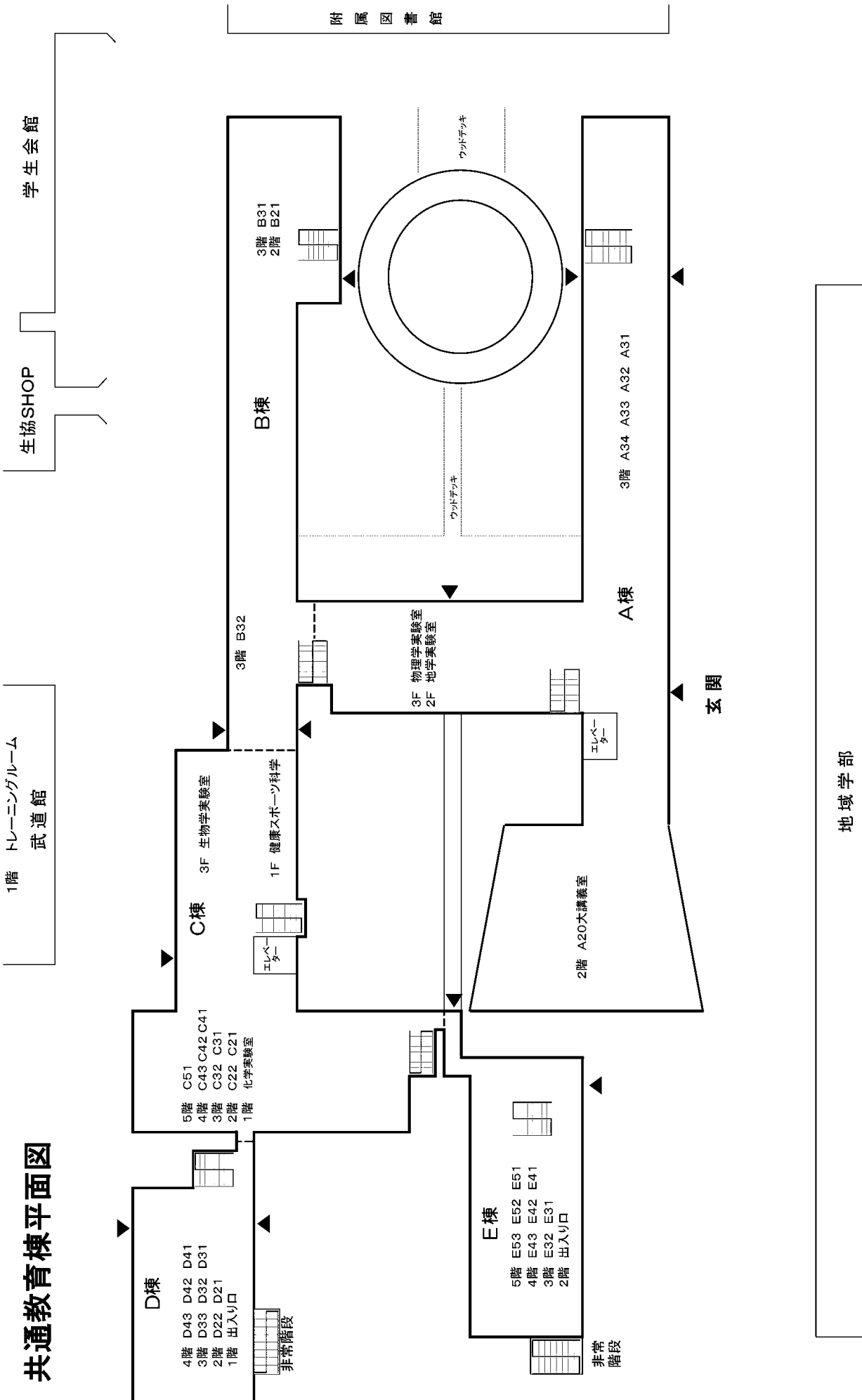
米子地区

2. 平成31年度学年暦七曜表

鳥取地区

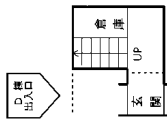
米子地区

共通教育棟平面図

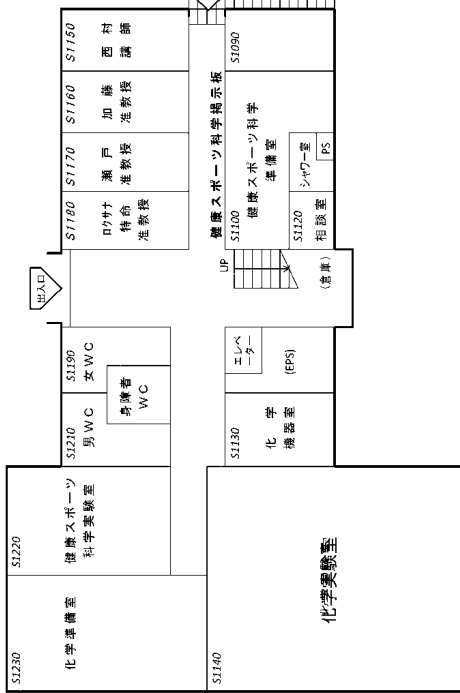


共通教育棟 (1階)

D棟

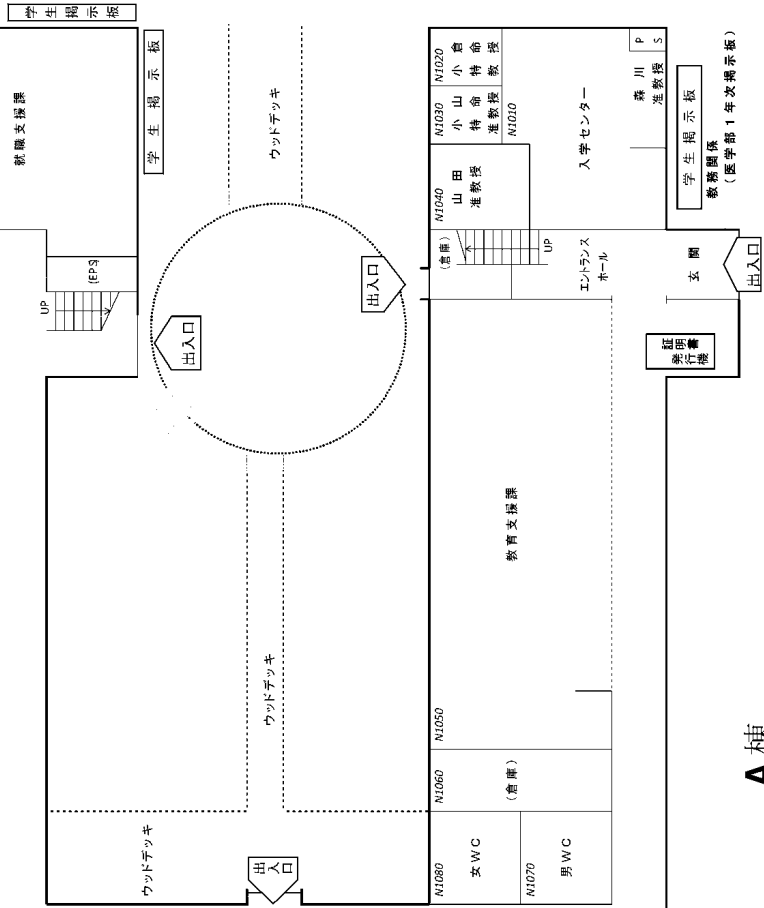


C棟

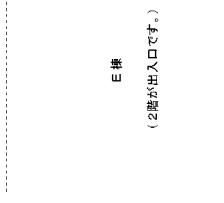


B棟

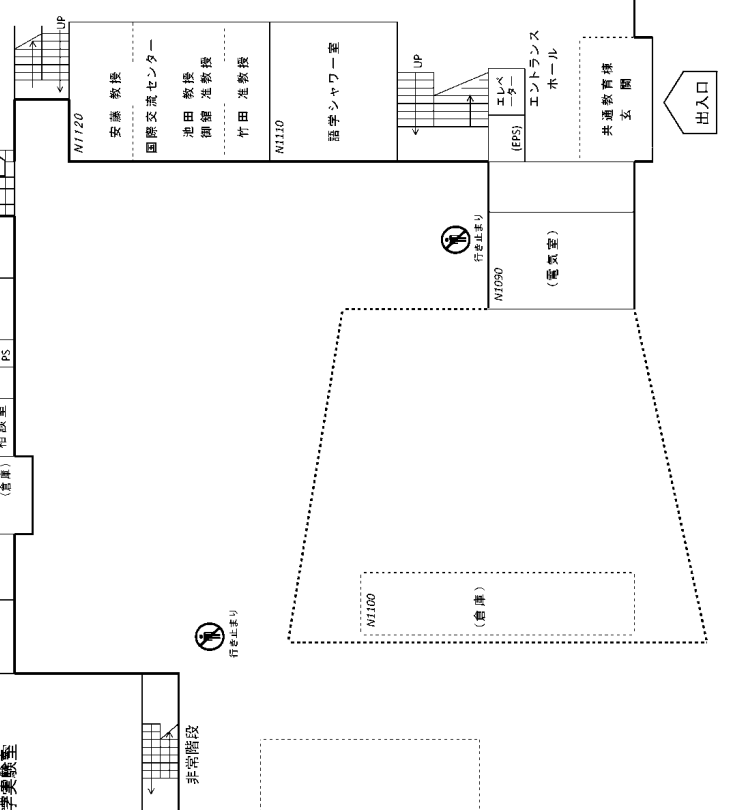
LANケーブル端子設置



E棟



A棟

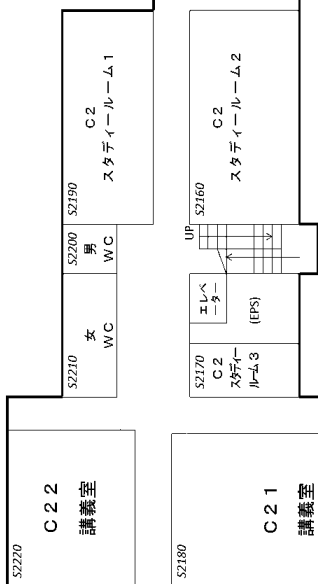


共通教育棟 (2階)

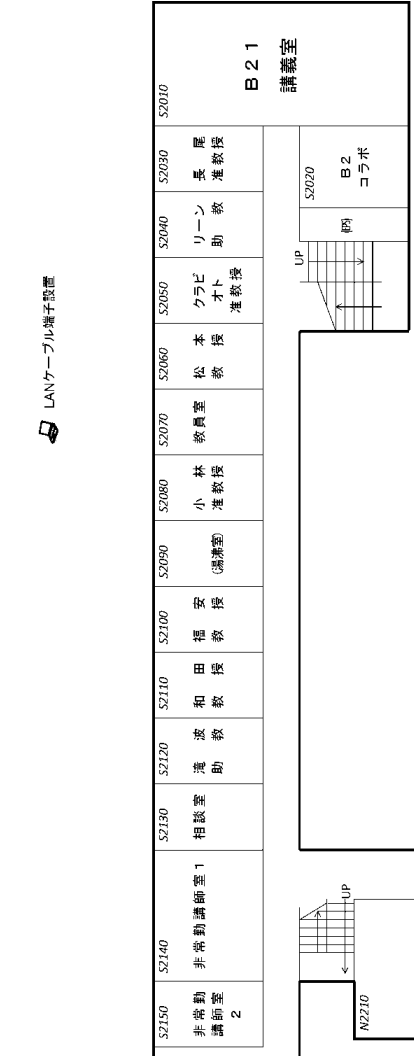
D棟



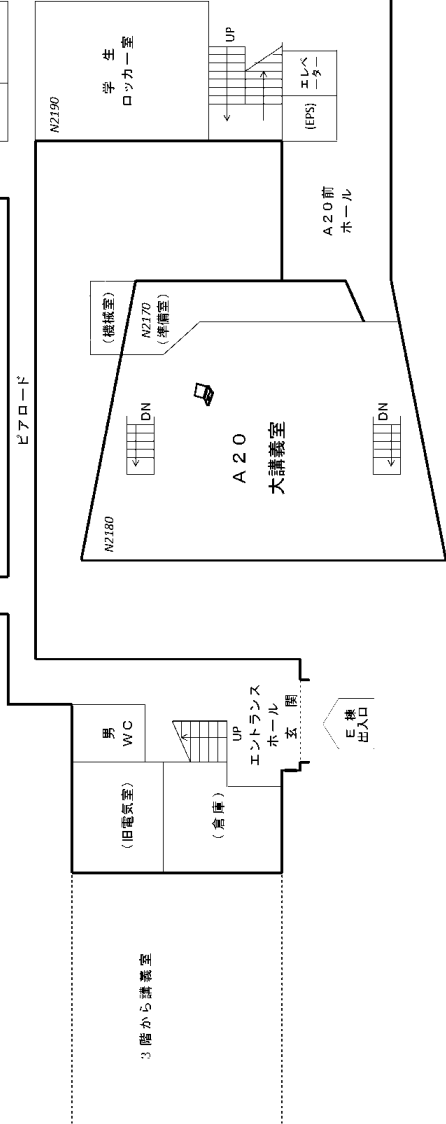
C棟



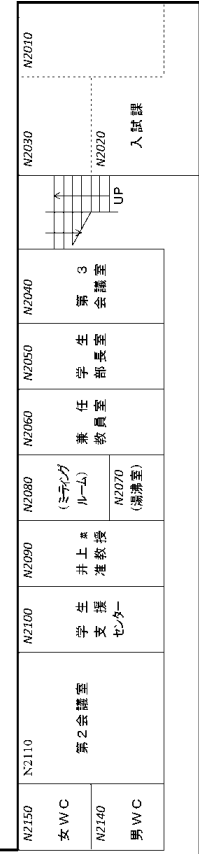
B棟



E棟

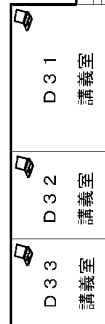


A棟

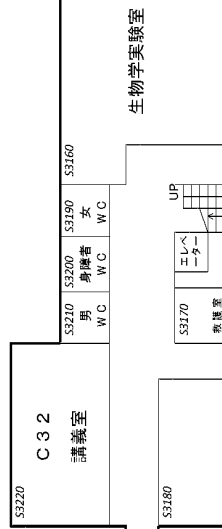


共通教育棟 (3階)

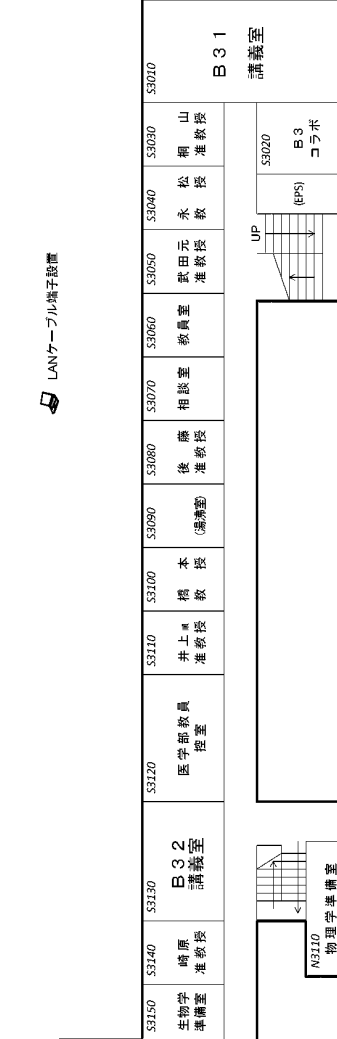
D棟



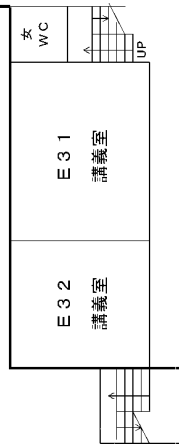
C棟



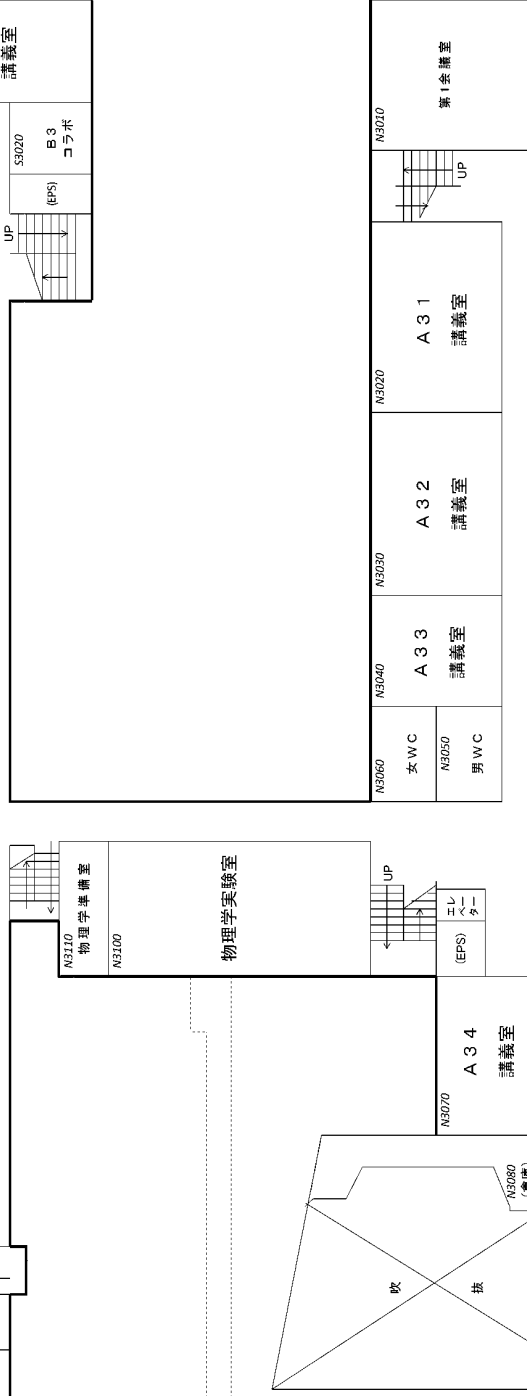
B棟



E棟



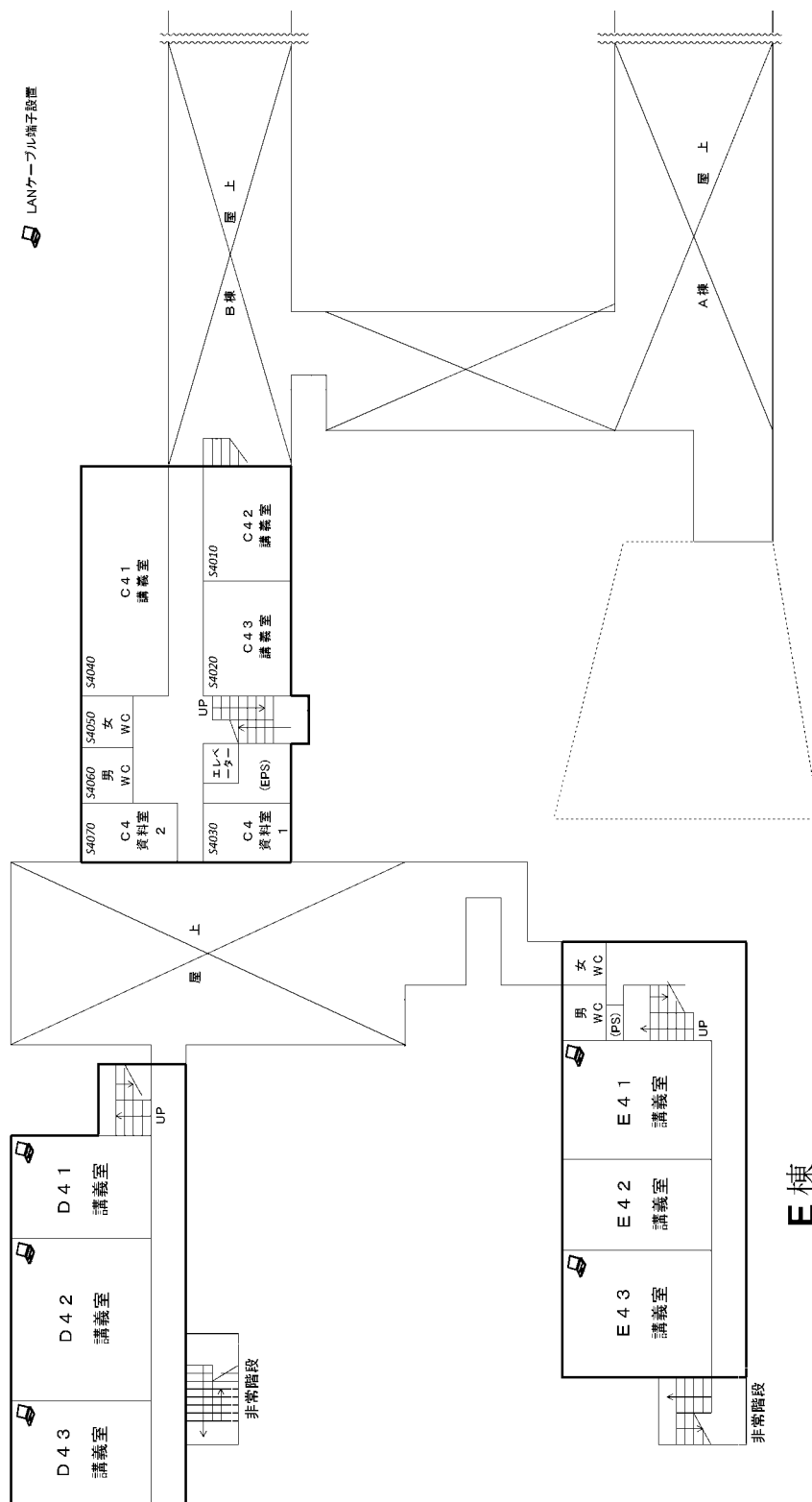
A棟



共通教育棟（4階）

D棟

C棟



共通教育棟（5階）

C棟

